

凌 泳

表紙題字 藤井正太郎 先生

【新しい100年の始まり】 長谷川会長 …………… 3	【全神大活動記録】 …………… 65
【神戸大学体育会水泳部100周年記念 凌泳会第8回全国大会】 参加凌泳会員お言葉一覧 …………… 5 神戸大学体育会水泳部100周年 記念凌泳会第8回全国大会を 振り返って 酒井正人…………… 28 式次第…………… 30 参加者名簿 …………… 31 振り返り会議事要旨…………… 33 記念大会開催に向けた活動…………… 35	【凌泳会活動報告】 令和5年度総会に参加して 桑本 万里 …………… 68 第104回大阪公立大戦観戦記 上田 剛弘…………… 69 凌泳会2024年新年会兼お祝い会…………… 73
【追悼文】 北村先輩(S34) 柴川 泰介 …………… 40 岡村 司 …………… 41 野田 浩志 …………… 43 新井先輩(S38) 鈴木 剛弘 …………… 44 宮部先輩(S42) 熊岡 禎二 …………… 46 印南先輩(S49) 長谷川 健 …………… 47 木下先輩(S63) 甲野 賢 …………… 48	【現役部員寄稿 I】 幹部決意表明 主将 太田 浩紀 …………… 74 主務 千須和 佑飛 …………… 74 競泳主任 森本 恭輔 …………… 75 水球主任 牛尾 帆花 …………… 76
【マスターズ活動記録】 …………… 50 金一波監督 表彰…………… 59 【お便り掲示板】 …………… 60 【会員寄稿】 司馬竜也 …………… 63 島津大地 …………… 64	【卒部の辞】 徳山 元太 …………… 77 松島 優太 …………… 78 新保 空 …………… 79 岡崎 圭介 …………… 80 前田 七海 …………… 81 浅野 俊太 …………… 82 夏目 大輝 …………… 83 前野 陸人 …………… 84 村尾 侑哉 …………… 85 棟廣 海来 …………… 86 濱田 泰地 …………… 87 平野 樹 …………… 88 矢迫 恋佳 …………… 89
	【現役部員寄稿 II】 現役部員紹介 凡例 …………… 90 4回生 …………… 91 3回生 …………… 97

2回生	104
現役部員寄稿	
木島 涼介(2回生)	112
北岡 さくら(3回生)	113
水球面企画 水泳部流行語大賞	114
競泳面企画 水泳部〇〇ランキング	115

【2023年度 水泳部活動報告】	
■年間競技カレンダー	116
■主要大会総合成績	118
【競泳】	
関西学生春季短水路公認記録会	119
関西学生夏季公認記録会	121
関西学生夏季公認記録会 (タイムトライアル)	121
大阪府選手権	122
関西学生チャンピオンシップ 水泳競技大会	122
関西国公立大学選手権 水泳競技大会	124
関西学生選手権水泳競技大会	126
全国国公立大学選手権 水泳競技大会	128
関西学生夏季長水路公認記録会	130
日本学生選手権水泳競技大会	131
大阪公立大学・神戸大学定期戦	133
三重とこわか水泳競技大会	134
兵庫県シニア記録会	135
関西学生冬季公認記録会	135
【水球】	
春季選手権	137
春季京都選手権	138
関西選手権	140
関西学生選手権水球競技大会	141
大阪公立・神戸大学定期戦	141
NNカップ・OB戦	145
秋季京都選手権	147
秋季水球競技大会	148
兵庫県選手権	151
和歌山県選手権	152
なみはやカップ	155
ウインターリーグ	157
全国国公立大学選手権	159

【リレーエッセイ】	
説明	161
島津 大地(令2)	164

【活動レビューと計画】	
前年度活動レビュー &今年度目標設定と実施計画	
現役活動レビュー	166
現役目標設定と実施計画	170

【歴代記録】	
歴代10傑(競泳男子)	173
歴代10傑(競泳女子)	176
水球歴代戦績	179

令和5年度凌泳総会議事録	182
令和4年度凌泳会決算報告	185
令和4年度会費納入一覧	186
令和5年度凌泳会役員案	191
令和5年度活動方針案	192
DX促進について	193
令和5年度予算案	194
水泳部報告資料	195
第98回日本学生選手権 水泳競技大会決算報告	197

【お願いします】	198

【SNS紹介】	199

■編集後記	200

新しい 100 年の始まり

会長 長谷川 健

昭和49年卒の長谷川です。会員の皆様には日頃より大変お世話になり、誠に有難うございます。また、水泳部並びに凌泳会に対し多大なるご支援を賜り、誠に有難うございます。猛威を振るったコロナも、まだ油断禁物ですがようやく通り過ぎたようです。

この一年は凌泳会にとっても節目となる一年でした。そしてそれに相応しいニュースが届きました。まずは現役諸君活躍のニュースから。なんとといっても最大の快挙は、松島優太選手が全国国公立大学選手権大会競泳100mバタフライで見事優勝したことです。全国公での優勝は、実に半世紀以上前の佐敷定雄現副会長以来のことで、心よりお祝いを申し上げたいと思います。また競泳チームは関西国公立にて男女共に第二位で全国公団体出場を果たしてくれました。一方、ポロについても関西学生選手権で四位と全国大会への出場は逃したものの、一部残留を果たしてくれました。競泳ポロ共に今シーズンの更なる活躍を期待しています。

凌泳人にもおめでたいニュースが届きました。金監督が日本水泳連盟有功章の表彰を受けられました。2022年の兵庫県水泳連盟創立90周年功労者表彰に続いての受賞です。日本水泳連盟有功章の受賞は石井先輩、橋本先輩、高岡先輩に続く、こちらも久々の受賞で、心よりお祝い申し上げたいと思います。

そして、創部100周年記念全国大会の開催です。本来なら100周年は2021年でした。コロナ禍により延期を余儀なくされ、規模の縮小も余儀なくされましたが、実行委員会を中心とする皆様のご努力により無事開催が出来ました。また現役の実行委員諸君を中心に現役部員の諸君にも大変お世話になりました。改めてこの場を借り、ご関係の皆様にお礼申し上げます。詳しくは本誌特集記事をご覧ください

ければと思いますが、当日は遠方からも多数の参加を賜り、お陰様で久しぶりに OBOG と現役部員諸君との交流を盛大に行うことが出来ました。そして新しい 100 年のスタートを切ることが出来ました。

また、凌泳会関連行事も復活しつつあります。総会は四年ぶりの対面開催とすることが出来、忘年会も東西で開催されました。

対校戦も、三商大戦は台風で中止となりましたが、大阪公立大戦(旧市大戦)は無事開催され、久しぶりにプールサイドでの交流が復活しました。もう以前の様にはならないことを願っています。

最後にお願いです。毎年のお願いで恐縮ですが、今年も、同期やその前後の会員に、「会費払ったか、払っているか」の一声運動を、お願いします。皆様からの会費は現役部員の活動費に直結しています。本年も会員の皆様には、水泳部と凌泳会へのご支援を宜しくお願いいたします。

【神戸大学体育会水泳部100周年記念凌泳会第8回全国大会】



100周年記念大会 凌泳会員 参加者コメント



昭和 37 年卒、福知です。海事科学部、神戸商船第 7 期です。(凌泳会と神戸商船大学 OB 会のみずむし会が)合併して参加しました。私が在学中の大学 4 年の時に寮に 25m プールが出来ましたが、それまで水泳部は外のプールに出ておりました。井上さんに引っ張られてと 37 卒という事が入っております。以上です。



昭和 37 年卒、萩原です。我々 10 回です。当時は戦後から立ち上がってこれから日本がこれから発展していくエネルギッシュな時代でした。今日プールを見に行ったらすっかり様子が変わっていました。今日は懐かし

い思いをさせていただき、ありがとうございました。



昭和 37 年卒、井上です。

(世界記録樹立表彰の件)先程は花束までいただき本当にうれしく思います。ありがとうございました。



昭和 34 年卒、岡村でございます。

キャプテンをしておりました。全日本国公立に 2 年間入賞しておりました。その後 2 年間も優勝出来るはずだったので、誰も全国公に出場出来る先輩が居なくて、それが獲れなくてそれが非常に残念に思っております。以上です。



昭和 37 年卒、柳本正雄です。

同期 11 名中 7 名出席しております。私、キャプテンをさせていただきまして、がんばってやった事を覚えております。ほんとうに良い思い出やったと思っております。ありがとうございます。以上です



昭和 37 年卒、岡田です。

私らの代に初めて水球がポロという競技に変わりました。それまでの水球というのは足を引っ張ったり、蹴ったりだったのですが、幸いいいコーチに恵まれまして、ボールの扱い方、投げ方、泳ぎ方、全て教えてもらいました。その事もありまして、私たちの代で三商大戦で初めて完全優勝、競泳も水球も優勝しました。多くの先輩に駆けつけていただいて多くの先輩に祝っていただいた事を今も覚えております。どうもありがとうございました。



昭和 37 年卒、高岡保宏です、私も全国国公立 800Free で優勝しました。今日記録を見たらそんな事もあったなど改めて確認しました。私も教育の現場におりましたので、姫路市の方で、この水泳を広めるべく非常に頑張っていたところです。姫路市の水泳会長にお世話になり、姫路市の教育長を務めまして、水泳の発展に尽力しました。

姫島のオープンウォーターというのを皆様ご存じですか。丁度、私が教育長の時に始めまして、今は非常に有名になっております。島から島へのコースは日本に他にないので、日本水泳連盟の公認になっておりまして、非常に大きな大会となっております。姫島の宿泊とか、島の皆さんのサービスが非常に良いので、これからもどんどん続けますので、これからもまた申込みいただきたいと思っております。

私今も百姓やっております。日に焼けて真っ黒けですが、昨日一昨日稲刈りして収穫してきました。ちょっと疲れが残っておりますが、機械でやるから早いんですけれども、端っこは手でやらんと行かんです。これからもぼちぼち体だけは負けんように頑張

っていきたいと思います。ありがとうございます。



昭和 37 年卒、米田です。

我々は同期 11 人いて、本当によく続いたと思います。私たちの 1 学年上の酒井さんと野田さんの学年はずっと 2 名だったんですね。この 11 名何とか続いて、私は後ろの方で何とか皆についていだけが精一杯でしたけど、4年間続けたという事は、その後の大変私の誇りになりました。ありがとうございます。



昭和 37 年卒の山田でございます。

仲間が 11 人居まして、10 人は全員レギュラーでした。私は試合に出た事はたった 1 回

だけ。三商大戦で 3 人エントリー出来た時の 3 人目、一度だけ泳がせていただきましたけれども、

皆様ご存じのように、この 10 回生、まず、人数が多かった事、にもかかわらず、全員元気なんですね。こうしていつでも会える事、これは本当に水泳のおかげと思っております。そういう意味でも本当に水泳部に感謝しております、何も貢献も出来なかったのですが、卒業してから何か出来ないかなと思って、何十年か経った時にホームページが作れるようになったとき、河童天国と勝手に名前を作りまして、最初は 10 回生という意味で、河童十国と書いてテン国としていたのですが、いつのまにか黄桜に負けてしまって、今は河童天国、それも今度ホームページに公式に残して下さるとい事なんで、大変うれしく思っております。皆様のご発展、これからも大いに期待しております。ありがとうございました、



昭和 38 年卒の鈴木です

先程の 37 卒の厚い壁の下におりまして、また 39 年にはまた武政さん、鈴木さんと非常に優秀な方がいらっしやいまして、先ほどから皆さん、戦歴を仰っておりますが、私は公式の試合に出たのは 1 回だけです。4 年生の 37 年卒の方々が卒業された後、ポロの GK をやらせていただきまして、三商大戦で小平のプールで 3-2 で辛くも勝ったというのが唯一の戦績です。

卒業後は会社勤めをしております、子どもたちも小さいころから水泳だけはプールで練習させようと、そちらの方は一所懸命練習させましたが、何を思ったか、子どもは 2 人とも水泳部に入りまして、やめときゃいいのにと思ったのに案の定、私の遺伝子を受け継いでいまして、県大会も出られない、中学水泳部をやっておりました。

そんな事で、おかげさまで我々 38 年卒は丸山卓也君がキャプテン、名マネージャーの林荘八郎くんが先に旅立ってしまいまして、もう一人荒井康之くんは闘病生活でして、唯一ひとりだけ出てまいりました。どうもありがとうございました。



昭和 39 年卒の鈴木正弥です。

私は高校時代は水泳をやっていなかったのですが、大学に入って何かクラブ活動をしたいなあと思っておりましたら、ポスターにね、「水泳部に入って裸の付き合いをやろう！」というのがありまして、これは、裸で友達と毎日過ごせるならこれは良い！と思って、御影から六甲へ毎日通うようになりました。先の話にもありましたけれども、当時は三商大戦のポロで何とか勝ちたいと、慶応のオリンピック選手の植中コーチをお招きして、ポロを頑張ってたんですね。私も水泳はやっていなかったのですが、ポロでなんとか頑張ってみようという事で、在学中にポロ面として、〇〇を任されました。それが私の大学の思い出です。今日は 100 周年というおめでたい場にこうして参加出来た事、喜んでおります。ありがとうございました。



昭和 39 年卒の安茂です。

現役時代は 4 年間で 4 種目泳ぎました。1 年目はとにかく水球がしたいという事で、free が早くなりたいという事で、クロールを練習しました。2 年目はクロールでなかなか芽が出なくて、バックであれば何とか 3 番手な

れるかなという事で 2 年目はバックを練習しました。そして 3 年目は柳本さんがバタフライ卒業されて、バタフライ面が少なく弱くなったという事で、お前からだ柔らかいからバタフライやってみるかという事で 3 年目はバタフライをやりました。3 年目の最後の合宿で、合宿終わった遊びで専門以外の種目をタイムとってみたら、専門の人より速かったという事で、4 年目は平泳ぎをやりました。関西国公立で 100,200 平泳ぎで 2,3 位でした。マスターズ水泳は 50 歳で初めまして、33 年になるんですけど、きっかけは 50 歳当時、子どもからえらいお父さんおなかが出てきたといわれ、それから水泳を始めたのがきっかけです。成績で良かったのは、日本マスターズ水泳協会短水路大会 4,5 月、全国 25 か所であるのですが、58 歳の時に全国 1 位でした。65 歳の時には 200 バタフライで 1 位になりました。世界ランクでは、2020 年 100m 平泳ぎで世界 4 位、2021 年には世界 3 位、それがいい成績です。ありがとうございました。



昭和 39 年卒、滝沢と申します。

39 は隣にいるマスターズをやっている安茂とか、都合により欠席、3 日前に電話したらコロナになってしもたんやーと「家で歯ざりをしている武政とか優秀なやつがいる中で、何もしなかったんですけども、安茂くんは土木出身、私は建築出身で、六甲台のプール水で崩れるんちやうかーと言われてまして、水がもつとるちやうかーわけですよ。もつのかもたんのかチェックせーといわれて、安茂が何にもしないんで、僕がやってわからんから多分大丈夫ですわーとええ加減な事言うたら、崩れなかったんで、よかったなど。

ついでに言いますと、先ほど古林喜楽先生の話が出たんですが、神戸市長に古林先生が『応援してやるから六甲統合せえ。』言うたのに何もしなかったのが、怒って『今度俺が市長なって六甲統合する』と怒ると、あわてて当時の原口市長が六甲を統合した」という事を聞きました。古林先生は非常に面白い先生でした、よもやま話になりましたが、ありがとうございました。



昭和 40 年卒業の前田です、
現役の時は水球と背泳の 2 種目をやっておりました。競泳につきましては記録的には全然ダメでした。ただ水泳の練習は殆どサボる事なく、六甲台のプールに行っておりました。今の体格から見てもわかる通り、当時から痩せておまして、練習は 4 月からスタートなのですが、水温は 12-3℃、よくても 17-8℃と真夏でもひやっとするくらい冷たい水でした。日々寒さが骨身にしみておりました。何とか風呂を作ってくれと色々やったおかげで、現役中に風呂が完成したという思い出があります。あとは部としてたばこはダメだ、但し、ビールは酒じゃないから OK と、いう事で学生の時からビールをいっぱい飲んでおまして、卒業してからも延々とビール、日本酒、焼酎その他、ついに 54 歳のとき、糖尿の気が悪化してしまい、おまえこれだけ酒を飲んでよく生きてたなあといわれました。

それからマスターズを復活して、やはり今健康でいられるのは、水泳のおかげだなあと、本当に水泳部に感謝しております。

最後になりますが、ぜひ現役の皆さん、将来 100 歳、それ以上に生きて頑張れるように、

卒業後も水泳を続けていただきたいなあという風に思っております。以上です。



昭和 45 年卒の玉木でございます。

44 年の先輩が何人かいらっしゃるのですが、その前はゼロで、私が 43 年と 44 年のキャプテンをお仰せつかって、人生が豊かになりました。仲間、諸先輩も良い方が多くてお世話になって、本当に水泳をやってよかったなあと思います。卒業して会社に入ってから三商の OB の一橋の連中とか、大阪の連中とか、顔を合わせると昔の事が話題になったりして、非常に楽しかったなあ、非常に自分の人生を豊かにしてくれたんじゃないかと、今なお感じております。

僕らの代はいろいろありまして、44 年頃、プールの改修がありまして、その時に飛び込み台がまだ六甲台にありまして、それを潰して、5m?10m?あった水深を浅くしたりなどしました。プールの横にはお風呂がありまして、4 月の寒いときからプールに入って練習していたんですけども、先輩方のおかげで、練習が出来るプールが出来て非常にありがたかった。思い出すと、いろんな楽しい思い出がありました。現役の諸君も色々あと思

いますけど、振り返ってみると楽しい事が多いので、今の青春を大事にやっていただけたらと思います。以上でございます。

44-45 年、名マネージャー岩田良夫というものがおまして、今日は本当に楽しみにしていたんですけど、主催の法事があり参加叶わず、三重から引越してきて近くなったので、これからまたよろしく願いますという事でした。



名目上昭和 47 年卒の以西と申します。

卒業後何年かは神戸大学のお世話になりました。

それはさておき、玉木キャプテンの時にもう一つ、浄化槽を作っていただきました。頑張って学校側と交渉して、予算を作ってもらったようです。私はやせ形で持久力はなかったので、短距離専門でやらせてもらいました。私は井上先輩や安茂さんのように世界記録などには及びませんが、今地元で健康施設がありまして、競泳は別にして、遊泳で、健康維持のためにゆっくりと泳がせてもらっています。ちなみにタイムは 100m2 分～2 分半ほどですが、泳げるだけましとっております。これからも泳げる限り、健康維持

のために泳いでいくつもりです。皆さんも、現役の方は競泳を頑張ってください、OBでも泳げる方は健康維持のために頑張りましょう。以上です。



昭和 45 年卒の菱田です。

水泳は大学に入ってからをはじめまして、中学の頃はテニスをしていましたものですから、最初入学して、5 月の連休に北陸の山城温泉に合宿に行くわけですね。そこで初めて競泳をやりましたが、最初全然泳げなくて、水をガブガブ飲んで、何とか泳げるようになって、そんな状態だったので、記録は全然良くなって、最初はフリーをやっていたのですが、全然伸びなくて、今度バッタに変わったのですが、これはフリー以上にきつくて、初めて 50m のプールで泳いだ時に、それまで短水路でしか泳いでなかったので、まあ長いこと、200 バッタ泳いで、150 ターンしたときに息切れしそうで、最終的には最下位でした。そんな状態ですけれども、六甲台のプールで風呂が出来て、風呂に入った時は天国のような気持なのですが、今度またプールに入るとき、これがもう辛くて辛くて、冷たい

ので、そのときの辛さというのが未だに体に染みついています。

後は六甲台のプールはご存じのように藻が生えて緑色で、水着の白い紐が緑色になっていたのですけれども、その水を結構飲んだおかげで体が強くなったのでしょうかね。世界中のジャングルや砂漠に行っても体を壊す事なく、ここまで長生き出来たなと思っております。我々の最後の年は学園紛争で全然卒業式も出来ず、ごたごたに紛れて卒業したのですけれども、そんな時代でも振り返ると良い思い出なので、現役の皆さんもしんどいかもしれませんが、楽しんで良い思い出を作ってください。以上です。



昭和 46 年卒の岩切です。あの頃は非常に大学が大変な時期で、水泳部自体が崩壊寸前、私は落ちこぼれのスイマーでしたけれども、プールに行ったら誰も来ない、いくら待っても来ないので練習した事もあります。そのような水泳部が良く 100 年も続いたなど感心しています。やはりしつこく続ける事が大事な事じゃないかなと思っております。そのおかげで私も競泳はもう卒業ですけども、それ以外の水泳に関しては何らかの形でかかわっております。多分、体が続く限り、

続けるのではないかと考えております、後ろにいる大学生の皆さんも水泳を一生の事として、これからも卒業後も続けていただきたいと考えております。続ける事が一番大事だと思います。頑張っていきましょう。100 周年おめでとうございます。



昭和 49 年卒の長谷川です

入学した 45 年というのが大学紛争の煽りで授業の開始が 2-3 か月遅れて、大阪万博に遊びに行ったり、それでもクラブ活動せんといかんかあと水泳部に入った形です。岩切さんの世代が抜けられて、部員が 7 人になってしましまして、コースは皆 1 コースずつあるんですけども、誰がタイムを取るんだというそんな時代でした。関カレは 3 部スタートでしたし、対抗戦はコテンパンにやられて、試合に負けてもコンパで負けるなど激励を受けた、そんな思い出があります。それでも卒業する時には佐敷キャプテンの努力もあって、関西 2 部に戻ってましたし、三商で競泳優勝したり、何とか当たり前の水泳部になったのかなあとそういう思い出があります。

今日は 100 周年、たくさんお集まりいただきましてほんとうにありがとうございました。



昭和 49 年卒の佐敷です。

この2, 3年のコロナで今の現役の子はどうするんやろうと、また僕らの時みたいにつぶれかけるんやろうかとすごく心配だったのですけれども、こうやって皆さんと100周年を祝える事になりまして、本当にほっとしております。

さっきプールに行ったのですけれども、緑の山小屋なかったですね。我々の時代は練習する時、7人なので、ポロやるにも足つるなよ、絶対最後まで足つるなよと、市大戦も三商大戦もそればかり気にしてやっていた時代でした。ちょっと残念な事がありまして、元々六甲台のプールは米軍に接收されておりまして、私らが行ったとき白い看板に、ここ入ったものは Shooting するぞという事も書いてありまして、ちょっと僕、悲しい思いをしたのですけれども、プールの奥のところに字が書いてあったんですよ、「NO RUNNING ON DECK」アメリカの人がプールサイドを走るなよ、と書いてあったんですよ。これを行く度に僕は見ていたんですよけれども、今日行って、もう無いんですよ、消えちゃってるし、草もはってるし。ポロの子らはちょっとプ

ールキレイにして、そういう字が浮かび上がってくると思ってるので、残していただきたいなと思います。

水泳に関しては、神戸大学は、競泳と水球両方やるというのが昔からの伝統なんですよね。途中でポロと競泳が分かれちゃったのはさみしいんですけども、僕らの時は競泳とやってポロやって二冠王、飛び込みやって三冠王、シンクロやって四冠王やと、ひとつだけやるんやなくて、両方やるっていうのが神戸のアピールだったと思うんですよ。当時のポロは立命館、市大、神戸大学と3校しかなかったんですよ。あとは府立高専、高校生が相手してくれるくらいで、ほとんどポロのチームはなかったです。何とか強くなってほしいなあと、何年か前に日比くんのお力で意気消沈していたポロチームの子が来てくれて…

現役諸君には二部がありますから、また雑談で出来ればと思います。こんな良いチームに入ってよかったなど、僕は思います。ありがとうございました。

* 金監督より、昨今競泳と水球が分かれている件の補足説明

「最近試合や、インカレも日程がかぶっているんで、両方やるのは物理的に不可能なんです。という事で2つをやるのはなかなか難しい状況なんです。」



昭和 52 年卒の伊藤です。

私は体育が非常に苦手で学生時代も体育が 2 とか 3 くらい。大学では陸上系はやめて水泳部行ってみようかなあと六甲台のプールを見に来ました。その時に佐敷さんに呼び止められて、数日やってみんかと誘われて、以来今も続いています。ここまで続いた理由は何かなあと考えて考えたところ、2 つくらいあるんですね、1 つはお風呂ですね、今は年の関係でおなか膨れたりしてるんですけども、当時は針金の伊藤といわれてまして、とても寒さに弱かったですね。泳ぐのは遅かったんですけども、練習が終わった後、お風呂に飛び込むのは一番早かった。あと 2 つ目は、プールは冷たいし、水は濁って汚いし、何でここまで続いたのかな、何の引力があつて惹きつけられたのかなと、今日こういうところを見て雰囲気良かったからかなと改めて思っております。今日は 100 周年に来られて非常にうれしく思っております。どうもありがとうございました。



昭和 53 年卒の高木です。

女子部が出来て数年後に入部しました。

当時は競泳の後の練習でポロをやっていたのですが、その時女子も試合があるわけではないのですが、一緒に練習させてもらいました。当時はほかに女子のポロチームが無かったので、ほとんど試合の経験がないのですが、1 回だけ高校生のチームと試合をさせていただきました。もちろん負けましたが。当時とても珍しかったらしく、神戸新聞にその試合の写真が載ったのをよく覚えています。今日は帰ったらアルバムをひっくり返してみようと思います。



昭和 53 年卒の平石と申します。

私もポロに関しては汚いプールで練習していたんですけども、市大戦とか一橋に行く

と50mの素晴らしいプールがあって、一橋は隣の津田塾の女の子と仲良くしながら練習していて、すごく羨ましかったです。

あそこでバケツもって巻き足したのをよく覚えてます。競泳の方は平泳ぎだったので、中々8継や4継のメンバーが集まらなくて、よくフリーのメンバーで泳がされました。それなりの成績を残せたので、いろんな思い出があるんですけど、それくらいにしておきます。



昭和 53 年卒の酒井です。

専門は背泳ぎをやっていたんですけど、一番の思い出が2つあって、1つ目は寒いときにお風呂に入るのがすごく好きでした。そこへ後から入ると前回りで何回か回されたんですね。今もあるんでしょうか。あとで教えてください。もう1つはこれ水泳と全然関係ないんですけど、練習が終わった後、阪急六甲まで歩いて帰っていたんですけど、よく先輩におねだりをして、甘いものをねだっていました。伊藤先輩にもおごってもらいましたかね。それがすごく思い出です。

今もずっと水泳もマスターズもやっていて、非常に楽しいです、一番楽しく過ごせるのは健康な体が今もあるという事で、それはやはり水泳のおかげかなという風に思います。現役諸君も頑張ってください。ありがとうございます。



昭和 55 年卒の桑本万里です。

私は水泳が大好きで神戸大学が大好きで、4年間水泳を続けてきました、中学高校の時は勉強をしながら水泳と両立だったのですが、大学に入ってから、1,2,3年生くらいまでは水泳が生活の中心というとても幸せな時間を過ごせたと思います。その頃は本当に自分の身の回りの事ばかりで過ごしていたと思いますけれども、今こうやって100周年を迎える神大水泳部に自分がいたという事をすごく感じて嬉しいですし、誇りに思っていますし、これからもマスターズもやってるので、また頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。



昭和 56 年卒の土井和幸です、今年二十歳です。

出身は丹波篠山です。田舎者で、水泳部は海か川で泳ぐんやろなあと真剣に思っていました。プール見たときにここじゃないぞと思ったんですが、プールでした。お風呂に入った時に万里さんに回されました。嬉しかったです。今は愛知県で暮らしています。どうも。



昭和 56 年卒の山本です。

上田と土井と今日同期 3 人来ていますけれども、私だけ高校まで本格的に水泳やっています、大学ではどうしようかなあと思っていたんですけれども、毎日のように諸先輩方から入れ入れと誘っていただいて、プールサイドに行ったらなんか楽しそうだなあとこの雰囲気がありましたので。あの頃、大学に行ってプールで昼間泳いで、練習終わっ

たらそれぞれの下宿が点在していて、大学は総合レジャーランドかなと大学生活を楽しんでいました。

いつも水泳の事で自慢ばかりするといわれるんですけども、県大会で優勝したとか、国体に出場したとか、結果を言うているだけなんですけど。大学に入って一番の思い出は、関西国公立で団体で 3 位までに入ったら全国公に行けるというときに、最後のアンカー勝負になったんですね、これも一つの自慢ですが、最後の 8 継で京大のアンカーに勝てば神大が全国公にいけるという場面でね、京大のアンカーは 200m フリーで優勝しているんですけども、私より 2-3 秒先に飛び込んだんですね、その彼に勝たないと神大は全国公に行けないと、まあこれで最後の 50m で引っくり返して勝ったんですけども、せっかくなので知らん人もおるかなと自慢させてもらいました。ありがとうございました。



昭和 56 年卒の上田です。

私は中学しか水泳経験ないので、大学何しようかなと、水泳しか経験がないし、プールに行ったときに酒井先輩、平石先輩が居ましてね、「おお、お前入れ入れ！」僕経験な

いですし、「どれくらいのタイム？」皆さん笑わんといてくださいよ。当時中学で1分10秒くらいやったんですよ。こんな恥ずかしいタイムだったんですけども、「いやー十分通用する！がんばれ！泳いだらはやなる！」と見事騙されてましてね、それで水泳部に入っただけですけども、騙されてなかったですね。本当にこの4年間、僕は神戸大学経営学部ですけども、そうは言いません。神戸大学水泳学部卒、と胸を張って言っております。それくらい4年間水泳にどっぷりとかかる生活をして、社会人も退職しましたけれども、社会人の間もあの水泳の経験があったからこそ、出来たんやという場面もたくさんありましたので、本当にこの経験はよかったなと思っています。現役の皆さんもぜひとも4年間、水泳部で泳ぎ続けていただけたらなあと思います。



昭和 58 年卒、金です。

私は大学四年間毎日勉強に明け暮れておりまして、あまりクラブの思い出はございません。記憶といえは教室で勉強していたか、図書館しかないなので、隣に譲ります。



昭和 57 年卒、富岡です。実は卒業以来、凌泳の行事に出るのは初めてで、卒業以来 40 年を超えているんですけども、色々思い出す事やここで紹介したい事があります。入学したのが昭和 53 年で、その年の凌泳総会に出席したときに諸先輩方の話を聞いていると長いし、自慢話が多いし、こりや敵わんなど、俺は将来 OB になってこういうところに参加したら絶対そういう事をしないようにしようと思った事を覚えています。今日まさにそれを実行する日が来たなと思いました。1 つだけね、ちょっと凌泳誌を読んでまして、主将の方の言葉で「水泳を楽しむ」という言葉がありまして、まさにそれでして、現役の皆さん、「水泳を楽しむ」これに尽きると思いますので、思う存分満喫していただきたいと思っています。以上です。



昭和 57 年卒の白子です。私は大学に入ってから水泳を始めましたので、語る記録はそんなになんていけませんけれども、最初にプールを見てびっくり仰天しましたね、ここで泳ぐんですかと。周りの木から葉っぱがいっぱい落ちてですね、それをザルをもって潜ってプールの底の葉っぱを掬い取るというのをガンガン最初にやらされて、こういう事をやるんだなと思ったんですけれども、そんな事で始まりました。3 回生の時に上田さんが主将で私が主務をやりまして、当時で作った凌泳を家に置いています。手紙で先輩とやり取りしたり、今はインターネットや携帯があると、様変わりして感心しております。

大学から始めて何とか 4 年間やれたという事は自信にもなりましたし健康にもつながっていると思います。また当時の先輩や後輩の皆さんと時間を共に出来るという事は貴重な財産だなと思っております。今日はこういう機会をいただきありがとうございました。



昭和 57 年卒の藤田です。特別会員として参加させていただいてました。会社に入ってから水泳部が無かったんですけれども、人事に配属されたので特権を活かして、水泳部を作って、呉竹君、浦野君、濱出君に入

っていただいて、実業団でずーっと延々出ておりました。是非学生時代だけではなく、マスターズだけでもなく、社会人になっても長く続けられるスポーツですので、楽しんで、活動をしていただければと思います。ありがとうございます。



昭和 58 年卒の田中です。金監督と同期です。

今日の変遷のビデオ見てまして、僕らの時代の写真が多く使われていて、いやー細かったなあと、金監督の体型の変化も確認出来ました。ビデオ貰って帰りたいです。諸先輩のお話の中で、僕らも経験した水泳の練習はザル救いから始まる、お風呂で回されたり、水鉄砲でひどい目にあわされたり、同じような経験をずっと出来ているという、それが素晴らしいなと改めて感じました。今後ともよろしくお願いします。



昭和 59 年法学部卒の吉岡と申します。専門はバタフライとポロでした。私は奈良の出身で中高と水泳をやってきて、大学では水泳をやる気はそんなになかったんですけれども、なんとなしに水泳部の部室を覗きまして、すると先輩たちが部室の中でマージャンをやっけて、せっかく神戸大学に入ったのにこんな遊んでいるところはダメだなあという第一印象だったんですけれども、4 年間、そこでお世話になる事になりました。ポロの方も、先輩方がおっしゃられたように、5kg の重りを持ってプールの端っこで巻き足の練習を 1 年生の時にやっていたのが原点だったなあという風に思っています。巻き足をしているとさっき仰っていたプールの底に沈殿している葉っぱがふわ〜と自分の体の方に浮いてくるという、そんな環境でポロをスタートしたことが非常に印象深く残っています。だけど在籍中にはライバルだった京都大学や一橋にも勝てたりして、本当に競泳もポロも含めて、神戸大学水泳部には本当にお世話になったなあと、もう卒業して 40 年近くになるんですけれども、神戸大学水泳部には深く感謝しております。以上です。



昭和 59 年卒の 谷水利行と申します。

京都出身なのですが、どういうわけか九州支部長を拝命しておりまして、九州に移って三十数年たちました。大学に入って 1 年目は阪急六甲の近くに住んでいたんですけれども、2 年目に上田さんと富岡さんと金さんが同じアパートにいらっしゃるという事で、楽しそうだなあと引っ越ししたら、あと太田先輩、鈴木、久保田、小さいアパートに数名の部員がおりまして、昼間狭いプールで濃厚接触、帰ってきたら甲楠荘で濃厚接触という事で、大変濃密な時間を過ごしました。私が甲楠荘に引っ越すという事を聞いた女性の先輩から「どうしたの？金君から脅されてるんちゃうやろね？」と質問されるくらい強烈なアパートでした。パンフレットの 7 ページの金さんのメッセージにありますけれども、「根性は科学を駆逐する」という事を昼も夜もずーと聞かされて洗脳され続けたんですけれども、社会人になってふと気が付くと、もう少し科学も必要やったんちゃうかと、気付いた時には時すでに遅しでした。今後とも、よろしく願いいたします。



昭和 59 年卒の呉竹です。凌泳マスターズの幹事なんかやってますと真面目に練習していると思われそうですけれども、全然練習出来なくて、どうやってモチベーションを維持しようかと思ってまして、最近プールの傍に引っ越しました。そしたらマスターズクラスというのがあって入ったんですけども、数年ぶりに練習を頑張りまして、でも現場にいる女性に足叩かれたり追い回されたり、学生時代のだらしなさを思い出してしまいました。マスターズに関心ありましたら、またご連絡ください。お待ちしております。



昭和 59 年卒の大西です。私は準会員で神戸の薬科大学でした。授業が終わってから六甲台のプールまで走ってきて、練習をしてという生活を続けていました。それだけ大学で練習させてもらえるのがすごく楽しかったし、受け入れてもらえて一緒に練習出来るいう事が本当に自分の青春の中でとってもいい思い出になっております。そのなかで培った人脈の中で、酒井さんなんですけれども、子どもに水泳を教えるというボランティアを大学のころ、今もまだ続いていて、40 年ほど続いているというのは神大水泳部に関わらせ

ていただいたからこそ、こうやって続けていられる事はすごくありがたい事だなあとと思います。中々泳ぐ事は出来ないんですけれども、もうすぐ仕事の方も終わりそうなので、そしたらマスターズの方でまた頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。



昭和 60 年卒業の坂田です。非常に大学の水泳部に愛着がありまして、大学時代何やりましたかと聞かれると水泳部やりましたと会社に入ってから言うてました。先程の上田さんの話やないんですけど私は銀行に入って最初の自己紹介の時に神戸体育大学水泳学部卒、趣味で法律やりましたと自己紹介しました。

大学時代の思い出は水泳と宴会の記憶が半々なんですけれども、宴会の方は今と違って 1 年生の頃からお酒もがばがば飲んでましたので、その時の記憶は半分くらいしかありません。あの頃も三商戦が一橋であって、プールサイドでの宴会が、盛り上がり、次の日にプールサイドのものがひとつもなくて、全部プールの中に放り込まれていました。私は覚えてなかったんですけども、お前がやったんやと言われまして、非常に驚いたの

を覚えています。まあ、現役の皆さんもそうやって水泳部に愛着を持ってください。よろしくお願いいたします。



昭和 60 年卒の浦野敏明と申します。話したい事はいっぱいあるんですけども、どこまで短縮出来るかな。僕は水球主任をやっている、高校の時にも茨木高校で水球をやっていました。僕が入ったところは関西は 4 校でした。立命、市大、京大、神大。卒業する頃には阪大が加わって 5 校でした。ちょっと自慢も入るんですけど、当時は学連の試合じゃなかったんですよ。僕が 4 回生のときにそれまでのトーナメントから学連主催の正式に 2 日間の関西リーグになりました。また自慢になるんですけども、その時が学連の始まりで、僕が初代委員長です。なので、学連の水球を始めたのは神戸大学だという事で、皆さん特に水球の方は自信をもって自慢していただければなと、以上です。



昭和 60 年卒の池邊です。

夜間の学校に通ってました。金さんに会ったのが最後、水泳部に入れられて、昼は仕事をして、夜は学校へ行って、土日だけ練習して、試合はたまにしか出ずという事で、私が試合で泳いでいる姿を見ると幸せになれるというマーメイドのような存在になってました。今後ともよろしくお願いいたします。



昭和 60 年卒の南谷でございます。

今日は本当にこういう会に出席出来て、ずっと上の先輩方にもお会い出来て、本当にうれしいなと思っております。こういう部活をやっている先輩方との繋がりというのはしみじみと感ずるところがあります。同期とか 2 つ 3 つ上の先輩方に対しては特にいろんな事でお世話になったなという気持ちを持っております。学生時代の思い出、プールが冷たかったとか、お風呂によく言ったとか私も同じようにいっぱい覚えています。

あと、遠征ですね。凌泳会の支えで補助を出していただいて、4 年間、東京にも九州にも広島にも行き、いろんなところで全国公や三商大戦など色んな大会に行けた事、これもすごく思い出に残っています。これからも

110年、120年と凌泳会が続いていく限り、皆さんと支え続けていけたらなあと思います

今日はどうもありがとうございました。



昭和 61 年卒の川原田と申します。よろしくお願いたします。

私と水泳部との繋がりというのは、まず合格したら合格した日に学生課から電話があったとお袋から言われまして、するとそれは水泳部からの連絡だったんですね。学生課のフリをして、何日にプールに来なさいと、それにつかまってですね、なんかわからんけれども行ってみようと思ってみて、少し練習を見まして、その日の夜に金さんに連れられて応援団の宴会に行かされたというのが私の水泳部との縁でございます。あれが無ければ私はきっとラグビーをやっていました。

戦績の方なんですけれども、全国公で金メダルをお持ちの方がたくさんいると聞いてびっくりしたんですけれども、私の時代は筑波大というイヤな大学がありまして、その連中がゴールドメダルを取っていきますので、シルバーコレクターとかしまして、シルバー3つ、ブロンズ1つ、Freeもシルバーばかりという悲しい思いをしました。

ありがとうございました。



昭和 62 年卒の浜田と申します。

諸先輩方の話を聞いていて、六甲の冷たい水を久々に思い出しました。私は上と下が速い人が多くて、我々62年卒は大した事が無かったんですけども、おかげさまで全国公で2位、3位とか経験させていただきましたし、貢さんと泳いだ時も銀メダルをいただき、非常に良かった思い出です。卒業してから30年ばかり水から遠ざかっていたんですけども、52,3の頃に水泳を再開しまして、最近は結構真面目に泳いで、たまに試合に出たりして、いろんな水泳関係の出会いもあって非常に楽しくやっています。水泳は将来も続けていけると思うので、これからもやっていきたいと思えますし、皆さんもぜひ水泳を続けていただけたらと思います。よろしくお願いたします。



昭和 62 年卒の日比と申します。

私は関東支部の幹事をやっています、今日は関東の方も多く、しばらくご無沙汰しておりましたけれども、今後ともよろしくお願いいたします。

水泳については、高校は 2 年で引退、3 年は泳がず大学入って、次の日に明日試合があるからとおいでと当時金さんとやり取りしていたんですけども、金さんも現役かなと思ったら OB でした。後で気づきました。当時は 59 年生の非常に強力な先輩に恵まれて、良い思いをさせていただきました。

水球については田中コーチに一から教えていただいて、筑波の名物練習が遊んでいるように見えて 4 回生に怒られたりしながら水球の楽しさを学びました。今は千葉の方で小学生のチームを立ち上げてコーチをやっています。コーチに教わった事を子どもたちに恩返しで教えています。

熊本で先日世界マスターズがあったのですけれども、水球の 70 歳代の方も出られているリーグが盛り上がっていたという事で、水球も長く続けられるスポーツだと思うので、現

役の方、昔は千葉に合宿に来てもらったりとかもしていたのですけれども、これからも、皆さん、よろしくお願いします。



昭和 62 年卒の中川です。

丁度 40 年前に入部して、あまり成績の良い世代ではなかったのですけれども、4 年間体育会で過ごせた事で、その後三十数年間、胸を張って私は神戸大水泳部にいましたと言えるという非常に稀有な経験をさせていただいたと思っています。今日 100 周年という事で、昔と変わらない方々とまたお目にかかれて非常に貴重な財産なんだなと思っています。特に現役の皆さん、自分のおじいちゃん以上の人たちの話ってなかなかピンとこない事もあると思うのですけれども、きっといずれ分かる日が来ると思いますので、今日は記憶に残して帰ってもらえたらなと思います。今日はどうもありがとうございました。



昭和 63 年卒の近藤と申します。

中高と水泳を経験したうえで神大に入ったのですけれども、中高の時から寒いのが苦手でした。神大にはプールサイドに風呂がある、流石大学の設備は違うなというのが第一印象でした。以降、なんとか練習の時にはすぐに風呂に飛び込める 1 コースをおさえるというのをやっておりました。以上でございます。



昭和 63 年に卒業出来なかった甲野といいます。先月帰ってきた次女が「おとん留年した」と。どこまで引き継いだるねんお前は、という事態が起こっています。

私は卒業したのち、春日道の会社に就職した関係上、ずっと東灘区に 35 年住んでいます。昔の思い出というよりはめんめんと変

わっていく六甲を見続けてきております。なくなっていく店、なくなられる方、夜逃げされる方、薄くなっていく自分の髪の毛、35 年間ずっと見続けてきているんですね。

在学中 2 年生の後期から 4 年生の後期まで一切学部に行かず部室にしか行きませんでした。2 年間水泳部にしかいていない。これをずっと誇りに思い続けています。水泳部そのものが僕の DNA になっております。

何を明かそう、私が卒業して 7、8 年後に六甲山ホテルで結婚をして、披露宴をして、その日はたまたま月見の宴だったんですね。月見の宴へ上さんをウェディングドレスのままプールサイドに引っ張っていき、結婚式の二次会をさせてもらいました。私の人生すべてが水泳部につながっておりまして、毎日六甲台のプールの横を走っています。そのまま自転車で六甲山頂まで登ってますので、見かけたら「おーい」と声を掛けてください、今後ともよろしく申し上げます。



平成 2 年卒の羽瀬と申します

平 2 年卒というと先輩方の中では平成はまだ若い世代ですが、私は今 57 歳です。私の娘が昨年まで神戸大学にお世話になって

いまして、野中さん、向山君と同じ世代です。当時私が現役時代は、バブル経済真ただ中で、日本が経済的に強いときでした。先輩たちもとてもリッチであちこち飲み連れで行ってもらいました。その反面、練習の記憶はほとんど残ってません。しかし、とにかく楽しい4年間を過ごさせていただきました。今日は素晴らしい会をありがとうございました。



平成4年商船大卒の柳瀬と申します。

統合組の数少ない会員です。今日は100周年記念大会に参加できまして大変光栄です。

先程先輩から学生寮にプールがあったという話がありましたが、ご存じの通り、商船大は船員を育てる全寮制でした。朝昼晩食事提供されるので、自分の部屋からプールに行き泳いでご飯を食べて1日中、寮の敷地から外に出ない日もありました。当時老朽化の激しかったプールを作ろうとなり、昭和から平成初めにかけて、我々の世代は成績もよく、予算が取れました。寮内ではなく、深江キャンパスの学校内だったので、室内プールを平成6年に竣工しました。少し活躍が足らなくて温水プールにでき

なかったといわれました。後輩たちが活躍したらボイラーを入れようと、そんな話もありました。よく考えたら国の予算で温水プールなんてできるわけがないんですけれども。

深江のプールは温水ではないんですけれども、室内プールでシーズン長く泳げますよね。現役の皆さんにはますます頑張っていただけだと思います。私も細々と、生涯スポーツとしてこれからも水泳を頑張っていきます。これからもどうぞよろしくお願ひします。



平成10年卒の諫山です。

現役時は半強制的に水球競泳をやっていた最後の学年です。競泳主任をするということで一人だけ競泳専門でした。非常に強い先輩と未来志向の後輩に挟まれ、中々成績が厳しい学年で、金監督に試合の度に怒られていました。今は神戸市水泳協会の仕事をしながら、中学生高校生の試合の役員をしたりとか、非常に古くなっているポートアイランドのプールを令和9年度までに運用開始にもっていきたく活動しております。凌泳会ではずっと会計をしておりますので、諸先輩方いつも寄付金と会費をありがとうございます。

ざいます。非常に助かっております。現役の皆さんには凌泳発送や督促など忙しい中いつも動いていただいて大変感謝しております。もう20年くらい会計をしており、いつでも譲りますので、卒業されて会計をしたい方いらっしゃいましたらいつでも言ってください。よろしく願いいたします。



平成 11 年卒の濱出と申します。

2018 年まで東京で仕事をしていました。関東の方々、ご無沙汰しております。コロナの直前に神戸の実家に帰ってきて、ハマデスポーツで働いております。給料が 1/3 になりましたけど、何とか生き延びております。水泳は変わらず楽しんで続けておまして、今年まだ一度も 1 フリ 1 分切れなかったのが心残りです。また来年も泳ぎたいと思っているのでよろしく願いします。



平成 11 年卒の成田と申します。

専門は水球でした。その当時キャプテンは濱出くんでした。我々の世代は非常に成績が良かったので、毎回三商大戦が終わると石井会長が嬉しそうに満面の笑みで喜んでいただいたことが今でも記憶に新しいです。月見の宴になると富岡さんがサントリーのビールを何ケースも提供いただいて、入社した時にはもうすでにガンマ GTP がおかげさまで高かったのも非常にありがたい思い出です。金監督にも試合毎に激励に来ていただいて、現役思いの先輩たちに囲まれてありがたかったなと思います。入部して、正門でビールを飲むというイベントが当時ありまして、今もやっているのですかね。今日実はひよっとしたら水球の試合があるのかなと思って、今年何回か船橋高校で水球のトレーニングをしました。船橋高校にチーム房総というチームがありまして、何人かオリンピックも出しているチームなんですけれども、そこでトレーニングしていたので、今日試合が無くて残念です。次回を楽しみにしています。

現役の皆さんはアレを目指して頑張ってもらいたいと思います。阪神優勝おめでとうございました。



平成 21 年卒の西澤です。私は水球面でしたが、現役の時は特に役職もなく、エースでもなく、自分の居場所を探しながら 4 年間頑張っていました。仕事で 20 代はずっと船乗りをしまして、最近やっと日本に落ち着いたので、凌泳誌の編集担当をしております。現役の凌泳委員の皆さんにはリモート対応でお世話になっており、いつもありがとうございます。私が現役の時の話をすると 2004 年に 1 点差でインカレを逃した先輩たちが奮起され、燃えに燃えて、2005 年、2006 年と 6 年ぶりにインカレに出ました。自分が 3,4 回生の時にはその先輩方が抜け、同期に兵庫選抜であった司馬君というすごくいい選手がいたんですけども、彼がバックで阪大、京大、市大のエースを 0 点に抑えるんですけども、僕たちが点を取れずに勝てませんでした。それが今でも悔しくて、未だにもっと強くなりたいなど、現役の子たちの顔を覚

える程度にはプールに行き、水球を続けております。

前後の世代が少ないのは丁度、仕事や子育てが忙しい世代で、中々足は運べないですが、同世代と連絡は取り合って、プール行きたいね、試合見にいきたいねと話しております。また機会があれば集まって応援に行きます。



令和 2 年卒の島津と申します。

今年から水球の兵庫県選抜の監督をしております。私が入部したときには六甲台の部室があつて、卒業する時には使えなくなった年代です。関東遠征の時には日比さんの家に泊らせてもらいながら合宿させていただいたりしました。コロナの影響は追いコンがなくなったくらいで、ぎりぎり影響を受けず水泳部 4 年間刺激のある時間を過ごさせてもらいました。今後ともよろしく願いいたします。

神戸大学体育会水泳部 100 周年記念 凌泳会 第 8 回全国大会をふりかえって

大会実行委員長 酒井 正人
(凌泳会副会長、農、昭 53 年卒)

神戸大学体育会水泳部が神戸高等商業学校に正式に認められたのは 1921(大正 10)年で、本来 100 周年は 2021(令和 3)年に行われる予定でした。

それに向けて、2017(平成 29)年 7 月、実行委員会を立ち上げ、準備に取りかかりました。そんな矢先、2020(令和 2)年 4 月、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、以後、実行委員会活動は休止状態となり、100 周年記念大会も 2021 年、2022 年と延期となり、開催が危ぶまれました。

一方、東京オリンピックが 2021(令和 3)年に開催されたことを機に、コロナ関連の規制も緩和され、実行委員会活動も復活し、2023 年(令和 5)年 9 月 17 日(日)、めでたく「神戸大学体育会水泳部 100 周年記念 凌泳会第 8 回全国大会」を開催することができました。会場である出光佐三記念六甲台講堂には、会員 57 名、現役生 52 名の計 109 名が参加いただきました。開催に至るまでの間、実行委員会は勿論、水連・大学等関係機関の皆様のご支援・ご協力をいただきましたことを、この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

13 時、第 1 部式典が開催されました。長谷川健凌泳会会長、本間正信水泳部部長の挨拶の後、本来ならば来賓の方々の祝辞をいただきたいところではありましたが、コロナ禍の中、感染拡大防止のため、今回は来賓をお招きしないこととしました。代わりまして、藤澤正人神戸大学長、鈴木大地(公財)日本水泳連盟連会長、八塚明憲(公財)日本水泳連盟学生委員長、樋口浩三(公財)日本水泳連盟学生委員会関西支部長、中西 進(社)兵庫県水泳連盟会長、内藤忠顕一橋大学水友会会長、山口宗司大阪公立大学体育会水泳部 OB 会副会長、浜野喜史元神戸大学応援団団長・参議院議員からの祝辞・祝電の披露、水泳界を代表する皆様からのビデオレターの紹介、水泳部 100 年を振り返るビデオの上映、凌泳会ホームページ・リニューアルのお披露目、太田浩紀水泳部主将の挨拶と続きました。

その後、2022(令和 4)年にマスターズ水泳において、武政英幸先輩(営・昭 39 卒)、井上隆史先輩(営・昭 37 卒)、佐敷定雄先輩(農・昭 49 卒)、安茂 茂先輩(工・昭 39 卒)が 320 歳から 359

歳の区分、4×100m メドレーリレーで 6 分 28 秒 71 の世界新記録を。さらに、玉川智嗣君(平 28 卒)が 119 歳以下、4×100m メドレーリレーの第 4 泳者自由形で 3 分 55 秒 10 の世界新記録を達成されたことを祝して、凌泳会から記念の盾を贈呈しました。

最後に、パネルディスカッション形式で、近隣の年代ごとに登壇し、一人一人のご挨拶をいただきました。現役時代の武勇伝・失敗談、後輩への激励、近況報告等、六甲台プールで共に泳ぎ競い合ったスイマーとしての言葉を通して、100 年の伝統を深く感じ取ることができました。

15 時 30 分、第 1 部が終了。六甲台正門前にて恒例の記念撮影をしました。

16 時から会場を正門横のアカデミア館 1 階に移し、立食パーティー形式で懇親会を開催しました。第 1 部とは打って変わり、どのテーブルも歓声と笑いに包まれ、それぞれの時代にワープしていました。旧友は勿論、現役生と OBOG が交流・懇談できたことは意義深いものでした。そして恒例の締めくくり、神戸大学の愛唱歌「商神」の合唱へ。ただ、コロナ禍により 3 年間懇親会等が自粛されていたため、現役生は一度も商神を聞いたことも、歌ったこともないことを知り、皆啞然としました。このよき伝統を引き継ぐべく、OBOG の力強い歌声はいつもにも増して心に響くものがありました。

18 時 30 分、懇親会も無事終了。改めて、大会運営に携わっていただいた実行委員、現役生に心よりお礼申し上げますとともに、次なる 110 周年、120 周年に向けた水泳部並びに凌泳会の一層の発展、活躍を祈念いたします。



【式次第】

第1部 100周年記念式典

(於)出光佐三記念六甲台講堂

○開会

1. 挨拶 長谷川 健 凌泳会会長
本間 正信 神戸大学水泳部長
2. 祝辞紹介
3. 神戸大学体育会水泳部・凌泳会100年を振り返って
4. ホームページ「凌泳会」のリニューアル、
ホームページ「凌泳会マスターズ・河童天国」との統合
5. 水泳部主将挨拶
6. パネルディスカッション

○閉会

〈記念撮影(六甲台正門前)〉

第2部 懇親会

(於)アカデミア館 「さくら」

○開会

1. 挨拶
2. 乾杯
3. 懇談
4. 商神合唱

○中締め

【参加者名簿】

OB・OG、現役部員を含めた総勢109名の参加があった。以下、参加者リストである。OB,OG は卒業年次、現役部員は記念大会時点の学年が記載されている。

NO	卒業年次	氏名	NO	卒業年次	氏名
1	水泳部部長 回生	本間 正信	26	S53	高木 史子
2	元水球コーチ	田中 克巳	27	S55	桑本 万里
3	S34	岡村 司	28	S56	上田 剛弘
4	S37	井上 隆史	29	S56	山本 隆
5	S37	岡田 重義	30	S56	土井 和幸
6	S37	米田 啓祐	31	S57	富岡 洋三
7	S37	高岡 保宏	32	S57	白子 靖則
8	S37	山田 貴彦	33	S57	藤田 弥門
9	S37	萩原 武	34	S58	金 一波
10	S37	柳本 正雄	35	S58	田中 俊哉
11	S37	福地 武	36	S59	谷水 利行
12	S38	鈴木 剛弘	37	S59	吉岡 宏之
13	S39	滝沢 章三	38	S59	呉竹 正人
14	S39	鈴木 正弥	39	S59	大西 栄美
15	S39	安茂 弘	40	S60	南谷 昌宏
16	S40	前田 和秀	41	S60	浦野 敏明
17	S45	玉置 明	42	S60	坂田 純孝
18	S45	菱田 徹	43	S60	楠戸 祐子
19	S46	岩切 博	44	S60	池邊 正雄
20	S46	以西 吉一	45	S61	川原田 貢
21	S49	長谷川 健	46	S62	浜田 昌巳
22	S49	佐敷 定雄	47	S62	日比 勝巳
23	S52	伊藤 良一	48	S62	中川 善雄
24	S53	平石 康	49	S63	甲野 賢
25	S53	酒井 正人	50	S63	近藤 直明

NO	卒業年次 回生	氏 名		NO	卒業年 次 回生	氏 名
51	H2	羽瀬 智文		80	3回生	細見 隼斗
52	H4	柳瀬 啓		81	3回生	森本 恭輔
53	H9	諫山 大介		82	3回生	山本 征明
54	H11	成田 康修		83	3回生	伊藤 路人
55	H11	濱出 憲一郎		84	2回生	井上 乃絵留
56	H21	西澤 翔		85	2回生	遠藤 力人
57	R2	島津 大地		86	2回生	大星 颯太郎
58	4回生	浅野 俊太		87	2回生	川上 宙氣
59	4回生	岡崎 圭佑		88	2回生	川崎 亜瑠
60	4回生	新保 空		89	2回生	北岡 さくら
61	4回生	徳山 元太		90	2回生	久保田 伊織
62	4回生	夏目 大暉		91	2回生	窪田 理紗
63	4回生	濱田 泰地		92	2回生	杉山 智哉
64	4回生	平野 樹		93	2回生	清水 恵那
65	4回生	前野 陸人		94	2回生	長光 咲良
66	4回生	前田 七海		95	2回生	縄田 大翔
67	4回生	松島 優太		96	2回生	千須和 佑飛
68	4回生	棟廣 海来		97	1回生	浅井 大翔
69	4回生	村尾 侑哉		98	1回生	宇津原 旭
70	4回生	矢迫 恋佳		99	1回生	小黒 好貴
71	3回生	鶴澤 茜里		100	1回生	小笹 和真
72	3回生	牛尾 帆花		101	1回生	越智 涼夏
73	3回生	江口 あすか		102	1回生	木島 涼介
74	3回生	太田 浩紀		103	1回生	角 凜人
75	3回生	河内 ひかる		104	1回生	立道 愛和
76	3回生	清川 翔紀		105	1回生	知野見 小遥
77	3回生	近藤 真史		106	1回生	松尾 咲希
78	3回生	千住 響子		107	1回生	南谷 泰志
79	3回生	野崎 智仁		108	1回生	山崎 はる香
				109	1回生	山本 英穂

振り返り会議事要旨

1. 全体

- ・大きなトラブルもなく、良かった
- ・参加者も目標の 80 名には達しなかったけれども、58 名の会員が参加してもらい現役生を合わせた 100 名は成功と言えよう
- ・コロナ禍明けの初の大規模な凌泳会行事で、OBOGと現役生が久方ぶりに顔合わせできて良かった

2. 収支決算

- ・参加者を 40 名で組んだが、57 名の参加があり、Tシャツ代を含めて 19 万円の収入増となった。
- ・支出では、第 2 部懇親会の経費が 7 万円余ったこと等で予算退避で 8.7 万円の支出減となった。
- ・以上の収支により 277,486 円の黒字となった。
- ・余剰金は、現役水泳部に渡すが、消費的経費としてではなく、優勝カップの保存用のロッカー、部旗など競泳面と水球面の双方にとって有効・有益なことに活用してもらいたい。
- ・水泳部内で話し合って 12 月末までに決めてもらい、連絡は幹事長へ。
- ・納期は 3 月末までのものとする。
- ・決定した用途は来年度の凌泳会総会に報告することとする。

3. 第1部 式典

- ・出光講堂は会場として大変良かった
- ・照明の操作が難しかった
- ・準備も開場の 1 時間前の 11 時で十分対応できた
- ・受付にはもう少し人手が必要。特に、お金の受け渡し。
- ・OBOGからの一言が良かった。現役生に歴史を感じてもらえたのではないか。できれば、凌泳(令和 6 年度/100 周年記念特別号)にあの一言を掲載できないか。
- ・受付では領収書の事前準備をしておくことが必要。
- ・受付は開会後も遅れてこられる方対応のため、人員配置を事前に決めておくことが必要。
- ・今回の進行役は幹事長が担当したが、過去の例では現役生が担当している。OBOGと現役が一緒に大会運営をする意味からも、現役生に進行役を任せてみることも次回は検討してほしい。

4. 第2部 懇親会

- ・食事の量は現役生が食べるだけの量はあった。
- ・当初、懇親会は三宮の第一楼を考えていたが、移動の時間、費用を考えれば、今回の場所が良かったと思う。
- ・立食形式が良かった。着席形式だと、わざわざ立って動かないといけない。高齢の方には、椅子を用意しておけばいいだろう。
- ・交流会という趣旨からも動きやすい形式がふさわしい。

5. 記念品

- ・Tシャツはあの価格で、あの品質は申し分なし。ハマデスポーツに感謝
- ・袋も正解。いいサイズで手ごろな値段を用意してもらい、これも感謝
- ・Tシャツは予算では 150 着作成だったが、現役生には行き渡ったのか？
→ 全員配布できた。
- ・最終何着作成したのか？→濱出くんを確認する。(上田)

6. 実行委員会

- ・当初は会議室を借りて開催していた。自社ビルの会場を提供してもらった金監督には感謝。
- ・現役生はよく動いてもらえて感謝。
- ・LINEで情報共有が迅速かつスムーズにできて良かった。

7. その他

- ・写真はホームページにアップすることで、そこからダウンロードしてもらう方法を予定している。
- ・ビデオはデータが重く、HP へのアップは無理。データを USB・DVD

◆日 時：2023 年 11 月 4 日（土）16:00～17:00

◆場 所：(株)アクアティック 4 階会議室

◆出席者：13 名

(内訳)長谷川会長、酒井実行委員長・副会長、川原田監事、諫山幹事、金監督・幹事、上田幹事長、南谷（昭 60 卒）、野崎元主務（3 回生）、牛尾（3 回生）、鶴澤（3 回生）、細見（3 回生）、近藤（3 回生）、千須和（2 回生）

「神戸大学体育会水泳部100周年記念 凌泳会第8回全国大会」開催に向けた活動

令和3(2021)年、凌泳会は100周年を迎えた。これを祝すべく、平成29(2017)年7月8日、100周年記念大会開催に向けた活動がスタートした。会長、副会長、幹事長の三役と幹事数名が集まり、開催時期、記念行事、記念誌の発行、記念品、タイムスケジュール等のたたき台を用意した。そして、同年9月9日、メンバーを拡充した第1回凌泳会100周年記念大会実行委員会を皮切りに、令和元(2019)年10月9日までの計5回開催し、

- 開催時期は、令和3(2021)年9月26日、月見の宴と併催した全国大会とする。

- 内容は、第1部は講演会(出光講堂)、第2部は懇親会(第一楼)

- 記念誌として、凌泳会誌のCD化

の概要を固めた。

そして、個々具体化の検討に入ろうとした令和2(2020)年4月、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、同年4月9日に開催予定の第7回実行委員会が8月15日に延期、8月15日を11月21日に再延期、11月21日も再々延期となり、活動が停止する。

◆新型コロナウイルスの収束が見えない中、令和3(2021)年2月3日、三役間のLINEにより、

- 開催時期を令和4(2022)年以降に延期

- 第2部の会場(第一楼)をキャンセル

など当初の計画を練り直すことを決める。

令和3(2021)年に入っても、1月14日から2月28日をはじめ、3度にわたる緊急事態宣言が出され、実行委員会が開かれない状況が続く。

◆令和3(2021)年10月23日、実に2年ぶりにミニ実行委員会を開催。今回から林(勇)幹事にweb形式で参加してもらおう。ここで、

- 開催時期を令和5(2023)秋とする

- 100周年記念事業として、林(勇)幹事を中心にすべての凌泳会誌をCD化する

- CDの完成記念として全国大会を六甲台で開催する

ことを決める。

◆令和4(2022)年1月8日、現役の主務、副主務2名を加え、前回の確認と5月の凌泳会総会に今回の企画案を提案することを決める。

◆同年2月26日

- 全国大会は第1部を出光講堂での講演会、第2部は大学構内で懇談会(お弁当形式)

○記念品として、凌泳会100周年記念誌と過去の凌泳会誌をCDでなくUSBにして配布
○同作成事業は凌泳会100周年記念USB作成委員会(委員長は林(勇)幹事)が行う
を決定。

◆同年4月9日、次期主務、副主務の現役2名が新たに参加

○過去の凌泳会誌のUSB配布をやめ、凌泳会ホームページに併せてアップする事にする。
○「凌泳会100周年記念誌」を「100周年記念パンフレット」とする。
を決定。

◆同年5月29日

○パンフレットに掲載予定の祝辞の依頼先を絞る
○タイムスケジュールの精査
を決定。

◆同年9月4日

○コロナ禍の収束の見通しはつかないが、第8回全国大会を月見の宴との併催とし、2023(令和5)年9月17日(日)<予備日:9月10日>とする
○全国大会には来賓は招かない、ビデオレター形式の祝辞をいただき、参加者に年代ごとにエピソードを紹介してもらう等次第を詰める
○記念品の候補をタオルに絞る
を決定。

◆同年11月20日、現役次期主務が新たに参加

○第1部を出光講堂、第2部をさくらに、祝辞の依頼方法
○マスターズ水泳世界新記録を全国大会で祝うこと
を決定。

◆令和5(2023)年2月28日、凌泳担当の現役2名が新たに参加

○参加者を100名、参加費を10,000円とする等の100周年記念事業の予算案
○第1部・第2部の司会、挨拶、締め等の役割分担
○パンフレットの表裏のデザインを甲野(昭和63年卒)に依頼するなど仕様の確認
○記念品をタオルからTシャツに変更する
○マスターズ水泳世界新記録達成のお祝いにクリスタル盾を贈る
を決定。

◆同年4月30日、川原田監事が復帰、羽瀬幹事が参加

○参加費を10,000/人、同伴者6,000円/人、Tシャツ購入費を5,000円/着、2着目から3,000円とする。

○全国大会の案内文案の検討

○凌泳(令和5年度/第71号)には凌泳会100周年記念特別号の冠はつけないを決定。

◆同年5月28日

○第1部の出光講堂の設備の確認、飾りつけ等を検討

○第2部の会場レイアウト

○現役が商神を知らないことが発覚したので、商神の音源(URL)、由来をパンフレットに掲載する

を決定。

◆同年8月5日、濱出(平11卒)が参加

○大会名を「神戸大学体育会水泳部100周年記念 凌泳会第8回全国大会」とする

○出席予定者の確認と勧誘先の最終確認

○パネルディスカッションの割り振りの確認

○記念パンフレット、記念Tシャツの最終確認

○ホームページのリニューアル状況の確認

○「100年をふりかえって」の編集

○マスターズ水泳世界新記録達成のレプリカの決定

○9月17日(日)、実行委員会委員は11時に現地集合

を決定。

◆同年9月17日、大会本番を迎える。

<参考>

1. 凌泳会100周年記念大会実行委員会委員

委員長:酒井正人副会長(昭53卒)

委員:長谷川 健会長(昭49卒)、川本 典子前副会長(昭51卒)、桑本 万里副会長(昭55卒)、上田 剛弘幹事長(昭56卒)、金 一波幹事・監督(昭58卒)、長崎 真人前幹事長(昭59卒)、川原田 貢監事(昭61卒)、羽瀬 智文幹事(平2卒)、諫山 大介幹事(平9卒)、濱出 憲一郎(平11卒)、西澤 翔幹事(平21卒)、林 勇樹幹事(平25卒)、松田 美加(平27卒)、岡崎 圭佑(4回生)、矢迫 恋佳(4回生)、平野 樹(4回生)、松島 優太(4回生)、野崎 智仁(3回生)、鶴澤 茜里(3回生)、牛尾 帆花(3回生)、細見 隼斗(3回生)、近藤 真史(3回生)、千須和 佑飛(2回生)

2. 凌泳会100周年記念CD作成委員会(凌泳会ホームページリニューアルに変更)

委員長:林(勇)幹事(平25卒)

委員:西澤(平21卒)、岡崎(2回生)、矢迫(2回生)

3. 実行委員会開催実績

年	月/日	活 動	備 考
H29(2017)	7/8	第1回検討会	三役と幹事2名
H29(2017)	9/9	第1回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	上記プラス4名
H29(2017)	11/11	第2回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
H30(2018)	6/23	第3回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
H30(2018)	10/27	第4回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	三役と幹事2名
R1(2019)	10/9	第5回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
R2(2020)	3/16	本間部長研究室の凌泳会資料調べ	同上
R2(2020)	4/9	第6回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	コロナにより 8/15 に延期
R2(2020)	8/15	同上	11/21 に再延期
R2(2020)	11/21	同上	再々延期(時期未定)
R3(2021)	2/3	LINEにより協議	三役と幹事2名
R3(2021)	10/23	第6回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	三役と幹事2名
R4(2022)	1/8	第7回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	上記プラス現役2名
R4(2022)	2/26	第8回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
R4(2022)	4/9	第9回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	上記プラス現役2名
R4(2022)	5/29	第10回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
R4(2022)	9/4	第11回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上
R4(2022)	11/20	第12回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	上記プラス現役1名
R5(2023)	2/23	第13回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	上記プラス現役2名
R5(2023)	4/30	第14回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上プラス幹事1名
R5(2023)	5/28	第15回凌泳会 100周年記念大会実行委員会	同上

R5(2023)	8/5	第16回凌泳会100周年記念大会実行委員会	
R5(2023)	9/17	本番	同上
R5(2023)	11/4	反省会	同上プラス南谷(昭60卒)

【追悼文】

追悼：北村 敏 先輩（1959 年卒）

凌泳委員 榮川 泰介（1959 年卒）

昨年、北村君のご逝去を、旧九回卒の野田君より電話で連絡を受け驚きと残念な気持ちがこみ上げて参りました。

私たちの在学時は、まさに戦後の荒廃から日本国がはいあがってくる途上にあり、学校も新制度の始まりで、旧制の神戸商業大学が母体となり県下の旧制度の高等学校他国公立大学を順次六甲台の米軍将校住居跡の広大な土地を手に入れる事との交換条件で、当時の学長古林喜楽先生が、全額を集約するために総力を注いでおられました。

1955 年入学当初六甲台プールには、旧商大 3 学部の専門課程（3 年・4 年）及び御影分校の 1, 2 年生の学生しかおらず放課後練習のみの寂しいものでした。この様な事情で、初めて姫路の分校からの部員との合同練習は 1 年目の夏休みの合宿練習からでした。

当時の、小中高等学校にはプールのある学校は少数派で、大学に入学後水泳を始めた部員が大半でした。旧 7 回生でも、高校時代国体経験者は岡村司君ただ一人で、プールのあった灘高校出身の私も、近畿大会に予選で出ただけでした。

新入生の大半は入学時姫路分校での寮生活をして居り、分校では午後に練習する時間があり、大勢の新部員が毎年あったことを記憶しております。

北村君も例にもれず、姫路の寮生活のうちに水泳生活を始められたようです。私は、御影分校では唯一の部員でした。初めての合宿時に北村君とは二人だけの経済学部で親くなりました。自宅からの通学者は私一人で全員の部員たちは下宿或いは寮生活で、富岡 Captain のもと、小生は第一日より Manager 専任に集金係即ち先輩方に資金を頂きにお尋ねすることに、専念することになり。練習の企画は岡村君、部の年間や合宿については、北村君が引き受けてくれました。

秋の全国大会前は、北村君は我が家に泊まってもらい予算案の打ち合わせすることが毎年のことになっておりました。

岡村君と北村君の企画のおかげで神戸大学は我々の 4 年間の国公立大学戦は関西では良い成績をおさめ全国大会に出場し、インカレも 1 部と 2 部を隔年に往復できたことを覚えております。

今でも、北村君の美声の宮津節が耳に残っております。# 丹後の宮津で、ぴんとだした～～余りにも、早く天国に旅立たれた北村敏さん有難う御座いました。

余談ですが、小生の三男が北村さんの故郷の京が岬で平成 27 年 11 月釣りの最中に波に飲まれたとき、宮津・舞鶴方面での探索行動で大変なご協力を頂いたこと、感謝いたしながら合掌

凌泳会員 岡村 司(1959年卒)

北村 敏君を認ぶ 昭和34法 岡村 司
 二度と行くまい、丹後の宮津、縞の財布が
 空となる。北村君と飲めば、彼の故郷の宮
 津節を、よく二人で、口ずさんだ。令和五年
 九月十七日の凌泳八回全国大会で彼の母が見
 えず、既に逝去された旨を聞き、絶句。へ令
 和五年三月二十日、心筋硬塞、享年八十八才
 〇。近年、彼とは、凌泳総会、月見の集いで合
 つていたが、コロナ発症以降、3、4年位は
 会っていなかった。小生の手元には、大変趣
 のある、彼手彫りの版画摺りの年賀状が在る
 が、もう見られない。彼との出会いは、昭和
 三十年夏の神大姫路分校のプールであった。
 分校自治会では、部活費の配分があり、自治
 会役員が多い部に、多く配分される傾向が判
 明。北村君と計り、次年度の役員選挙で水泳部
 全員立候補、全員当選、予算の大半を獲得し
 た。後に他都から文句あるも、後々祭りノ
 夏ノ部活休みに、宮津の彼の実家に遊んだ。
 実家は、宮津の観光船棧橋から陸側に至る直

線道路の脇に在った。棧橋の直近から、道路
 の西側には、有名な、宮津遊廓が軒を連ねて
 いた。遊廓の出口の道を距てた、左側の角に
 実家があり、二階より櫓り越こに、さんざめ
 く夜の遊廓街を見渡せた。へ令着防止法施行
 前。二人でスナックで「財布を空にし……」
 若いママとホステスを、先水がれ、自転車
 後に乗せ、川沿いの土手道をドライヴとシヤ
 レ込んだものの、小生、心うせへか、足が
 ふるえ、ハンドル、ジグザグ、様にならな
 った。彼の父君は、丹後海陸(当時、宮津の
 ハス、遊覧船、連絡船等、交通の中核企業)
 の重役であった。訪月時、御存命か否かは定
 かでない。六甲台に移ってから、水泳シー
 ズン中は、彼には、プールサイドが安全の場
 だったようだ。部員に会うと、プールへの集
 合を促し、部の結束を心懸けていた。四年の
 部活は、関西インカレ二部優勝二回、一部最
 下位二回の昇格の縁起だった。三商大
 戦では、競泳常勝なるも、水球は下位が多く

・彼もボーレソフちのけで、相手選手とム沈め合いに専念していた。合宿は、六甲台では、正門近くの大広間(現)、さくら町近しを使った。合宿費捻出の為、西宮球場の競輪用貸出の徴収アルバイトにも、北村君・細田光事等ともども参加、明け方、合宿所に送って帰ったもの、富岡主将にばれ、大目玉を喰った。地方合宿は滋賀大学、岡山朝日高校、高松栗林公園、徳島鴨島で行った。鴨島合宿では、夜に町のん々が部員に阿波踊りを鳴物入りで教えてくれた。軽快な「ふしこのしのリズムに全算が歌まり、あんたら、泳ぎより、踊りに向いちよる」とおなてらね、帰路、小松島港から美船「た漢西汽船」、山水丸の甲板でも阿波踊りを続けた。

東京神宮プールで開かれた全国民公立大会で、小生、背泳で優勝したが、彼のサボートが大きかった。常時、相談相手、補佐役であり、副主将の役割を全うしてくれた。

卒業後、彼は川崎航空機(後に川崎重工業と

合併)に就職。人事業務関係を経て、理事を努めた。中国市場開拓にも尽力したと聞か。因みに、当時の川崎重工業の会長、砂野仁氏(日本商工会議所副会頭)は彼の縁戚に当る。会えば、いつもニコニコとした童顔は、刺見られぬ。今も只々、北村君の冥福を祈るのみ。

夙、薙々として、湊川塵い、
 壯士、一度が、去つて、復た不還
 令和六年 如月

凌泳会員 野田浩志(1960年卒)

北村先輩のご逝去を謹んでお悔やみ申し上げご冥福をお祈りします。今後共、冥界にありましても引き続き凌泳会及び神戸大学水泳部の活動を見守っていただきたい思いで一杯です。

思い起こせば水泳の対抗試合でのエールの交換や部員の歓送迎会等に於いて先輩が高らかに歌われた“丹後の宮津でピンと出した”——に始まるご出身の京都丹後地方の民謡“宮津節”は私たちを大いに鼓舞してくれました。

而も、この“丹後の宮津”は私の父の出身地でもあり、先の太平洋戦争中には、“丹後”の親類を頼って私の家族が疎開していたことから特に親近感があったことが縁ともなり、大学に入って早々の水泳部で先輩の面識を得たものです。合宿の時にはごろ寝している私たちの間に割って入ってこられ“オイ！お前ら就職のことを考えとんのか？”といきなり問いかけられたので「社長になれるメーカーを考えています！」と、いい加減な応えをしたことを覚えています。結果的には卒業後も先輩の勤務先であった川崎重工業(株)に就職、退職後も尚、今日に至るまでするまで長いお付き合いを得たことになりました。”

入学当時(1958)は総合大学として学舎統合の過程にあったために、教養課程と専門課程の学舎が神戸市内に而も学部別に数か所の他、姫路市内に分散を余儀なくされていました。当然ながら練習もプール毎にバラバラ。私の場合 同期で主将を務められた酒井孝栄さん(1961 卒)を入れて2名だったので、それぞれ 2、000メートルのロングを“泳ぎ手”と“計測手(コール)”を交互に分かち合って練習ノルマをこなす淋しい時もありました。そんな頃、先輩が神戸から姫路へ駆けつけて下さってプールサイドから激を飛ばして勇気づけくださったものです。

以上のような分散した環境の中では大学対抗戦に備えるために戦力を把握し鍛えねばならない必要がありました。そこで、水泳シーズンに備えて5月連休を活用して校舎ごとに分散して練習している部員を一纏めにしたものが合同練習でした。この合同練習は分散している部の戦力の取りまとめに留まらずチームの一体感を醸成することが期待されていたもので、併せて折に触れてコンパを楽しんだものでした。

ここでも北村先輩は主将であった岡村 司さん(1959 卒)と共に主導的な役割を果たしておられました。

一方、水泳から一歩離れた趣味の領域でも多彩な能力を発揮されていました。ある日、大学付属の学生寮を訪れた際にはウクレレを小脇に寮生と共にハワイアンを奏でるアロハ姿の北村先輩をお見かけしたものでした、

勤務先ではコーラス部員として男声合唱のパートを引っ張られ、絵画クラブでは大判の油絵を毎年定期的に製作、出品。木版画分野では 20 数年にわたり版画の年賀状を作成、配布されるなど留まる処のない趣味の広さでした。

ビジネスの分野ではご専門の人事・労務系の他に営業の統括者としてモーターサイクルの中国市場の開拓にも尽力されました。特に中国がいまだ未だ資本主義的な商習慣に未熟であった段階では非常に手のかかる相手であったように先輩が中国出張から帰国されるたびに独特の観察眼で中国文化に触れた報告を“酒飲み話”に聞かせてもらうことが不謹慎ながら楽しみにしていたものです。

追悼: 荒井 康之先輩(1963 年卒)

凌泳会員 鈴木剛弘(1964 年卒)

荒井康之君は九州の名門小倉高校の出身です。

彼は中学時代は野球部でピッチャーだったそうです。高校でも野球部に入りましたが、硬式のボールに馴染めず退部したそうです。

当時の神戸大学は2回生の9月までは姫路と御影に分かれており、姫路分校には主に地方出身者が配属されていました。姫路分校のプールは広いグラウンドの一角にあり、プールサイドの雰囲気ものんびりしていました。彼が水泳部に入部したのは、時のキャプテン永野一彦先輩(小倉高校出身)から勧められたという単純なことだったそうです。2回生の10月からは、六甲台に移り御影組と3回生・4回生の上級生も一緒になり、水球も本格的な練習になり厳しい雰囲気になりました。六甲台のプールはご存知の通り深いうえに、山の水をひいていたので冷たく、プールサイドではドラム管で焚火をして体を暖めていました。我々が3回生のシーズンオフに、風呂を作ろうということになり、林マネージャー(故人)が先輩の皆さんに寄付をお願いしたり、丸山卓也君(故人)・荒井康之君達と学園祭で焼きとり屋や、大阪の「美人座」というキャバレーでダンスパーティを開催し、資金稼ぎに励み、プールサイドに立派な風呂を作ることが出来ました。

水球はメジャーなスポーツではなかったため、先輩の方々が英文の解説書を翻訳してくださったものを見て練習をしていました。荒井君はフォワードで中学時代に野球をやっていただけにシュートは強烈で、4回生での「一ツ橋戦」では3-2で勝ちました。私はその時ゴールキーパーでした。

就職の時は夏合宿中で、古林喜楽先生から「君達は就職は決まっているのか？ まだ決まっていないのであれば、沖電気に推薦しておくから明日行きなさい」と言われ、慌てて下宿へ帰り、学生服に着換えて荒井君と夜行で東京に向かいました。翌日、面接と英語の試験を受けて、その日のうちに採用が決まり、また夜行で帰って合宿に合流しました。

就職してからは、彼は NTT 関連の営業で私は民需の営業だったので仕事の直接の関係はなかったのですが、同じ独身寮に入り、同期の連中も多かったので、遊びの方は麻雀は勿論、野球チームを作りユニホームまで作りました。彼はエースでした。またゴルフでも彼は社内コンペのハンデは5で、最後にプレーした一昨年の春のスコアは79だったそうです。

晩年のエピソードですが、彼は70歳の頃に急に英会話を習い始めました。そのきっかけが娘さんと英国旅行をした時娘さんは現地の人と平気で話すのに、「お父さんは英会話が出来ないの？」と言われたのが悔しくて、始めたと言っていました。

以上のように彼に姫路で出会って以来60数年の付き合いでしたが、いざ追悼文を書こうとすると、あれは何時のことか分からなくなって、何人かの方に電話しましたが、その方々がおっしゃったのは、「彼は博識でそれもかなり深いコメントをしてくれたねえ」でした。

末文になりましたが、昨年9月の100周年記念大会に彼に声を掛けましたが「行くのはちょっとキツイね。」ということでした。10年に一回の大会なので、これが最後だと思って私は参加させて頂きました。皆さんでしっかりと準備をしていい大会でした。懇親会で1回生の方に「お酒は飲まないの？」と聞くと「まだ未成年ですから。」ということなので他の1回生の方にも聞いてみましたが、異口同音でした。我々の姫路時代は、宴会の時や近くの焼きそば屋や姫路駅近くの飲み屋さんで当たり前のようにビールを飲んでいたので思い出し、ちょっとした驚きでした。

追悼:宮部 高博先輩(1967 年卒)

凌泳会員 熊岡 禎二(1969 年卒)

私が水泳部に入ったとき、宮部さんは 3 年生でした。その頃の部員構成は、曖昧な記憶ですが 4 年生は 10 名を少し超え、3 年生は 7、8 名、2 年生は 3、4 名、新入の 1 年生は 10 名程度であったと思います。

プールの水温がやっと練習に適した 7 月頃には、既に 2 年生は全員退部し、1 年生も 3、4 人は退部していたと記憶しています。人数が少ないので各水泳大会は、出場するつもりさえあれば全員出場できる状態でした。水球でも、私が立ち泳ぎを出来るということでルールもよくわからないままゴールキーパーとして対校戦に出場させられたのを覚えています。

私の 1 年生の夏休みに、1 週間ほどの練習休みがありました。どのような経緯か、京都大学水泳部の合宿に神戸大学の 1 年生が参加することになっていたようで、宮部さんに引き連れられて、私と鈴木俊彦(現在消息不明)の 2 名が京都大学に行ったことがあります。合宿中は吉田山の体育会管理の合宿所で寝泊まりしました。当時の京都大学水泳部は人数が多く、練習を 1 軍と 2 軍に分けていました。私達は 1 軍に混じって一緒に練習したことを懐かしく覚えています。後日談として卒業後、会社員時代に転勤先名古屋で合宿を共にした一人と出会い、友人としてまた心強い職場仲間として 10 年近く付き合う縁もありました。

さて 1 年後、宮部さんが主将となったとき、4 年生と我々の 2 年生で合わせて 12、3 人となり今後の部活動に不安を感じていましたが、1 年生の玉置君達が多数入部したおかげで水泳部としての活動が継続できました。水球の方も 2 年では私 1 人だけがメンバーでしたが、積極的に参加する 1 年生の部員もいて、何とか競泳と水球という 2 枚看板も維持できる状態になりました。

宮部さんが主将をされていたときは、水泳部の部員が少なく部活動としては不自由な時期であったと思います。宮部さんは苦しい時期の水泳部を維持することに腐心されていたと思います。

卒業してからは、私が関東にいなかった時期が長かったせいもあり、再会したのは 30 年ほど前だったと思います。2 回か 3 回凌泳会の例会でお会いしただけで、もっとお会いしておればと残念な思いをしています。

心よりのご冥福をお祈りいたします

追悼: 印南 修三先輩(1974 年卒)

凌泳会員 長谷川 健 (1974 年卒)

令和6年の新年は大震災と飛行機事故で明けました。そんな正月も十日余り過ぎたころ、五十年ぶりに電話しますと言って、一期上の岡本さんから電話がありました。同期の印南君が1月9日に亡くなったとの報せでした。一時期、部員が7名になった水泳部の、数少ない同志の一人の、あまりにも早い訃報の連絡でした。

我々が入学したのは昭和45(1970)年です。大学紛争は終焉に向かっていたとはいえ、上級生の授業の遅れの影響で、入学式が終わってもすぐには授業開始とはならず、たしか大学に通いだした頃には6月となっていたと記憶しています。丁度大阪万博が開催された年で、授業延期をこれ幸いと会場へ出かけたものです。

従って私は遅い入部でしたが、入部した時に部室にヘルメットがあったのが記憶にあります。既に印南君は入部していて春合宿にも参加したとか。新居浜訛りか、「え～」が語尾につく話し方と人なっつこい笑顔の彼とのお付き合いはこうして始まりました。

部活動での活躍も見事でしたが、部内のコンパでも彼と私は名(迷)コンビでした。互いに座布団とビール瓶を持ち二人で踊った東京音頭、これ以上詳しくは書けません。今となっては懐かしい思い出です。そして先輩から受け継ぎ後輩に引き継ぎました。

そうそう、彼の下宿は阪急西灘(現王子公園)でした。三宮で飲んで終電に乗り遅れた時はいつもご厄介になりました。私が人生初の徹夜マージャンをしたのも彼の下宿でした。明日は卒業に直結する科目の試験という日にも押し掛けたこともありましたが。それでも無事単位取得となったと聞きましたが。試験といえば、農学部のキャンパスを通りかかった際測量実習中の彼を見つけ、測量そっちのけで色々話しこんだことも。後で最後スタート地点に戻りつかなかったと聞かされましたが、それは小生と話し込んだのが原因ではなかったとは思いますが。

それでも共に卒業する時には、部員も20名を超すまでに増え 関西インカレも二部には復帰していました。彼がその最大の功労者の一人であるのは誰もが認めるどころです。

卒業してからは同じグループの会社に就職したとはいえ、東西に分かれほとんどお会いする機会には恵まれず、風の便りでは、体重もかなり増加しスマートな体型も一変しているとは聞いていました。ようやく共にリタイアする時期を迎え、コロナ禍での断絶の時期を経て、これからという時にもう逝かれたなんて、残念です、悔しいです、早すぎます。今思い浮かぶ印南君は学生時代のスマートな姿のままです。人なっつこい笑顔と「え～」とともに。

名残は尽きませんが、しかし奥様の許へ早く行かれて良かったと思うことにします。合掌

追悼:木下 憲臣先輩(1988 年卒)

凌泳会員 甲野 賢(1988 年卒)

木下、そっちで楽しく飲んでるか？また誰ぞ口説いてるんとかやうやろな？やるならバレンようにせえよ？こっちは相変わらずや。同期で会う機会も減ってるけど、だいたい昔のまんまや。そらあオッサンオバハンにはなったけど、みんな明るく笑い飛ばして生きてるところは変わってへんわ。お前ほどやないけど、体型は変わったヤツも多いな(笑)俺か？毛エが薄くなったぐらいで、腹筋はバキバキやで。…

還暦近くなると、まだまだ早いとはいえ、知人の不幸に接する機会も増えてくるのかもしれない。

コロナ禍も収まりつつあった 22 年の春、同期の木下君の訃報が届きました。

闘病中と聞いていたので覚悟はしていましたが、ちょうど夜半に王子公園の桜並木を通り抜けている時のこと、桜の花吹雪を背景にした夜空に、色々な思い出が走馬灯のようによみがえりました。

私たち 36 回生は、まだ昭和の体育会気質が色濃く残る時代の、そのうえ国公立ではトップクラスの強豪であった神戸大学体育会水泳部に 84 年に入部しました。選手 10 名、マネージャー 3 名の、個性豊かな面々。中には勉学と水泳を両立している仲間もいましたが、選手 10 名中 5 名が 4 年では卒業しなかった世代。そんな中、木下君は学校の先生になるという目標をぶれることなく持ち続け、学業と水泳と〇〇遊びを手抜きせずにより抜いた好漢でした。

私たちが 2 回生になる春合宿は、金先輩のご尽力で、姫路の施設で行われました。打ち上げの宴会場に、木下君のお父様がビールケースを大量に差し入れて下さったことが思い出されます。播州気質、喧嘩祭りのきっぷの良さ、木下君がお父様のお人柄をそのまま受け継いだことが分かる、とても良いシーンでした(※といっても、全員ハチャメチャに酔いまくっていたため、シーンとしてしか覚えていません…。ちょっとしたホテルレベルの宿泊施設も、私たちの宴会でエライことになっていたような…。)

2 回生になり、後輩ができるやいなや女子部員を彼女にしていまいました。1 つ下の 37 回生の女子部員は、人数は少ないものの精鋭が集まり、神大女子の存在感が高まるのが期待されましたが、彼のせいかな？は分かりませんが、残念ながら彼女は水泳部から去っていきました…。今となっては事情も分かりませんが、木下！いつかそっち行ったときに、ちゃんと説明せえよ！

なぜか彼の周りには女性が華やかにいつもうろついている印象があり、いつ頃か記憶が定かでは無いのですが、宴席で、「木下～、女性の口説き方教えてくれ～」とからんだ記憶があります。木下君は「大きな心で、当たって砕けるや！」と教えてくれましたが、彼の教え通り、当たって砕け散ったことも今となっては良い思い出です。

彼は Fr 短距離専門でしたが、層の厚い部内では得点源とまではなれませんでした。ほぼ初心者で入部して、脳みそまで筋肉だった私とは、同じコースで練習する

ことも多く、また典型的な短距離体質(脳?)だったことも共通していたため、ポロでもワンポイントで投入されることも共通していたため、気が付けば横にいたような記憶があります。お互い、もう少し考えて泳いでたら良かったな～！無駄に「漢」を競っても意味なかったな(笑)

教員試験で必須だったのでしょうか、ピアノの練習をしていると聞いたときは、太い指が鍵盤一つずつ間違わずに押せるイメージが湧かず、留年組がもう一人増えることを内心喜んでいました。恐らく、ピアノも女性に教えてもらっていたのでしょうかね、見事試験合格して、君は卒業して行ってしまいました。

卒業後は、留年生の遊びに付き合うのも難しかったのか、姫路という遠方から神戸まで来ることはほとんど無くなり、賀状のやりとりぐらいになりましたが、私たちは「交わり、淡き事水の如し」の関係で、誰かが困っていたら駆けつける、けれども用が無ければ音信も不通、という間柄でした。互いに繋がっていることは、口に出さなくても分かりあっていました。



21年下旬、LINEで繋がることができ、治癒の見込みのない病と闘っていることを知りました。明るく、いつも通りの調子で闘病状況を書いていたので、こちらも軽口で返しましたが、彼が崇めていた渡哲也の絵を描いて送ってやり、「病気なんかライフルで撃ち殺してしまえ」と励ましたところ、大そう喜んでくれたのが最後の思い出です。

木下よ、先に逝ってしまったけど、みんな遅かれ早かれそっちに行くから、先に飲んで待ってといてくれ。

あ、悪いけど俺はあと60年後やから、ちょっとかかるけど、まあ～不摂生の固まりみたいな奴らも何人かおるから、近いうちに誰ぞ行きよるわ(笑)

でも奥さんと娘さんは未だ呼んだらあかんで！そっちから、家族が幸せになるよう神さんに働きかけとけよ。

それが君の一番の仕事やで！

【マスターズ活動記録】
マスターズ活動記録(令和5年1月～12月)
 ページは『河童天国』からの編集です。

氏名	年齢 区分	種目	ランク	タイム
----	----------	----	-----	-----

新春マスターズ 2023 大阪
1/28,29 東和薬品 RACTAB トーム S

小南 裕明	[55]	50Mバタフライ	③	29-74
〃	[〃]	100Mバタフライ	①	1-06-73
〃	[〃]	200Mバタフライ	②	2-41-76

新春マスターズ 2023 千葉
2/11,12 千葉県国際総合水泳場 S

井上 隆史	[80]	25M自由形	③	18-49
〃	[〃]	200M自由形	①	3-24-41
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	④	51-82
〃	[〃]	100M平泳ぎ	①	1-54-44
前田 和秀	[80]	25M背泳ぎ	③	24-91
〃	[〃]	50M背泳ぎ	④	56-44
〃	[〃]	100M背泳ぎ	③	2-12-82
佐敷 定雄	[70]	50Mバタフライ	①	35-41
前田・安茂・ 佐敷・井上	[320]	200Mメドレー リレー	①	3-05-75

(井上隆史・昭37)

東京地区での今年初めての大会が千葉国際 P. で有りました。関西から安茂さんが参加していますが、東京勢は水温が冷たいと言うことで欠席が相継ぎ、井上隆史、安茂弘、前田和秀、佐敷定雄の4名が参加しました。前日に雪が積もってどうなるか心配しましたが、無事定刻に始まり、定刻に終わりました。佐敷君は元気にスターター最後まで努めましたが、安茂、前田、井上の3人が14時半頃試合が終わり、①軽くビール1杯で乾きを押さえて、帰宅しようということになり、新習志野の唯一のレストラン「サイゼリア」に入りました。感激でしたね。ジョッキ1杯の後にはたまにはワインにしようかと1000円のイタリアワインの白をボトルで1本発注しました。運んできたのを見てびっくり仰天でしたね。1本は1500CC有るのです。軽く終わるはずが重くなりましたね。アルコール濃度が薄いのかと思いましたが、ちゃんと11℃ありました。次々値上げすることが常識になっていますが、「サイゼリア」頑張れと皆さんも応援して下さいね。②もう1つ特筆すべきは私井上は25M自由形に8レーンで出場しました。ナントナント、錦野明さんが+75クラスで6レーンで出場していました。芸能人水泳大会では、結構いいところへ言っているということでしたが、私より早いタイムで泳

ぎました。何時練習するか聞き漏らしたので、今度会ったら、聞いてみたいと思いますね。永年やっていると楽しいこともありますね。

**第 73 回セントラルスポーツマスターズフェスティバル
2 月 23 日 東京辰巳国際水泳場 L**

岡見 晴児	[85]	50M背泳ぎ	②	1-00-93
〃	[〃]	50M自由形	①	1-03-12
井上 隆史	[80]	100M自由形	①	1-32-26
〃	[〃]	50M自由形	②	41-13
久保田 勝巳	[60]	100M自由形	②	1-11-39
〃	[〃]	200M自由形	③	2-38-76

(岡見晴児・昭33)

東京辰巳国際水泳場で 2 月 23 日に開催されました。辰巳国際プールはこの 3 月末に閉鎖が決まっており名残りを惜しむファンや、コロナ禍で 3 年間大会が開かれずウズウズシていたスイマーたちで賑わいました。凌泳会からは、井上(10回)、久保田(32回)、岡見(6回)の 3 名がそれぞれの所属クラブから参加しました。みなさん素晴らしい成績で大いに仲間たちを喜ばせたようです。

**FIA マスターズ 2023
3/11,12 千葉県国際総合水泳場 L**

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	45-60
福知 武	[80]	50M自由形	⑥	44-92
井上 隆史	[80]	50M自由形	③	41-74
〃	[〃]	100M自由形	②	1-33-58
浦野 敏明	[60]	200Mバタフライ	①	3-26-15

(井上隆史・昭37)

参加人員が 5 名以上は競技役員を 1 名選出しなければならないという規定なので、凌泳会では嶋田陽子さんに 2 日間お願いしました。嶋田さんが体調不良から欠席するので、競技役員席から世界新記録を応援しますということで、朝 4 時起きて、連日競技役員で頑張ってくださいました。ところが、肝心の世界新記録を狙う選手(安茂弘、前田和秀、佐敷定雄、)が今度は体調不良で欠席となり、ちょっと寂しい大会となりました。嶋田さん本当にありがとうございました。

次回は 1 週間後の神奈川 M.なので、その再起を誓ったところです。

**第 27 回 神奈川マスターズ短水路
3/19 さがみはらグリーンプール S**

岡見 晴児	[85]	25M背泳ぎ	②	27-65
〃	[〃]	50M背泳ぎ	①	1-04-56
武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	45-09
福知 武	[80]	50M自由形	⑤	42-39
井上 隆史	[80]	50M自由形	④	41-27
〃	[〃]	100M自由形	②	1-32-47
前田 和秀	[80]	25M背泳ぎ	③	25-17

(安茂弘・昭和39)

神奈川マスターズ短水路大会が開催されました。
200m メドレーリレーで日本記録を狙っていましたがメンバーがそろわず棄権しました。

**2023 年度 日本マスターズ水泳短水路大会
4/2 深谷会場 深谷グリーンパークアクアパラダイス ハンティオ**

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	45-09
〃	[〃]	100M個メ	②	1-49-20

(安茂弘・昭和39)

今年も日本マスターズ短水路大会が始まりました。4/1 から 6/4 にかけて26会場で開催されます。

4/29 尼崎会場 尼崎スポーツの森

米田 啓祐	[80]	25M自由形	③	19-84
〃	[〃]	50M自由形	①	47-15
山野 和則	[60]	50M平泳ぎ	③	41-00
〃	[〃]	100M平泳ぎ	①	1-32-50

(米田啓祐・昭和37)

20年ぶりに短水路大会に出ることができました。家から尼崎会場までは、車で2時間余り。久しぶりに兵庫県の南の方に行けるドライブでした。呉竹さん、いろいろとご支援、ご助言ありがとうございました。

5/5 江東会場 東京辰巳国際水泳場

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	44-94
井上 隆史	[80]	50M自由形	③	42-58
〃	[〃]	100M個メ	①	1-54-54
浦野 敏明	[60]	100M自由形	⑧	1-13-73
〃	[〃]	100Mバタフライ	④	1-25-90
濱出 憲一郎	[45]	50M自由形	⑦	26-95

(井上隆史・昭37)

東京アクアティックスセンターで遂に泳ぎましたね！

マスターズ水泳を始めるきっかけは小山賢之助先輩(S7)が「オリンピックプールで大会を開催するマスターズ水泳をこれから作るので、是非皆参加して貰いたい」と東京の凌泳会の会合で発表されましたことに遡ります。手始めはワールド大会で小山さん、田淵さんがオーストラリアの大会に出場されましたね。

コロナ禍で大会の中止が相継ぎましたが、今年は各地で開催されています。東京オリンピックは2020年を1年延期して、立派な施設を作って世界のアスリートを待っていましたが、2021年に結局は無観客の試合となったのはご承知の通りです。観客席の縮小のために1年以上かけて改修工事をして、この4月から、オープンしました。

マスターズ大会では5月5日(金)の試合が最初ですね。さすがに人気は高く、申し込みも1時間で締め切り、今日の開門の8時5分には数百人の行列でした。観客席は半分しか解放していないので、凌泳旗を掲げる場所が飛び込みプールの上の席になったのは残念でしたね。

個人メドレーはこの大会の最初の種目で、女子部の次の男子の部で+80歳なので、第1組の第8レーンで泳ぎました。凌泳会の一番乗りになれたのは光栄の至りです。

館内に物販、レストランは有りません。握り飯を辰巳プール近くのローソンに行ったのはやむを得ないですが、公園は多々ありますが、ベンチが少ないのは困ったことでした。

凌泳会からは、武政英幸、浦野敏明、井上隆史、濱出憲一郎(ハマデスポーツ)の4名の参加でした。水温は28.0℃で泳ぎやすいプールでしたね。

5/20,21 川崎会場 川崎市多摩スポーツセンター

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	①	45-64
福知 武	[80]	50M自由形	①	46-24
井上 隆史	[80]	100M自由形	①	1-35-83
〃	[〃]	400M自由形	②	7-29-40
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	①	52-50
前田 和秀	[80]	50M背泳ぎ	②	58-58
〃	[〃]	100M背泳ぎ	①	2-12-66
〃	[〃]	200M背泳ぎ	②	4-53-38
佐敷 定雄	[70]	50Mバタフライ	①	36-77
久保田 勝巳	[60]	200M自由形	①	2-38-63
〃	[〃]	400M自由形	③	5-37-13
〃	[〃]	100M個メ	④	1-25-98
〃	[〃]	200M個メ	⑥	3-18-27
呉竹 正人	[60]	50M自由形	⑨	33-60
〃	[〃]	100M自由形	⑥	1-21-63
浦野 敏明	[60]	100M個メ	③	1-23-54
〃	[〃]	200M個メ	⑤	3-03-14
〃	[〃]	400M個メ	①	6-34-47
福知・前田・ 井上・武政	[320]	200Mフリー リレー	①	2-52-92
浦野・安茂・ 佐敷・呉竹	[280]	200Mメドレー リレー	①	2-45-01
久保田・井上・ 佐敷・浦野	[280]	800Mフリー リレー	①	11-44-51

(井上隆史・昭37)

Japan M.の川崎会場の大会が5/20(土)、21(日)の2日間川崎の多摩スポーツセンターのプールで開かれました。凌泳会では関西から安茂さんを迎えて、久保田勝己くんも復活して、久しぶりに9名の参加と賑やかな大会となりました。

従来から、Long 主体の大会でしたが、今年は相模原の短水路大会がなくなった影響で、2日間の大会となり、4個メ、800M、1500Mの新種目が増えて、泳ぎ自慢が集まった大会でした。広島でのG7サミットの真最中でしたが、エントリーした全員が無事集まり、久しぶりの大会を堪能しました。

特筆すべきことは、リレーはすべて圧倒的な差で優勝でした。

50背泳ぎは武政、前田とワンツーフィニッシュで、浦野くんの400M個人メドレーは見事優勝でした。しばらくぶりの大会なので、強者が揃ってエントリーしてきて、凌泳会の誇るスタミナの浦野、久保田のコンビも200M個人メドレーでは5着、6着となり、驚いた次第です。

久しぶりの大会なので、凌泳会でも、ゴーグルが取れる人、キャップが脱げてしまう人が出て、打ち上げ開始時間までに解決するか心配でしたね。

安茂さん、本当に遠路お疲れ様でした。神奈マス Long(9月初旬予定)まで関東地区での試合はありませんので、地元でゆっくりと調整をお願いいたします。

5/28 京都会場 京都アクアリーナ

小南 裕明	[55]	50Mバタフライ	②	29-64
〃	[〃]	200Mバタフライ	②	2-34-36

2023年日本マスターズ水泳短水路大会20傑入賞
おめでとうございます

2023年 日本マスターズ短水路大会 20 傑

武政 英幸	[80]	50M背泳ぎ	④	44-94
〃	[〃]	100M個メ	⑦	1-49-20
井上 隆史	[80]	100M自由形	⑬	1-35-83
〃	[〃]	400M自由形	④	7-29-40
〃	[〃]	100M個メ	⑩	1-54-54
前田 和秀	[80]	50M背泳ぎ	⑳	58-58
〃	[〃]	100M背泳ぎ	⑯	2-12-66
〃	[〃]	200M背泳ぎ	⑧	4-53-38
佐敷 定雄	[70]	50Mバタフライ	⑥	36-77
久保田 勝巳	[60]	200M自由形	⑱	2-38-63
〃	[〃]	400M自由形	⑥	5-37-13
浦野 敏明	[60]	100Mバタフライ	⑭	1-25-90
〃	[〃]	200M個メ	⑭	3-03-14
〃	[〃]	400M個メ	⑤	6-34-47
小南 裕明	[55]	50Mバタフライ	④	29-64
〃	[〃]	200Mバタフライ	③	2-34-36
福知・前田・ 井上・武政	[320]	200Mフリー リレー	②	2-52-92
浦野・安茂・ 佐敷・呉竹	[280]	200Mメドレー リレー	①	2-45-01
久保田・井 上・ 佐敷・浦野	[280]	800Mフリー リレー	②	11-44-51

(安茂弘・昭和39)

遅くなりましたが「短水路大会 20 傑」を整理しましたので報告いたします。
2023年度日本マスターズ短水路大会は4/1～6/4にかけて全国26会場で開催されました。

凌泳会関係では13名が出場し、7名が16種目で20傑にランクインしました。リレーは出場3種目とも1位と2位でした。

ランクインされた方おめでとうございます。

(米田啓祐・昭和37)

※このランク表は、毎年安茂さんがUPしてくれます。これは、日本マスターズ協会は作成していなものだと思います。安茂さんの力によって、この表は完成されています。

世界マスターズ 2023 九州大会
8/2~8/11 マリンメッセ福岡 A 館 L

浦野 敏明	[60]	200Mバタフライ	⑭	3-21-45
〃	[〃]	400M個メ	⑮	6-51-84
久松 葉子	[60]	400M個メ	⑳	9-17-53

第 31 回 神奈川マスターズ長水路大会(9/10 横浜国際プール)L

福知 武	[80]	50M背泳ぎ	③	54-63
井上 隆史	[80]	200M自由形	①	3-33-67

(井上隆史・昭37)

9月10日(日)横浜国際 Long P. で開催されました。

凌泳会からは岡見晴児、呉竹正人が体調不良のため棄権、前田和秀競技には棄権、観客席での応援とノンアルコールでの打上参加で、競技参加者は福地武と井上隆史の二人だけと寂しい大会でした。

第 24 回 千葉マスターズ
10/21,22 千葉県国際総合水泳場 L

濱出 憲一郎	[45]	200M個メ	③	2-40-42
--------	------	--------	---	---------

第 75 回セントラル M.Festival
11/4 千葉国際 P.(Long)

井上 隆史	[80]	50M自由形		42-49
〃	[〃]	100M自由形		1-36-09
久保田 勝巳	[60]	50M背泳ぎ		47-56
〃	[〃]	200M個メ		3-22-98

(井上隆史・昭37)

今回も岡見さんは欠場で、凌泳会からは久保田さんと二人の参加でしたね。

将来の凌泳レディース 3 名がそれぞれの出身チームから出場し、嶋田さんが復帰する神奈マスショートか短水路川崎大会あたりでは、凌泳会から出場できそうですね。

**第 10 回 ジャパンマスタースプリント
11/25,26 千葉県国際総合水泳場 S**

武政 英幸	[80]	25M背泳ぎ	③	21-50
〃	[〃]	50M背泳ぎ	③	49-25
〃	[〃]	100M個メ	①	1-55-76
福知 武	[80]	25M背泳ぎ	⑥	22-50
井上 隆史	[80]	50M自由形	④	42-56
安茂 弘	[80]	50M平泳ぎ	③	53-87
前田 和秀	[80]	50M背泳ぎ	⑤	1-01-25
佐敷 定雄	[70]	50Mバタフライ	②	34-61
呉竹 正人	[60]	50M自由形	⑮	34-94
武政・安茂・ 佐敷・井上	[320]	100Mメドレー リレー	①	1-20-53

(井上隆史・昭37)

本日は朝早くからお疲れ様でした。

記録は明日 26 日武政、前田、佐敷とレースがあるので、安茂さんから報告があると思います。

今日の日本新記録を目指した、4*25M.R.は残念ながら 6.26 秒足りませんでした。

勇姿の写真を送付しますので、ご笑納ください。



OLYMPUS DIGITAL CAMERA

第 10 回 秋葉山マスターズ
12/3 秋葉山公園県民水泳場 L

濱出 憲一郎	[45]	200M個メ	①	2-41-54
〃	[〃]	400M個メ	①	5-46-67

第 8 回 神奈川マスターズスプリント
12/10 さがみはらグリーンプール S

井上 隆史	[80]	50M自由形	②	43-87
〃	[〃]	100M個メ	①	2-01-14
前田 和秀	[80]	25M背泳ぎ	②	26-21
〃	[〃]	50M背泳ぎ	①	1-00-05

(井上隆史・昭37)

23年の最後の水泳大会が12/10(日)さがみはらグリーンプールで開催されました。常連の岡見晴児さんが欠席で、凌泳会からは前田和秀君と井上隆史の2名参加と寂しい大会でした。

上溝駅のコンビニで握り飯を買おうとしたら、前田君と会い、そのまま会場へ。一緒に入場したので、場所を示す凌泳旗を掲げることもなく、写真も撮りませんでしたね。

昨年度はコロナ禍の大会でしたが、25M背泳ぎに岡見、武政、福知、井上、前田の5名が参加し組ジャックをした電光掲示板をプールの中から見ていたことを懐かしく思い出していました。

早く終了したので、上溝のインド料理店で「壁」について議論して解散しました。前田君は半バックで1.00.05、私は1個メ2.01.14と大台の壁を越えてしまいました。やはり超えたくない数字ですね。

金 一波 凌泳会幹事・現役監督（公財）日本水泳連盟から表彰

2023(令和 5)年 9 月 23 日(土)、金幹事・監督が(公財)日本水泳連盟から有功章を受賞されました。

有功章授賞式が鹿児島県において開催され、ソウルオリンピックの 100m 背泳の金メダリストである鈴木大地会長から賞状を授与されました。

凌泳会では石井先輩(昭 27 卒)、故橋本先輩(昭 30 卒)、高岡先輩(昭 37 卒)以来、4 人目となります。

神戸大学水泳部は勿論、日本水泳界に貢献しておられる金監督に心からお祝いと感謝を申し上げます。



【お便り掲示板 2024】

井口 靖之・平19 (2007)

H19(2007)年卒の井口です。

凌泳会 100 周年おめでとうございます。大学の部活動というスポーツでつながっている組織が 100 年活動が続けることが出来ているという重み、すごさを改めて感じます。諸先輩方含め現在運営に力を注がれている皆さんにも改めて感謝と敬意を表します。

現役時代は水球面として青春を過ごしたわけですが、社会人になってからも愛知県の社会人チームでプレーを継続、一度目の海外赴任先のポーランドでも、現在赴任中のマレーシアでも現地チームに所属し水球を継続しております。日本人はおろか外国人も皆無、マレーシア人のみのチームの中で水球が出来るというのは唯一無二の経験で大変楽しく、更に試合に参加するだけでなく、コーチとして指導する機会にも恵まれています。おかげさまで週末はゴルフに勤しむ他の日本人駐在員とは全く違う時間を過ごせています。学生当時の思い出を仲間と語りあうことはもちろん、それが現在につながっており、大学時代に水球というスポーツに出会ったことを心から良かったと感じています。現役の皆さんは今この瞬間に集中していてそれどころはないと思いますが、卒業後に感じることのできるスポーツの魅力の一つとして頭の片隅においていただければと思います。

それでは、いつか現役の皆さんとプレーできる日を楽しみにしています！



シンガポールチーム(半分は代表メンバー)との一戦後の記念写真、中列左から3番目筆者



西澤 翔・平21 (2009)

昨年は 100 周年記念大会に参加でき、良い思い出になりました。90 周年の時は乗船勤務中で、同世代や後輩たちが大勢集まっていたのを羨ましく思ったものです。110 周年も参加できますように。前広に声掛けしていきます！

あと水泳活動近況自慢も。

昨夏、地元のマイナーな大会で年齢区分はありましたがエントリーが少なく、小中高生と横並びで激戦？を繰り広げながら表彰状をたくさんもらってしまいました。2 個メに挑戦する大人はゼロ、エントリー即優勝でした。笑何にせよ表彰状は嬉しいもので、パパすごい!!と子どもたちのヒーローにもなれたので、練習はともかく、次夏もエントリー頑張ります。現役役の皆

さん、愚直に仲間と積み重ねる日々、貴重な人生経験ですよ。いつまでもできることはありません。耐えて耐えて頑張ってください。変化を感じて、成長する楽しみを積み重ねてください。いつも応援しています。



北野 怜・平28(2016)

こんにちは。2016年卒の北野です。皆様お元気でしょうか？

2023年11月に、同期の中路君と布目さんの結婚式があり、久しぶりに多くの同期が集まり、大いに盛り上がりました。

来られなかった人を含め、なかなか会えない人もいますが、みなさんお元気ですか？

僕はというと、この3月、9年ぶりに水泳の大会に出場しました。

マスターズの試合で、凌泳会に登録させてもらったの出場です。

久しぶりに全力で泳いでへろへろでしたが、大先輩と一緒にリレーを組む等、現役時代とは違った楽しみがありました。

ハンプレッシャーでのエンジョイスイミングなので、若い人も一緒に出れる人が増えたら嬉しいな一と思っております。

ちょっとでも興味を持った方はぜひ！



三宅 翔・令5 (2023)

OB2年目の三宅です。

先日神奈川県マスターズ短水路という大会に凌泳会から出場させて頂きました。

昨年までの現役時代のレースとは雰囲気はまた異なり、とても刺激の強い大会になりました！

引退してからも何十年と水泳のレースに出続けられている先輩方をみて、私もこんな風に歳を重ねて行くことができたら素敵だなと思った一日でした。

最も印象に残ったのはやはり、OBの武政さん、呉竹さん、北野さんとリレーを組んだことです。

特に武政さんは自分よりも60歳以上年上の大先輩で、その方と同じチームでリレーを組むことができ、忘れられない、非常に楽しい思い出となりました！

4月からは昨年までの関東から異動になり、兵庫の高砂に住んでおります。加古川のマスターズコースで練習を重ねていますので、凌泳会から大会に出場すると思います。皆様その時はよろしくお祈りします。

濱田 泰地・令6 (2024)

24年学部卒の濱田です。

現在、神戸大学の乗船実習科に籍を置きながら就職先のLNG船で実習生として約5ヶ月間の乗船実習の最中に書いています。

今までろくに外国に行ったことのない私が今ではフィリピン人や外地で英語を使って会話しオーストラリアと日本を往復する生活をしています。

1月から乗船していた手前、現役のみんなのプレーを見る機会はずっと減りましたが9月の下船後、現役の成長を肌身で感じられるように船上でも体づくりに励んでいます。

これから直接見ることは難しくなってくると思いますが神戸大学水泳部を応援しています！



【会員寄稿】

「Enjoy Water Polo」

司馬 竜也・平21(2009)

最近、光陰矢の如しと思うこの頃、気が付けば社会人になり、早くも15年が経過しました。この濃密な時間において、振り返れば就職、結婚、転職など様々な経験を積み、ライフステージも大きく変わりました。この記事では到底書ききれないほどの出来事を思い起こします。今回は書きません・・・。

尼崎北高校や神戸大学、兵庫の水球会に所属してきた私ですが、水球が今の私を形成してくれたのは言うまでもなく、将来は兵庫の水球会に恩返しをしたいという思いを抱いていました。現役の時からずっと関西の水球界に尽力してくださっている島津さんには及びませんが、就職先を関西に希望した私も、関西の水球会を盛り上げたいという思いを胸に秘めています。

現役時代から考えていたこととして、水球をジュニアから経験している人と、高校・大学で始めた人では、プレーの中で違いを感じるがありました。練習量の差もあるでしょうが、部活でいきなり始めるよりも、遊びの感覚から始めた方が柔軟なプレーができるのではないかと考えています。また、ジュニアチームがその地域に根付けば、その地元の競技力向上に寄与できることも当然のことと感じています。近年、水球への関わり方も変化してきて、選手としての活動を諦め始めました。100m×1'30はもう4本が限界です。そんな中、他大学の同期が顧問

を務める大阪国際大から水球外部指導者として声をかけてもらったり、2023年には水球審判資格を取得し、審判としても水球に関わり始めました。

そして最近、私の夢であった「地元のジュニアチーム発足」に向けて動き出しました。最も重要なのはプールの確保ですが、尼崎北高校の生徒も小学生時代によく利用している地元のスイミングスクールと協議を重ね、順調ならば2024年4月から利用可能になる見込みです。小学生を対象とした水球教室で、スローガン「Enjoy Water Polo」のもと、水球を純粋に楽しんでもらえる環境づくりに励もうと思っています。そこで経験を積んだ子供たちが尼崎北高校、そして神戸大学と進学し、水球を続けてくれたら嬉しいです。凌泳会の皆さまからのご支援はいつでも受け付けておりますので、是非とも宜しくお願い致します。

最後に、私の水球への関わり方は少し特殊だと思いますが、それは現役時代に水球を通じて得たものがそれだけ大きかったからです。現役の皆さまにおかれましても、競技力向上はもちろん、今後の人生を支える部活動経験を積まれることを望んでいます。水球に全力で楽しんで頑張ってください。

p.s. 本寄稿文は ChatGPT3.5 さんのご協力も得ております。

「今後の水泳部像」

島津 大地・令2 (2020)

今回の凌泳誌では、リレーエッセイに続き寄稿も綴らせて頂きます。令和2年度卒業(水球面)の島津です。

先輩方も現役の方も、少しは考えたことある内容を寄稿のテーマとしようと思ひ、プール新設について書こうと思ひます。部活動をしている中で、神戸大学に年中利用できる50m 屋内プールがあれば良いのにと考えたことはあるはずです。実際に神戸大学に50m 屋内プールを新設するという事を実現しようと思ひると、どのような手段があるかということをお個人的に考察します。

まずは、建設費用から考えていきます。50m、屋内、観客席 100 席くらいの規模のプールの新設費用を算出しようと思ひましたが、公開されている情報はすぐには見つかりませんでした。そのため、現在公開されているプールの整備費から概算して、費用を20億円として話を進めます(計算がざっくりですみません…)

①単純な考え方ですが、最初に思いつくのは自分たちでお金を集めることかと思ひます。仮に200人からの寄付があったとしたら、一人1,000万円。到底そんなお金払ってくれる人はいないでしょう。

②次に、最近の大学プール新設の事例としては、順天堂大学のさくらキャンパスの新設プールが挙げられるかと思ひます。某元スポーツ庁長官が順天堂大学に行ったことも少なからず影響しているかと思ひますが、研究費も使っているという話も聞きました。研究費以外にも補助金や助成金を

利用するという方法もあるかなと思ひます。

③プールではないですが良い事例となるのは、2024年4月から開設している KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD ではないでしょうか。KOBE UNIVERSITY SPORTS FIELD とは、「ミズノが多目的スポーツ施設を整備し、完成後、神戸大学が施設の寄附を受けます。また寄附を受けた施設について大学業務に支障のない範囲でミズノスポーツサービスに使用を認め、事業収入により事業費回収を行うとともに維持管理運営業務を実施する負担付寄附による財の循環に資する整備手法となっております。(神戸大学ホームページより抜粋)」です。プールはスイミングスクールとしてスクール運営ができるため、この施設整備にプールを取り入れてもらえればいいなと思ひながら、ニュースを読んでいた。

ここまで個人的な考察を書きましたが、これ以外にも様々な案はあるはずですが、しかし、プール新設は1年2年で決まる話ではありません。今後の水泳部の在り方を踏まえながら中長期的な視点でこのような内容を現役とOB/OGが話し合うような場があっても面白いかなと思ひました。いつか立派なプールができると嬉しいですね！

【全神戸大学水球面 活動記録(2023年4月～2024年3月)】

西澤翔・平21(2009)

マスターズのように公式記録ではございませんが、近年活発な凌泳会水球面の活動も残しておきたく、大会など記録を掲載いたします。

主な活動記録

5月春季兵庫県主催@尼崎スポーツの森

お疲れ様です。結果報告しますー！！

一回戦, vs 明石西高校

1p、8-1,2p、7-1,3p、8-2

total、23-4(コールド)

得点者,向山 6、大杉 5、菅沼 4、工藤 3、李 3、司馬 2,圧勝です～！！

準決勝, vs 尼崎北高校

1p、4-2,2p、3-4,3p、2-1.4p、2-3

total、11-10

得点者 菅沼 4、大杉 4、李 2、工藤 1

接戦の末勝ちました！

決勝,vs 神戸大学

1p、2-2,2p、1-3,3p、1-4,4p、3-3

得点者,大杉 3 李 2 向山 1 菅沼 1

負けです！笑

交代ほぼいない中で現役相手に戦いました～！！お疲れ様でした！

総合得点,れおさん 12 点,菅沼さん 9

点,李さん 7 点,しょうき 7 点,工藤さん

4 点,司馬さん 2 点でした！！お疲れ

様です！！*記・野中・令5(2023)



8月 NN カップ & 水球 OB 戦 @ ポアイ プール

今回現役と連絡を取り合いつつ企画、進行をさせていただきました。現役とOB が近い距離で水球できる機会というのは貴重なものなので今後もこういったイベントが増えていったらいいなと思ってます！*記・工藤・令4 (2022)

OBOG 参加者(敬称略)

酒井 S53、高木 S53、司馬 H21、李、坪井、工藤、奥村、六川、向山





2023年11月4-5日トビオカップ@静岡

男衆しかいない楽しい？メンズ旅だったようです。優秀なマネージャーさんたちに甘えていたツケで全然料理が来ない食べ放題の店を予約してしまったりと、飲み会手配も何もかも色々手が回らなかったことでしょう。しかしもう現役ではないので(前夜徹マン)何でもあります。これからも楽しんでください。*記・西澤・平21

vs 水玉 9-3 勝ち

得点そら 1、たいち 2、れお 3 向山 1
たいき 2

vs 梨水会 7-3 勝ち

得点泰地 1 空 1 みずき 1 島津 1 樺 1
れお 2

vs alliance 4-4 引き分け

得点しまづ 2 れお 1 そら 1

vs なおきーず 12-3 勝ち

得点れお 3 俊 1 たいき 1 泰地 4 島津
2 そら 1

vs 静香園 3-5 負け

得点れお 1 しょうき 1 そら 1

vs mash 9-5 負け

得点空 1 ぱつきー 1 たいち 2 れお 1
G グループ 4/20 位でした！

得点王はれおです！*記・工藤・令4
(2022)



11 月秋季兵庫県選手権@尼崎スポーツの森

みなさま昨日はお疲れ様でした～っ
楽しかったです!!!

●得点ランキング●

vs 尼崎北高校【7-0 コールド】

向山 1,濱田 3,夏目 2,新保 1

vs 神戸水球【4-5】

大杉 2,濱田 1,新保 1

vs トライアックス【8-9】

夏目 1,濱田 1,新保 2,大杉 3,李 1

vs モモタロウ【5-6】

大杉 2,新保 1,夏目 1,濱田 1

[[[TOTAL 得点王]]]

🏆 大杉 7, 🏆 濱田 6, 🏆 新保 5, 夏目 4, 李 1, 向山 1



[[[レッドカード王者]]]

🏆 工藤 滉一朗

お疲れ様でした、また会えるのを楽しみにしてますー(^o^)*記・野中・令5
(2023)



【凌泳会活動報告】

令和5年度総会に参加して

昭和56年卒 桑本万里

5月28日(日)14時より、深江キャンパス梅木Yホールにおいて3年ぶりに対面での総会が実現しました。対面での総会を何より楽しみにしておられた長谷川会長が急遽の用の為欠席されたことは大変残念でしたが、本間部長をはじめとする会員12名、ZoomによるWeb参加3名の計15名の参加により開催することができました。詳細は議事録を見ていただきたく思います。

前年度決算、今年度予算及び活動方針等、滞りなく議事は進み、最後に新入部員の自己紹介がありました。4月に大学生になったばかり、その初々しいあいさつの様子にOBの表情も思わず緩みます。その中にも水泳に向き合うしっかりとした情熱が感じられ、「インカレ出場」、「関西国公立入賞」などその目標の高さに驚かされました。最後に控えめに付け加えられる自己ベストを聞き二度驚かされ、度々会場に「おおっ」と感嘆の声が上がりました。

今年度の活躍が楽しみです。

その後、本日試合の為出席できなかった水球メンバーたちがWebでチームの試合報告と新入部員の紹介をしてくれました。

そして、これも3年ぶりとなりましたが、みなで円陣を組み「商神」を合唱し閉幕となりました。余談となりますが、現在の現役部員は、残念なことにみな「商神」を聴いたことも歌ったこともないとのことでした。改めてコロナ禍が世の中に与えた影響の大きさを思わずにはいられませんでした。そのような理不尽な状況の中でも泳ぎ続けてくれた後輩たちに心から感謝と拍手を贈りたいと思いました。

総会の後は、OB有志と現役幹部で場所をかえ、ここもお馴染みの「深江食酒市場三文役者」で懇親会が催されました。

ここでは、対面の総会を無事終えたことに安堵するとともに、久しぶりの再会をみなで喜び合いました。現役時代の武勇伝(主にプールの外で笑)を後輩に披露して盛り上がる先輩たち、現役からは速さの秘訣に繋がる今時の練習方法などを聴いたりして、楽しい時間を過ごし散会となりました。

第104回大阪公立大戦観戦記

上田 剛弘 (昭56年卒)



2023年(令和5)年7月16日(日)快晴。第104回大阪公立大戦の会場は大阪府堺市の中百舌鳥キャンパスにある旧大阪府立大学プール。私が現役の際、関西国公立戦はこのプールで何度も開催され、泳いだ記憶はある。ただ、卒業後は訪れる機会もなく、白鷺駅からプールまでの道中は見慣れないものばかりだったが、プールの観覧席は40年前の記憶と繋がり、懐かしさが蘇ってきた。

大阪公立大学は2022年(令和4)年4月、大阪府立大学と大阪市立大学が統合して開学。これにより日本最古と言われている「神戸大学・大阪市立大学水泳対抗戦」が「神戸大学 大阪公立大学 水泳対抗戦」として継承されることとなった。したがって、大会名も第2回ではなく、第104回と銘打っている。

また、コロナ禍により2020(令和2)年・2021(令和3)年は中止、2022(令和4)年は無観客試合の下、現役のみにより開催。今年は4年ぶりの有観客試合形式となり、OBOGが参加できることとなった。



抜けるような青空が梅雨明けを予感させる中、10時に開会式。公立大からは、今村憲司大阪公立大学体育会水泳部OB会会長（楽泳会支部長）、山口宗司同OB会副会長（恒泳会支部長）、凌泳会からは酒井正人副会長、桑本万里副会長が出席の下、山口副会長から開会のご挨拶。競技が始まる。

午前中は競泳。混合400mメドレーリレーを皮切りに17の種目に現役生がタイムを競い合った。ただ、そこは対抗戦。本来の専門種目以外の種目に出場するなど、公式戦とは趣を異にし、応援の中にヤジが混じるなど、和気あいあいの雰囲気の中、結果は122対82で大阪公立大学に軍配があがった。

昼食を済ませた後、暑さも最高潮に達し、スリッパなしではプールサイドを歩けない状態になっていた。耐えきれず、持参の水着に着替えて入水。もともとこのプールは日よけがないため、水温が30度に達することが常だった。そのため、試合中、1500mを泳ぐ私にとってお風呂で泳いでいるようだったことは鮮明に記憶している。しかし、今日は公立大学側の配慮で放水が常時されており、そこそこ冷たさを感じることができた。



午後からの水球は 14 時 20 分開始。まずはエキジビジョンの試合。ここもエキジビジョンと銘打って、競泳面が水球をするという趣向。ボースハンドあり、アンダーウォーターありの何でも OK ルール。競泳面のプレーは見ていてとても懐かしく感じた。ダンベルを持って溺れそうになった巻き足練習や、落球を繰り返したハンド・トゥー・ハンドなど、私の現役時代のポロの記憶と重なった。結果は、4 対 2 で神大の勝利。競泳面の皆さん、よくやった！ご苦労様。

続いて、本試合の開始。4 回生が抜けた後の来年度のメンバーで戦った。第 2 クォーターまでは、いささかぎこちなさが見受けられたが、第 3 クォーターから落ち着きを取り戻したように感じられた。結果は残念ながら 10 対 6 で敗れたが、来年度に向けた課題も見えたことだろう。

閉会式では、山口副会長から総合優勝の大阪公立大学へ賞状が手渡された。本来は優勝カップを手渡すところ、神大が会場に持参するのを忘れたそう。これもご愛敬と温かく受け入れていただけるのも対抗戦ならではの。そのあと、酒井副会長から本日の対抗戦の講評。現役生が連戦の合間を縫って、この伝統ある大会を継続して開催していることへの感謝を述べていただき、予定通り 16 時半に閉会。

さあ、ここからが私どもの本番。現役との懇親会だ。コロナ禍で本当に現役の皆さんと話す機会がなく、顔の見えない応援にはいまいち力不足感が漂っていた。今日は、駅前の居酒屋で 100 名収容できるとのこと。18 時に開会。当初 OB はバラバラに座って現役との交流をしようと思いきや、現役から挨拶回りのため、一か所に固まっていたほしいとのこと。開会后 30 分ほどして、その意味がようやく判明。両大学の現役生が並んで OB に挨拶に来てくれる。企業面接？のようなシチュエーションに見えるが、そこはお酒の席。一人一人顔を見ながら、個性豊かに自己 PR する子もいれば、はにかんだようにポツポツと話す子、ベスト記録を聞いて驚くべきレベルだと分かった子、大人顔負けのしっかりとした考えを持つ子などなど、いやー、



楽しかった。当初は、帰るのに時間がかかるので、ほどほどに中座を
と考えていたが、気づくと20時を回っている！さすがにまずいと列が
途切れたところを見計らって中座・退席。現役生とは勿論、今村会長、
山口副会長とも懇意にお話しができ、本当に試合後の懇親会はないと
だめだと実感した次第です。皆さん、ありがとうございました。



凌泳会 2024 年新年会兼お祝い会

令和 6 年 2 月 4 日に大阪・福島の活海老バル orb 福島において、金一波監督 (昭和 58 年卒) 南谷昌宏会員 (同 60 年卒) のお祝い会を兼ねた新年会を開催した。日曜日の早い時間からの開始であったが、久しぶりに参加した会員もいて、話が尽きず、3 時間があという間に過ぎてしまった。

金先輩、南谷先輩、受賞誠にありがとうございます。(平成 2 年卒 羽瀬智文)

<p>金 一波(幹事・現役監督・昭和 58 年卒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞年月日: 令和 5 年 9 月 23 日 ・表彰団体: 公益財団法人日本水泳連盟 ・賞名: 有功賞 <p>年にもわたる水泳界に尽くした功績に対して</p>	<p>南谷 昌宏(昭和 60 年卒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受賞年月日: 令和 4 年 3 月 19 日 ・表彰団体: 一般社団法人兵庫県水泳連盟 ・賞名: 有功賞 <p>年にもわたる水泳競技のために尽くした功績に対して</p>
--	--



参加者 長谷川 健(昭和 49 年)、酒井 正人(昭和 53 年)、桑本 万里(昭和 55 年)、山本 隆(昭和 56 年)、田中 俊哉(昭和 58 年)、石本 日和子(昭和 58 年)、大西 栄美(昭和 59 年)、南谷 昌宏(昭和 60 年)、川原田 貢(昭和 61 年)、甲野 賢(昭和 63 年)、羽瀬 智文(平成 2 年)、諫山 大介(平成 9 年)、濱出 憲一郎(平成 11 年)

【現役部員寄稿 I】幹部決意表明

主将として

主将 太田 浩紀・経済4回

2023年の9月から神戸大学体育会水泳部の主将を務めております、経済学部4回生の太田浩紀と申します。凌泳誌という歴史ある部誌に寄稿する機会をいただきありがとうございます。私からは、神戸大学体育会水泳部の現在とこれからについてお話したいと思っております。

数年前を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい部員が集まって満足に練習ができない時期がありました。そんななか入ってきたのが今の4回生です。私たち2021年度入部生は、「創漣」というスローガンを掲げ昨年9月からチーム運営に取り組んできました。「創」にはコロナ以前の活動を知らない部員が、新たに神戸大学体育会水泳部の在り方を考え創造するという意味が込められております。また「漣」には両面共に実力ある先輩の引退を受け、ひとりひとりの努力という小さな波を重ね合わせて大きな波を起こし目標を達成させようという意味が込められております。

これからについては、競泳・水球の交流の機会を増やすことと他大学との接点づくりをしていきます。現在競泳と水球は拠点としているプールが異なり、また試合の日程が被っているため、かつてのように両面で活躍する部員が少なくなっております。競泳・水球を合わせた水泳部の主将として取り組むべき課題であります。そして他大学との交流は、前主将の元太さんも重視されていたことですが、コロナ禍が過ぎ合同練習が可能となった今は大学水泳を通してできた人の繋がりを大学としても個人としても大切にしたいと思っております。

最後になりましたが、凌泳会の皆様には日頃から多大なるご支援を賜りまして本当に感謝しております。今後も部員一同精進して参りますので、変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

主務として

主務 千須和 佑飛・理3回

今シーズン神戸大学体育会水泳部の主務を務めさせて頂きます、千須和佑飛です。現在競泳面のマネージャーを務めさせて頂いております。

私自身はマネージャーということもあり、自分個人のことよりもチームのことを観る立場にあります。自分にできることは何であるかを察知して、OB、OG様方と連携を取り、神戸大学の水泳部は強いということを見せたいと考えております。

昨年は神戸大学体育会水泳部の100周年を記念する全国大会が執り行われました。当時副務だった私は、歴史あるこの体育会

水泳部の主務任せられることに、強い責任感を持って取り組まなければならないと感じました。それとともに先代の主務方はこの大きなイベントを成功させたというプレッシャーも感じております。

私自身の目標としましては、「なにも起こさない」ということです。一見すると、消極的な目標に感じますが、新たに問題を作らず、水泳部の軌道を安定させ、スムーズな部の運営をするという意味を込めております。やるべき仕事はきっちりやる、当たり前のことかもしれませんが、一生懸命取り組んでまいります。

最後になりますが、今後とも神戸大学体育会水泳部の活動にご支援ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

競泳主任として

競泳主任 森本 恭輔・経済4回

今シーズン、神戸大学体育会水泳部の競泳主任を務めさせていただきます、森本恭輔です。

コロナ禍も収束し、1年通して今まで通りの活動をできる最初のシーズンとなります。歴代の先輩方が築き上げてこられたものをもう一度一から創り上げ、皆様に活躍する姿を見せられるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願いたします。

私が競泳主任として大切にしたいのは、今シーズンの目標である、

男子 関国優勝、関カレ2部残留

女子 関国優勝、関カレ1部昇格、全員ベスト

を達成するために、部員それぞれがよく考えて取り組める練習を作ることです。

練習環境や時間が限られている中でも、私立を含めた他大学の強い選手たちと勝負するためには、練習効率を高めることが重要となります。部員各々が成長に必要な要素を見つけ、そこを伸ばすよう考えて練習すれば、同じメニューでも各部員に合った効果が得られると考

えております。

これまでの先輩方が作ってくださった、選手間でコミュニケーションをとり課題点を見つけられる雰囲気や制度も活用しながら、チーム全員が成長し、夏に最高の結果をもたらせるよう精一杯努力してまいります。

また、コンディショニングについても重視していこうと考えております。昨シーズンは故障により本来の力を発揮することができなかった選手が多くいました。この反省点を活かし、まだまだ勉強中ではありますが、運動生理学等の知識を用いて疲労の溜まりにくい練習を作成し、夏まで積み上げてた努力をいかに発揮できるようにし、皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいります。

最後になりましたが、凌泳会の皆様、日頃から多大なるご支援、ご指導を賜りまして本当にありがとうございます。皆様のご期待に添えるよう部員一同精進して参りますので今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

水球主任として

今シーズン水球主任を務めさせていただきます、牛尾帆花です。歴史ある神戸大学体育会水泳部において水球主任という立場を任されたことを大変嬉しく思います。

昨シーズンはコロナ禍以前のような活気を少しずつ取り戻し、多くの大会に参加することができました。また、新入生の選手4人、マネージャー2人が入部を決めてくれました。関西学生選手権(学生リーグ)では、1部4位という結果を収めることができました。

これらを踏まえた上で私達水球面は今シーズンの目標を「1部残留」と掲げました。昨シーズンからメンバーもがらりと変わり戦力的にも大きな変化を迎えた今、決して簡単な目標ではありませんが、一人一人が自覚を持ちチーム一丸となって惜しみない努力を続けていけば果たせる、果たさなければならぬ目標だと考えています。

そしてこの目標を達成するために私が水球主任としてこだわりたいことは「頑張るモチ

水球主任 牛尾 帆花・国際人間4回

ベーションを持ち続ける環境を整える」ことです。私は、マネージャーであり技術でみんなを引っ張るということではできません。しかし、マネージャーという立場から選手に寄り添いチームに良い雰囲気を与え、部員が頑張ることのできる環境を作っていきたいと考えています。これまでにない形で選手マネージャーとも難しい部分はありますが、マネージャーが主任だからこそできるチームの姿を見つけ実現させていきたいと考えています。

最後の1年、これまで先輩方が築き上げてきた強い水球面の名に恥じぬよう、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。頼りない主任ですが、ついてきてくれると嬉しいです。

最後になりましたが、凌泳会員の皆様、多大なるご支援、ご指導本当にありがとうございます。皆様の期待にお応えできるよう部員一同精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

【卒部の辞】

徳山 元太 農学部・Fr・元主将



引退してから 3 ヶ月ほど経ちました。今まで続けてきた水泳を突然辞めて自分はどうなってしまうんだと思っていましたが、案外どういったこともなく、穏やかに楽しい日々を過ごしています。少し変わったことといえば体重が 12 キロ増えました。私の大学水泳を振り返るとコロナの影響もあり、2 回生からやっと試合などに出られるようになり、少しですが高校時代からタイムを伸ばすことができました。最後の全国公、53 秒台で泳げたのは素直に安心しました。やりきれたと感じる事ができたと思います。しかし全て順調というわけもいかず悩んだり苦しんだりもしました。でも、それよりも“楽しかった” という思い出の方がたくさん思い出せますし、実際にたくさんありました。神大水泳部に所属することで先輩、後輩、他大学の人たちなど様々な人たちと出会うことができ、旧友とも関係を続けることができました。その人たちから水泳のアドバイスに限らず、人間的な面でも多くのことを学びました。これこそが部活動に所属する意義であり、それ自身の存在価値だと思います。特に同じ部活のメンバーは特別な存在で部活動において、辛いと感じる時に 1 番に寄り添ってくれます。これを読んだ現役生の皆さんはまず同じ部員を大事にしてあげてください。泳ぎの

アドバイスをしあげたり声出ししたり、なんでもいいです。人のために何かをすれば自分にも返ってきます。水泳はしんどいし朝早いし髪の毛バシバシなるしでいい事がない、タイムが出たら嬉しいけどなかなか出ない。こんなことばかりですが、引退した身からするとそれほど刺激的なことではないし、同じ目標を持った仲間と命を削って切磋琢磨できる環境は中々ないです。振り返ってみてもこれほど貴重な時間はないと思います。とりあえず絶対に悔いのないように全員が全力で引退まで駆け抜けてほしいです。どんな妥協もしないで全てを部活動に捧げるつもりでやってほしいです。過ぎた時間は戻りません。僕らは全ての“神大水泳部員”としての時間が過ぎてしまいました。朝に海事プールに集まって終わったら談笑して、ご飯食ベに行行って、と当たり前のような時間が無くなってしまいました。でも現役のみんなはまだ“神大水泳部員”としての時間はあります。存分に味わって楽しみまわってください。ただしこの時間はあつという間に過ぎて行きます。想像しているよりも何倍も早いです。気をつけてください。この卒部の辞で伝えたいことはとりあえず、人の繋がりを大切に有効に使って欲しいのと、貴重な時間、経験を精一杯有意義なものにして欲しいということです。ずっと応援しています。燃え尽きてください。最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会の OBOG の皆様のご指導ご鞭撻、ご支援のおかげで最後までやりきることができました。この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。楽しかったです!!

松島 優太 国際人間科学部・Fly・元競泳主任



人生を捧げてきた水泳から離れて4ヶ月が経とうとしています。現役の時程ではありませんが、充実した日々を送っています。これまであまり力を入れてこなかった勉学に励み始め、4年間避け続けていた代償に悶えながらなんとか一歩ずつ前へ進んでいます。水泳のことについて考える時間がなくなり、脳のメモリの99%が解放されたわけですが、やはり喪失感を感じずにはいられません。しかし、不完全燃焼感や後悔の念は一切なく、こう大声で叫ぶことができます。「やりきった！」と。

2022-2023 繁吹シーズンの競泳主任を務めさせていただきました。中学、高校と役職についたことがなかった自分にはチームを背負うプレッシャーを感じることもありましたが、それよりもどうしたらみんなを速くできるかという好奇心が主任の使命感や責任感を和らげ、1年間楽しく駆け抜けることができました。日々のメニューをつくるということは練習の基盤をつくるということと捉えています。練習効果を最大化させて最強のチームをつくってやるという強い信念

をもって、時には周囲に助けてもらいながら、全ういたしました。

4年間のどんな場面も鮮明に思い出せますが、最も印象に残っている試合を挙げるとするならば、2023年の全国公です。この試合はチームとしても個人としても“勝つ”ことが必要でした。神大の中だけでなく、関西全体が一丸となって戦った3日間、3色に彩られたメガホン、表彰台からの景色、引退する同期と泣きじゃくる後輩達、これらの目に映った映像は一生忘れることはできません。

最後になりますが、本間先生や金監督、凌泳会の皆様には日頃より多大なるご支援、ご指導をいただき、大変お世話になりました。次からは私たちの自慢の後輩達が輝かしい未来を見せてくれます。今後とも変わらぬご支援の程お願い申し上げます。以上をもちまして私の卒部の辞とさせていただきます。

新保 空 経済学部・水球・元水球主任



私が水泳部を引退してから5ヶ月が経ちました。卒論に追われる毎日で、部活にはあまり顔を出せていません。すみません。現役期間中は、部活を第一に考え、日々の生活を送っていました。しかし、引退してからは水球をしたいという欲はあまり起きません。たまには思いますが、、、そこで改めて、私が夢中になっていたのは、水球ではなく、部活としてみんなと過ごす時間だということに気付かされました。

水泳部での4年間で振り返れば、数々の忘れられない思い出があります。入部当初は、まさか大学4年間で2度もインカレに出場できるとは考えてもいませんでした。コロナ禍で活動ができない期間、競泳面から助っ人を借りなければ試合に出られない状況など、思い返せば色々な困難もありましたが、先輩や同期、後輩の皆さんのおかげで、私の水泳部で過ごした時間は一生の宝物となりました。先輩方は生意気な私がのびのびできる環境を作ってくれ、同期や後輩たちは、わがままな主任にも

関わらず、文句を言わず、ついて来てくれました。心から感謝しています。

私が現役期間中に大切にしていたことは、「考えてプレーする」ことでした。水球面の皆さんには、何度も伝えてきたことかもしれませんが、、、自分より上手い人や速い人はきっと自分の数倍、数十倍考えて、日々の練習に取り組んでいて、その小さな意識の差が積み重なって、結果として大きな差として現れているのだと思います。一つ一つの練習メニューや試合の中での動き、意識するポイントはたくさんあります。それぞれに対して、思考を重ね、知識や技術を蓄えていくことで自ずと結果はついてくるはずです。

また、部員それぞれがお互い持っている知識や技術を共有し、高め合っていくことが部活の醍醐味とも言えます。全員で強くなるという意識を持って日々切磋琢磨して頑張ってください。成長した姿が見られることを楽しみにしています。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会のOB・OGの皆様、私たちの活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。これからはOBとして、水泳部の活躍を見守っていきたく思います。以上、私の卒部の辞とさせていただきます。

岡崎 圭介 経済学部・Fr・元主務



引退から約四か月が経ちました。中学・高校でも「引退」というものを経験し、水泳から離れる日々が続いた経験がありましたが、今回の引退は、これまでのものとはまるで違うのだということを実感しております。中学や高校での引退は、「次」がありました。やり残したことや後悔を発奮材料に変え、それ以降の学生水泳に向けて力を蓄える機会でもあったと思います。しかし、大学水泳の引退には、「終わり」をすごく感じています。大学水泳の引退後は、マスターズ水泳に進むこともできますが、それらは学生水泳の枠には留まらず、その熱量も小さなものになるでしょう。やはり、大学水泳はある意味で水泳に熱中できる最後の機会なのだと思います。まだ引退まで時間のある後輩たちには、一日一日意味のある活動を楽しんでほしいという風に、切に願うばかりです。このように書くと、何か後悔を残して引退したかのように思われるかもしれませんが、私自身は清々しく引退できたと思っています。この先、競泳に

取り組むことも二度とないですし、水泳のない生活を今後は楽しんでいこうなどと考えております。

約三年半、神大水泳部の一員として活動させていただいた中で、約三年間は競技の傍らで役職の仕事に取り組みました。一年は副務として、一年は主務として、一年は凌泳会 100 周年実行委員として活動しました。試合の直前が繁忙期になるなど、ストレスのかかることも非常に多くありました。しかし、そこから得た経験は、私にとって、ただ競技に打ち込むだけの三年半から得るものよりも、貴重なものだったと感じています。また、長期にわたって役職を務めたことで、OBOGの方々との交流も深まり、現役部員の活動が OBOG の方々の支えによって成り立っていることも、改めて実感することができました。私たちの代は、諸制限によって、OBOGの方々と全面的に交流することは叶いませんでしたが、これからは現役部員と OBOG の方々との交流も本格的に再開できると思います。OBOG の皆様には、今後とも水泳部へのご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、本間先生、金監督、OBOG の皆様、約三年半にわたり不自由ない活動を支えてくださり、ありがとうございました。以上で、私の卒部の辞とさせていただきます。

前田 七海 国際人間科学部・競泳 MG



私は2023年9月2日に神大水泳部を引退しました。就活の関係で、インカレと一緒にいった同期とは1日早い引退とはなりましたが、最後に同期と一緒にインカレに行けたことが本当に嬉しかったです。コロナ禍で色々なことがありましたが、ここまで辞めずに頑張ってきてよかったと心の底から思いました。あれから約4か月、毎日更新される水泳部の日記を微笑ましく読みながら、残りの大学生活を楽しんでいます。

水泳部員として過ごした3年半は本当にあっという間でしたが、どの年も私の記憶の中に色褪せずに残っています。いつどの瞬間も私の大切な宝物です。特に繁吹シーズンのチーフマネージャーとして過ごした1年間は私の中でたくさん悩み、たくさん考え、たくさん決断した年でした。歴代のチーフマネージャーの方に負けにくいくらい活躍ができたかと言えば自信はありませんが、選手のために、マネージャーのために縁の下で支えてくれたかなと思います。チーフマネージャーになったことで全く悔いはありま

せん。これも、頼りない私を最後まで支えてくれた同期や後輩のおかげです。ありがとうございました。

私がこの卒部の辞で伝えたいことはもう一つ、それは凌泳会の皆様、OBOGの皆様への感謝です。試合の結果報告にいつも返信をくださり、ときには私個人宛に水泳部への応援のメールをくださった方もいらっしゃいました。直接お会いすることは少なかったのですが、試合結果の報告を通して皆様の応援の力を強く感じることができました。また、1つ上、2つ上、3つ上の先輩方は、部活中も引退されてからも遊びやご飯に連れて行ってくださり、たくさん話を聞いてくださりました。引退してからもこうして水泳部の方とつながることができるのはとても嬉しいです。とても良い部活だなと感じています。コロナで新歓がなかった中、勇気を出して入部した部活がこんなに素敵な部活で、私はとても恵まれていると思います。これからも、後輩にとって神大水泳部がより素敵な場所になることを願っています。

最後になりましたが、本間先生、金監督、凌泳会 OBOG の皆様、保護者の皆様、3年半私たちの活動を支えていただきありがとうございました。皆様のおかげで神大水泳部での時間がとても充実したものになりました。今後とも神大水泳部への熱い応援、そしてご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしく願いいたします。以上で私の卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

浅野俊太 工学部・水球 GK



引退してからは水球部の練習に行く暇がないほど毎日研究やフットサルに勤めています。春からは大学院に進むのでまだ卒業という気持ちにはなっていません。まだまだ大学生活を謳歌したいと思います。

コロナ禍の中で入学し、学校に行く機会すらなく最初の一年目は何もしておらず、二回生に上がるタイミングで入部を決断しました。そこから三年間大学生活の思い出の八割ぐらいが水球部のことだったと思います。今思えば練習になんの文句も言わず毎回出席し、まじめに取り組んでいた自分にびっくりします。

まずはざっと現役時代を振り返っていきましょう。

入部当初、一番上の代が抜けたら、6人しかおらず、自分が入部することでようやく試合に出られるという状況でした。さらに、キーパーがいなかったということで半強制的にキーパーをやらされました。少しはフィールダーをやってみたかったというのが正直な気持ちです。

時が流れ、一個上の代の学生リーグを迎えました。結果としてはこれまで勝ったことのない公立大や、このシーズンでは初対戦となる立命館に勝ち、関西三位になり、インカレ出場を決めることができました。先輩や同期、試合に出場していた経験者組の後輩は同じように喜びを感じたと思うし、試合に出られなかった後

輩も悔しさや感動を覚えたと思います。そして、インカレ本番はなんとこれまで、何十回、いや百回以上泳いだであろう地元の横浜国際プール。見慣れたプールなはずなのに、やはりインカレという最高の舞台ということでいつも見え方が違いました。また、相手は最高にして、最強の相手の日体大。何もできずに大敗しましたが、これもいい思い出です。

そして、全国公、合宿などの楽しいイベントを経て自分たちの代の学生リーグを迎えました。関西四位ということで目標であったインカレには届かず。それでも、前年に試合に出られなかった、初心者初めの二回生が一回生に経験者のキーパーが入って来たので試合になかなか出られなくて悔しかったです。というか先輩からポジションを奪ったならちゃんと部活の練習や試合に参加しろよ。引退後に何回か尻ぬぐいさせられてすごく嫌な気持ちになっています。

次に引退後に感じたことをつづりたいと思います。自分は引退後には練習に数えるほどしか行っておらず、OBとしての試合も出ていません。そのため、後輩に「なんで来ないんですか？」と聞かれることがたまにあります。その答えは、練習に行かないのではなく行けないのです。忙しくて、時間がないとかそういうことだけではありません。モチベーションが湧かないのです。やはり現役のエネルギーマンというものは偉大です。OBになると無理です。だからこそ、今の現役の選手にはできることを精一杯やって欲しいです。バイトを無理しすぎて体調を崩すとか、夜更かししすぎて朝練に遅れるとかやめてください。現役生活は短いんです。そういったことをしていたら本当に後悔します。お金は最悪消費者金融に駆け込んでください。

最後になりますが、本間先生、金監督、OBの方々、同期、そして現役の皆さん、三年間本当にありがとうございました。

夏目 大暉 海洋政策科学部・水球



まず始めに私の水球人生を支えてくださったすべての皆さん、ありがとうございました。部活を引退してから半年、最近では研究室かバイトばかりの日々を過ごしています。

さて、軽く大学4年間を振り返ってみます。試合初出場は何もできず観光もせずに帰ってきたインカレでした。それからいろんな大会がありましたが、だいたい得点ランキングは2、3位でしたね。2回の夏から左サイドをするようになり得点が増えてきましたが、得点王は遠かったです。空が弱い相手だけから得点を量産していなければ、もっと違っていたかもしれません。自分が好きだったのは、絶対に勝てる相手とする試合よりも負けて当たり前相手の相手とする試合でした。強い相手ってほしいこっちを舐めて試合するわけで

すから、そういう相手から点を入れてやるのが楽しかったです。そういう性格で、気合の入っている時とそうでない時の差が結構あって、試合で負けかけたり、やる気なく練習したりして、迷惑をかけることもありましたが、それでも最後まで一緒に頑張ってくれて本当にありがとうございました。

こうやって4年間を振り返ると、神戸大学水泳部水球面に入って本当によかったと思います。また、他の大学の話を聞いていると、自分たちのプールがあって、みんなが真面目に水球に向き合っていて、凌泳会からも支えてもらっていることの素晴らしさも改めて感じました。水球面の先輩方は、いつも私をのびのびとプレーさせてくれましたし、同期は私以外変な人ばかりでしたが、誰もやめることなく、お互いに高めあい(?)頑張ることができました。後輩たちは結構うまい人や真面目に頑張る人が多かったため大きな刺激を受けました。後輩たちに負けたくないという気持ちによって、3、4回生でかなり成長できた気がします。関西の他大学のチームもちょうどいい強さで、3、4回生の学生リーグは最高に楽しみながら切磋琢磨できました。これからはOBとなるわけですが、神大水球面を応援し続けるつもりなので、一生懸命頑張るみんなの姿をこれからも見せてください。

繰り返しになりますが、自分の水球人生に関わってくれた先輩、同期、後輩、OBさん、OGさん、他大学のみなさん、その他大勢の方々、ありがとうございました。以上で私の卒部の辞とさせていただきます。

前野 陸人 工学部・Fly



部活を引退して早くも4ヶ月が過ぎたというよりも、私の場合は「競泳人生」を引退して4ヶ月が過ぎたという印象のほうが強いです。引退した直後は院試が控えていたこともあり、その勉強に追われていましたが、それも終わり時間を持って余すようになると、自分の中で何かぼっかりと穴が空いているような気がしました。6歳の頃から始めた水泳を、小学4年生の頃から選手として続けてきた水泳を、きっぱりと辞めてしまったので当然と言えば当然でしょう。それでも、辛くても仲間と一緒にだったから乗り越えられた練習漬けの日々や、あの緊張と熱狂で溢れた試合をもう体感できないのかと思うと、やはり寂しいものは寂しいです。しかし、私にとってそれほど掛け替えのないものだったのだと思います。

私たちの代は、創凜、湊覇、喝采、繁吹の

4シーズンを経験しましたが、制限なく活動できたのは繁吹シーズンだけでした。特に創凜シーズンに至っては、関国や関カレにも出場することができませんでした。しかし、それでも水泳部での日々はものすごく充実していました。まず、練習中の雰囲気がとても良くて、ハードな練習でも仲間と一緒に強くなれて楽しいという気持ちを持って取り組むことができました。そして、試合で誰かがベストを更新したときは、私も含めて全員が喜びました。大学水泳では、「チームで泳ぐ」楽しさを味わうことができました。

私自身は部内での役職についていなかったもので、その分、練習に取り組む姿勢や試合の結果でチームを引っ張っていこうと努力しました。その甲斐もあってか、最後の関国や関カレではベストを出して表彰台に立つことができました。しかし、悔しい思いもこの4年間でたくさん味わいました。やはり、ベストを出して勝負に勝ったときこそ、真の楽しさを味わえると思います。だからこそ、後輩たちには後悔が残らないように一回一回の練習に真剣に取り組んでほしいです。これからも神大水泳部の活躍を期待しています。

最後になりますが、本間先生、金監督、凌泳会のOBOGの皆様、私たちの活動へのご支援、ご鞭撻ほどありがとうございました。今後とも神戸大学体育会水泳部への一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。以上で私の卒部の辞させていただきます。本当にありがとうございました。

松尾 侑哉 工学部・Fr



つい先日の事です。とある事情で100mの個人メドレーを泳ぐ機会がありました。引退レースを終えて以来、数か月ぶりに塩素に浸かる事態です。結果は散々。タイムの良し悪しをどころか、レースだったらいくつの項目で失格を取られていたことか考えるのも恐ろしい出来の泳ぎをしてしまいました。身体能力の変化とはかくも急激に起こるものかと。そして今後の人生で今以上に、まして部活現役の頃以上に泳げるようになる事は恐ろくないのだろうと。ほんの少し恐ろしく、そして寂しく感じつつも二度目の引退生活を謳歌する今日この頃でございます。

私は選手人生こそ10年以上あったものの、高校までは全てスクール育ちで、所謂部活動に正式に取り組んだのは初めての経験でした。そんな私にとって、部活動特有の人

間関係や制度・連帯感はとても新鮮に映り、多くの事を学ばせて頂きました。多くのメンバーが集团的効力感・集団凝集性を感じながら目標に向かって邁進する様子を、どこよりも近い位置で見届けることが出来たことは本当に素晴らしい経験でした。この体育会水泳部で学んだ事が、私の、そして皆さんの今後の人生の糧になると信じています。

最後にはなりますが、神大水泳部の活動を支えて下さる金監督・本間先生・凌泳会の諸先輩方と、部活動の中核で部の維持に尽力して下さいる歴代幹部の皆様方に厚く御礼申し上げます。

そして何より、現役部員の皆様の今後のご活躍・ご健勝をお祈り申し上げます。どうか身体には気を付け、頑張ってください。

以上で、私の卒部の辞とさせていただきます。

棟廣 海来 国際人間科学部・競泳 MG



水泳部を引退してから、「一番印象に残っているレースは？」と尋ねられたことがありました。選手それぞれの印象に残っているレース、そして、その選手の練習での姿や他のレースでの姿が同時に浮かんできました。今でもこんな風に思い出せるのに、初めてウォッチを持たせてもらってあたふたしてしまった時のことも鮮明に覚えているのに、塩素のにおいと疎遠になっていたり、バインダーが片づけられたままになっていたり、確実に引退してから月日が経っていることを感じます。

「マネージャーって楽しいの？」

マネージャーをしていると言うと、よく聞かれました。私自身、高校生の時はマネージャーさんってすごい、自分にはできないとずっと思っていて、自分がマネージャーを経験し、マネージャーに夢中になっている未来を想

像もできませんでした。コロナ禍で大学に入学してから、水泳部が気になっていたけどなかなか動けなかった中で、やっぱり後悔したくないと思い、神大水泳部にマネージャーとして入部させてもらいました。今思えば、私にとっては勇気を出した挑戦でした。そして、それ以来、勇気を出したあの時の自分にずっと感謝しています。自分の不甲斐なさや無力さを感じることもありましたが、それでも選手の頑張りを近くで応援できること、一緒に喜んだり悔しがったりできることがとても幸せでした。

「マネージャーって楽しいの？」

その答えは「すごく楽しい！」です。もしもう一度大学1回生に戻れたとしても、マネージャーとして、神大水泳部に入部することを選びます。神大水泳部のおかげで、マネージャーの魅力、醍醐味をたくさん知ることができました。

こんなにも充実した時間を過ごすことができたのは、たくさんの素敵な仲間と出会えたからです。改めて人に恵まれていたなと感じます。神大水泳部には、タイプはそれぞれですが、選手もマネージャーも熱い思いをもった人が集まっていると思います。そんな最高のメンバーで目標に向かって進み続けた時間は、この先もうこんな気持ちは味わえないだろうと思うくらい、本当にかげがえのないものでした。これからは、OGとして、後輩のみんなの活躍を楽しみに、ずっと応援しています。

最後になりましたが、本間先生、金監督、凌泳会の皆さまをはじめ、神大水泳部を通して出会えたすべての方に、心から感謝申し上げます。私の卒部の辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

濱田泰地 海洋政策科学部・水球



現役の皆さんは私が頑張って書いたので最後まで読んでください。

まず初めに本間先生、金監督をはじめとする指導者の方々、日頃からご支援してくださった OB の方々並びに同期及び後輩たちに感謝の意を表します。

この辞を書いている今は 12 月。水球を辞めてはや 4、5 か月経ちました。部を引退して数か月は練習に行っていたのですが、最近は卒論やバイト、いろいろな誘惑に負けてすっかり疎遠になってしまいました。OB になってひしひしと感じたのは現役時の試合での熱狂、興奮は二度と味わえるものではないということです。それほどに現役での時間というもののはかけがえのないものであります。

さて、ここで OB 感を全開に出して 4 年間で振り返りたいと思います。

私がこの水泳部に入ったのは 1 年の 9 月か 10 月のことです。もともと水球を大学に入って続ける気は毛頭なかったです。入るきっかけは 1 年の時に見た水球のインカレです。高校の同期が進学した大学が出演していることをしていたので見てみると 1 年の時から活躍していたので私も高校 3 年間で辞めて水球の楽しさをあまり感じないままなんもあかんなどと思って慣れない SNS を使ってコン

タクトを取って入部しました。

そのまま楽しい 3 年弱の水球学生生活が過ぎていきました。

最後の関カレでは目標こそ達成できませんでしたが、一切の後悔もなく一戦一戦が本当に楽しかったです。

以上、4 年間の振り返りです。

卒業後は、船の機関士として世界の物流に直接貢献できるように精進していきます。未知の世界で不安もありますが、この大学での経験や部活での成長が私の自信につながっています。

学生時代は水球をプレーするだけで部の運営やお仕事も新歓委員以外特に何もやらずに申し訳ございませんでした。今後は、社会人として少しずつ恩返しできるように頑張っていきます。

後輩たちへ

私が唯一言えることは水球のような球技、チームスポーツで大事なことは自分で考えることやと思います。試合中、自分の動きを判断するのは自分自身です。他人から指摘を受けることは大事なことです。それで同じミスを繰り返しているところを引退後の練習で何度も見ているような気がします。後輩たちは、モチベーションも高いし、泳力やシュート力も間違いなく私よりあるのでそこを意識すれば私たちの代で達成できなかった目標も達成できると思います。偉そうですが、私は本当にそう思っています。

最後になりますが、今後の神戸大学体育会水泳部の益々の発展を心から祈りつつ支援もしていきたいと思います。

以上で私の卒部の辞とさせていただきます。ありがとうございました。

平野 樹 経営学部・競泳 MG



平素よりお世話になっております。

22-23 の繁吹シーズン 4 回生の平野樹と申します。

日頃から神戸大学水泳部競泳面・水球面を温かく見守り、支えてくださり、ありがとうございます。

水泳部の一員として活動する中で、私自身、会計という立場から凌泳会の方々のご支援・ご協力の大きさを痛感致しました。先輩方が繋いでくださった 100 年という歴史に敬意を持ちながら、その一部に携わることが

できたことを誇りに思っております。私たちの世代と比べると、部員数が少ない中、先輩方が競泳と水球を両立し、厳しい練習を続けられてきたことが、今の神戸大学水泳部に繋がっていると実感致しました。

私自身、2 年生の終わり頃から部活動に参加させていただきました。途中からの入部にも関わらず、温かい先輩・監督・先生・仲間を支えられながら、楽しく活動することができました。特に、合宿や強化期間、節目となる大会などでは、直接のご参加・ご声援を頂いたことを鮮明に覚えております。このような日々のご支援が、私たちの活動の励みになっておりました。

21-22、22-23 の喝采、繁吹シーズンという短い期間でしたが、神戸大学水泳部に関わることができたことを幸せに思います。先輩方のご支援とお力添えがあつてこそ、水泳部生活を楽しみ、充実したものにできたと心から感謝しております。水泳部としての毎日は、私にとってかけがえのない財産・思い出となりました。これからは、先輩方にご支援頂いたように、後輩たちへ還元していくことで、神戸大学水泳部の活動や組織継続の一助となる立場だと考えております。

末筆となりますが、これからも神戸大学水泳部競泳面・水球面のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします

矢迫恋佳 神戸女子大学・Fr



コロナ禍に入部し、不完全な活動状態からスタートした私達がたくさんの忘れられない時間を過ごし、今こうして卒部の辞を書かせていただける時を迎えられたことをとても嬉しく思います。コロナ禍にも関わらず、絶え間ないご支援をくださったOB・OGの皆様、本当にありがとうございます。皆様のご支援のおかげで私たち繁吹シーズン四回生はそれぞれの想いをぶつけた引退試合にすることができました。

私たち四回生にとってラストシーズンとなるスローガンを考える時、私は最後の1年を練習が止まることなく、全員で駆け抜け、沢山のガッツポーズがあがる1年にしたいと考えました。そしてそんな勢いの絶えない練習や喜びのガッツポーズと共にあがる水しぶきから連想した「繁吹(しぶき)」にスローガンが決まりました。決まった瞬間は、自分が責任をもって絶対にこのスローガンにふさわしいシーズンにしなければと思いました。そして、お先真っ暗だった私の大学水泳をずっと支えてくれて、ベストが出せる日を待っていてくれた先輩方や同期、後輩達に絶対に恩返ししなければと心に誓いました。

ラストシーズンは本当に楽しかったです。初めての海事プール、初めての強化期間、初めての合宿、初めてのウエイト。何もかもが何の制限もなくできる毎日が本当に幸せでした。もちろん練習中は本当にしんどかったですし、よく顔がおかしなことになっていたみたいです。それでも今は全力でやれてい

たことに対する楽しかったという思い出として記憶されています。終わらないと思った合宿中のCS、後輩マネージャーが何回も「まだいける」と叫んでくれました。目標アベレージを達成したかったGS、呼吸のたびに同期マネージャーが横を走りながらキック打てと合図してくれました。横で必死に耐えている後輩達、周りをみて声を出してくれている同期達。本当に皆で駆け抜けることができた1年でした。

そうして迎えたラストレースの1Fr。緊張でおかしくなりそうだった招集所、「見てて」と自信をもって登ったスタート台、レースプラン通りに動く身体、残りの力を全部出し切ってタッチしたタッチ版の感覚、思わず上がった初めてのガッツポーズ、大ベストを全身で祝福してくれているスタンドの光景、スタンドに向かって一礼したときの胸の熱さ、もう動かない足の感覚、今でも忘れません。

振り返ればコロナの影響で他大学生の私は中々思うように活動に参加することができず、誰よりも大好きな自信があった競泳や部員と過ごすことができた時間がとても短かったことはとても悔やまれます。ただ、引退した今感じているのは、これ以上の四年間はなかったという感覚です。そして後輩たちにもこの感覚を味わってほしいです。

神大水泳部は輝くために、輝かせるために努力できる人が集まり、高めあえる素晴らしい環境でした。また、沢山の優しさや力強さに触れ、人間としても大きく成長できる場所でした。神大水泳部なら誰もが輝ける・成長できるチャンスがあります。これからも神大水泳部が大きく成長できる環境であり続けられるよう、私自身もOGという立場で応援し続けたいと思います。本当に全国に誇れる素敵なチームです。神大水泳部の更なる発展を心から祈っています。

以上で私の卒部の辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

現役部員紹介 凡例

氏名

- ① 学部学科
- ② 出身高校
- ③ 競泳/水球歴
- ④ ライバル
- ⑤ 趣味
- ⑥ 特技
- ⑦ 好きな練習メニュー
- ⑧ 自慢話/自慢できること
- ⑨ 将来の夢
- ⑩ 今シーズンの目標

太田浩紀（4回生、主将）専門：競泳、IM、Fly

- ① 経済学部経済学科
- ② 洛星高等学校
- ③ 16年
- ④ ライバル
- ⑤ ゴロゴロすること
- ⑥ 昼寝
- ⑦ UW以外
- ⑧ 自慢になりたい
- ⑨ でっかくなる

⑩ 1 バタ短水 53、長水 55 秒台



森本恭輔（4 回生、競泳主任）専門：
競泳、Ba

- ① 経済学部経済学科
- ② 大阪府立寝屋川高等学校
- ③ 15 年
- ④ 過去の自分
- ⑤ 野球、モータースポーツ
- ⑥ カート
- ⑦ 調子いいCS
- ⑧ 大学2年まで関東に行ったことなかった
- ⑨ 太らない
- ⑩ 夏シーズンに過去3年よりも点数を取ります



牛尾帆花（4 回生、水球主任）専門；
水球 MG

- ① 国際人間科学部子ども教育学科
- ② ノートルダム清心高等学校
- ③ 3 年
- ④ 自分
- ⑤ 大食い動画を見ること
- ⑥ ダッシュで時間に間に合わすこと
- ⑦ ゲーム練
- ⑧ 学校に櫻井翔が来た
- ⑨ マッサージチェアを買うこと
- ⑩ ちゃんとやりきる



野崎智仁 (4 回生)

- ① 理学部惑星学科
- ② 大阪府立大手前高等学校
- ③ 11 年
- ④ 過去の自分
- ⑤ ファイル集め
- ⑥ なわとび
- ⑦ Drill
- ⑧ オセロで負けないこと
- ⑨ 世界に貢献！
- ⑩ 大ベスト出して引退



近藤真史 (4 回生)

- ① 経済学部経済学科
- ② 愛知県立半田高等学校
- ③ 約 20 年
- ④ 立道愛和
- ⑤ 推し活
- ⑥ 誕生日を覚えられる
- ⑦ 特にない
- ⑧ 推しに認知されていた
- ⑨ 証券マン
- ⑩ 関国決勝



千住響子（4回生）

- ① 医学部保健学科
- ② 大阪府立泉陽高等学校
- ③ 15年
- ④ ブレ面？
- ⑤ 空腹でお菓子を食べる、二度寝、遠出する
- ⑥ 手を使わずにめっちゃより目できる
- ⑦ レース水着着てするショート GS (IMOのみ)
- ⑧ 小2で二重跳び200回出来た
- ⑨ 助産師、優しいお母さん
- ⑩ 全国公決勝、笑顔で引退



山本征明 (4 回生)

- ① 海洋政策科学部海洋政策学科
- ② 奈良県立畝傍高等学校
- ③ 18 年
- ④ 京都大学 中堂
- ⑤ ツーリング
- ⑥ マインスーパー
- ⑦ レペ
- ⑧ 100m 超級の帆船を操縦したことある
- ⑨ 船乗り (機関士)
- ⑩ 関国で決勝に残る。リレーメンバーに入る。



河内ひかる (4 回生)

- ① 理学部惑星学科
- ② 大阪府立豊中高等学校
- ③ なし
- ④ 過去の自分!
- ⑤ 音楽流しながらドライブ
- ⑥ 長時間睡眠
- ⑦ 100×10×2
- ⑧ 運がいいです
- ⑨ お金持ち
- ⑩ できることを全部やって悔いなく引退します!



江口あすか (4 回生)

- ① 農学部生命科学科
- ② 京都府立西京高等学校
- ③ 17年(?)
- ④ 最近人と競うのをやめました
- ⑤ オーディション番組を見ること
- ⑥ テーブル拭き
- ⑦ タバタ
- ⑧ 進級できます!
- ⑨ 縁側が似合うかわいい
おばあちゃんになる
- ⑩ いっぱい頑張ります!



鵜澤茜里 (4 回生)

- ① 国際人間科学部発達コミュニケーション学科
- ② 岡山県立岡山城東高等学校
- ③ 3年
- ④ なし
- ⑤ アニメをみること
- ⑥ たこ焼きをひっくり返す上手さ
- ⑦ ゲーム!
- ⑧ 真剣佑を肉眼で見た
- ⑨ 太く短く生きて潔く死ぬこと
- ⑩ 一部残留!



遠藤力人 (3 回生)

- ① 経済学部経済学科
- ② 鳥取県立米子東高等学校
- ③ 18 年?
- ④ ライバル:昨日の俺
- ⑤ ギター
- ⑥ スキー
- ⑦ 50m Dive
- ⑧ 実はスキーの資格級持ってる
- ⑨ 地元貢献する
- ⑩ インカレ標準突破



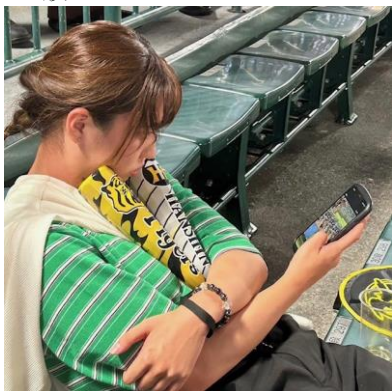
北岡さくら (3 回生)

- ① 国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ② 大阪府立四条畷高等学校
- ③ 18 年
- ④ 14 歳の時の私!
- ⑤ おいしいランチをめぐること
- ⑥ 速読??
- ⑦ Fin つける練習
- ⑧ 市の歯並びコンテストで賞を取った
- ⑨ お金持ちのイケメンと結婚する
- ⑩ 個人もリレーもインカレ突破



清水恵那 (3 回生)

- ① 神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科
- ② 兵庫県立赤穂高等学校
- ③ 9 年
- ④ 秘密です
- ⑤ 美食巡り、スポーツ観戦
- ⑥ ダーツ、料理
- ⑦ 50×1 All out !
- ⑧ 阪神とオリックス両方の応援歌を歌えます
- ⑨ スポーツ選手に携わる仕事をする
- ⑩ 生涯ベスト更新&インカレ制限突破



縄田大翔 (3 回生)

- ① 理学部物理学科
- ② 兵庫県立姫路西高等学校
- ③ 18 年
- ④ 過去の自分
- ⑤ M リーグ観戦
- ⑥ いかにか効率よくするかを考えること
- ⑦ ショートゴールセット
- ⑧ 2 年のブランク明け 2 か月で生涯ベスト
- ⑨ 平穏に暮らす
- ⑩ インカレでベスト



千須和佑飛 (3 回生)

- ① 理学部数学科
- ② 静岡県立袋井高等学校
- ③ 選手:2 歳~9 歳、14 歳~18 歳、MG は大学から
- ④ 他大の水泳部の方々
- ⑤ 昼寝、F1 観戦
- ⑥ 夜更かし
- ⑦ GS
- ⑧ 実は帰国子女
- ⑨ 不自由のない生活を手にする
- ⑩ チームに必要不可欠な存在になる。



長光咲良 (3 回生)

- ① 神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科
- ② ヴェリタス城星学園高等学校
- ③ 13 年?
- ④ 自分
- ⑤ スポーツ観戦 (特に野球)
- ⑥ いっぱい食べること
- ⑦ GS
- ⑧ ブリーチしなくても髪の毛が明るくなります!
- ⑨ かわいいおばあちゃん
- ⑩ 元気いっぱい頑張ります!



杉山智哉（3回生）

- ① 農学部生命機能学科
- ② 大阪府立天王寺高等学校
- ③ 水球：2年目
- ④ 己自身
- ⑤ 釣り・ラーメン巡り・SNS・麻雀
- ⑥ 立ちながら寝れること
- ⑦ 攻防練
- ⑧ 物心着いた頃からコーヒーをブラックで飲めたこと
- ⑨ 未定。
- ⑩ チームを盛り上げる存在になる。



大星颯太郎 (3 回生)

- ① 経済学部経済学科
- ② 大阪府立茨木高等学校
- ③ 5 年
- ④ 杉山 (3 回生)
- ⑤ 映画鑑賞
- ⑥ サッカー
- ⑦ 退水セット
- ⑧ 地元が大西ライオンを輩出している
- ⑨ お笑い芸人
- ⑩ 1 部残留



伊藤路人 (3 回生)

- ① 海洋政策科学部海洋政策学科
- ② 愛媛県立松山北高等学校
- ③ 2 年 (水球)
- ④ 颯太郎
- ⑤ 散歩、サウナ
- ⑥ 大食い
- ⑦ 1 対 1
- ⑧ 実は中高の成績が良かったこと
- ⑨ 尊敬される人になること
- ⑩ 空さんを超えること



河上ひろき (3 回生)

- ① 経営学部経営学科
- ② 学校法人帝塚山学園帝塚山高等学校
- ③ 2 年
- ④ 甘える自分
- ⑤ アニメ
- ⑥ 大きな声
- ⑦ パス練
- ⑧ 骨折したことがないけど歯が折れた
- ⑨ プロ野球選手
- ⑩ 試合を通して元気に声出して泳ぐ



川崎亜瑠 (3 回生)

- ① 国際人間科学部発達コミュニケーション学科
- ② 大阪府立茨木高等学校
- ③ 5 年目
- ④ 木島
- ⑤ 初対面の人とセッションすること
- ⑥ 暗譜
- ⑦ 他パートと合わせて演る練習
- ⑧ 立っていても座っていても同じクオリティでふけること
- ⑨ プロになってでっかい会場を埋めること
- ⑩ 金賞



久保田伊織 (3 回生)

- ① 法学部法学科
- ② 福岡県立福岡高校
- ③ マネ 5 年
- ④ すみりん
- ⑤ ゲーム
- ⑥ 一日中働ける
- ⑦ 攻防
- ⑧ かわいい妹がいる
- ⑨ 億万長者
- ⑩ 自信をもってジャッジする



窪田理紗 (3 回生)

- ① 工学部市民工学科
- ② ノートルダム清心高等学校
- ③ 2 年目
- ④ あかりさん
- ⑤ 音楽を聴くこと
- ⑥ 階段高速降り
- ⑦ ゲーム練
- ⑧ 500 円玉貯金始めました
- ⑨ 500 円玉貯金で世界 1 周
- ⑩ 練習、1 日 1 日を大切にする



浅井大翔

- ① 経営学部経営学科
- ② 甲南高等学校
- ③ 6年目
- ④ いない
- ⑤ ドライブ
- ⑥ 道を憶える
- ⑦ フリーアップ
- ⑧ バイトでギザギザのところを使わず綺麗にラップを千切ったこと
- ⑨ 自由な人
- ⑩ 圧倒的になる



小黑好貴

- ① 海洋政策科学部
- ② 立命館高校
- ③ 競泳8年、水球1年
- ④ 自分
- ⑤ 野球
- ⑥ サイドスロー
- ⑦ ゲーム練
- ⑧ 大学生になってから身長伸びたかも
- ⑨ 冒険家
- ⑩ 関西で一番上手い初心者になる



越智涼夏

- ① 国際人間科学部発達コミュニティ学科
- ② 奈良県立畝傍高等学校
- ③ 9年
- ④ 北岡さくらさん
- ⑤ スノーボード
- ⑥ 家に帰った瞬間、玄関の臭いで夕ご飯をあてられること
- ⑦ 50×1 Dive
- ⑧ 最近目覚ましなしでも4時半に起きられるようになったこと
- ⑨ 試合水着の開発
- ⑩ ベストを更新し続けること



木島涼介

- ① 理学部生物学科
- ② 大阪府立四条畷高等学校
- ③ 競泳歴 3年 水球歴 1年
- ④ 水球面一回生小黒好貴くん
- ⑤ 釣り 生物鑑賞
- ⑥ 水族館の魚のおおよその値段を当てられます
- ⑦ アニマル
- ⑧ 行列のできる人気ラーメン店で、誰よりも早く完食して次の人のために席を空けると、怖そうな店主から微笑まれたこと。
- ⑨ 家に水族館を作りたいです。
- ⑩ 安定した頼れる右サイドになれるよう頑張ります。



角凛人

- ① 生命機能学科
- ② 熊本県立熊本高等学校
- ③ 水球 5年
- ④ 関西のゴールキーパー全員
- ⑤ 料理
- ⑥ 洋画のセリフ暗唱
- ⑦ 1対0のシュート練
- ⑧ 自慢話が思いつかないこと
- ⑨ 人に頼られる人になること
- ⑩ スーパーセーブで一部残留に貢献すること



立道愛和

- ① 医学部保健学科
- ② 三重県立津高等学校
- ③ 9年
- ④ 自分
- ⑤ 日向ぼっこ、読書
- ⑥
- ⑦ 50×8 1' 3H1E2H1E1H
- ⑧ おいしいおじいちゃんのご飯とおばあちゃんの野菜と愛情いっぱいのご飯を食べて育ってきたので今までとても健康的に過ごしてきました。
- ⑨ 子供からお年寄りまでサポートできる理学療法士
- ⑩ 生涯ベスト更新してインカレで戦う！



知野見小遥

- ① 海洋政策科学部
- ② 兵庫県立兵庫高等学校
- ③ 1年目
- ④ 松尾咲希
- ⑤ 甘いものを食べることに絞れます
- ⑥ ピアノ
- ⑦ ゲーム練
- ⑧ 生クリームめっちゃくちゃきれいに絞れます
- ⑨ 海外に住む
- ⑩ 笛を一通りふけるようになる



松尾咲希

- ① 国際人間科学部グローバル文化学科
- ② 熊本県立玉名高校
- ③ 1年目
- ④ 知野見小遥
- ⑤ カラオケ
- ⑥ 髪を早く伸ばす
- ⑦ ゲーム練
- ⑧ マクドナルドでバイトしているのですが、ラッシュの時間を裁くことが楽しくなってきました
- ⑨ 幸せになる
- ⑩ 笛をうまくふけるようになる



南谷泰志

- ① 経営学部経営学科
- ② 学校法人須磨学園須磨学園高等学校
- ③ 20年
- ④ Fr と IM 泳ぐ人全員
- ⑤ ゲーム、ピアノ
- ⑥ ピアノで『summer』を弾くこと
- ⑦ Drill Work
- ⑧ 高校三年間で泳いだ距離が少なく見積もっても 3000km (だいたい兵庫からフィリピンまで)
- ⑨ お金持ち
- ⑩ 400、1500 生涯ベスト更新



山崎はる香

- ① 農学部資源生命学科・応用植物コース
- ② 京都府立西京高等学校
- ③ 幼少期と高校3年間
- ④ MG の先輩の方々
- ⑤ お菓子作り、辛い物を食べること
- ⑥ 人を甘やかすこと
- ⑦ No Breath
- ⑧ 耳動かさず
- ⑨ 宇宙旅行する
- ⑩ 選手の変化に気づけるマネージャーになります。



山本英穂

- ① 工学部電気電子工学科
- ② 兵庫県立兵庫高等学校
- ③ 15年
- ④ えなさん
- ⑤ ゲーム配信をみること
- ⑥ 手を使わずに鼻をへこませられる
- ⑦ ひたすらプルパド
- ⑧ ウーパールーパー（アプリ）を1400日間育て続けている
- ⑨ 猫を飼う
- ⑩ 400Frで4分40秒台を出す



小笹和真

- ① 医学部保健学科
- ② 鳥取県立米子東高等学校
- ③ 6年くらい
- ④ あさひ、たいし
- ⑤ ゲーム、カラオケ
- ⑥ 二度寝
- ⑦ 食トレ
- ⑧ まだ10代です！
- ⑨ はげない
- ⑩ リレーメンバーに入る



宇津原旭

- ① 工学部電気電子工学科
- ② 関西大学北陽高等学校
- ③ 13年
- ④ 南谷、小笹
- ⑤ 音楽を聴くこと、ギターを弾くこと
- ⑥ ボウリング
- ⑦ 50×8 1'00 Hard
- ⑧ 口内炎出来たことない、足攣ったことがない、反省文書いたことがない
- ⑨ いっぱい旅行に行ってきた綺麗な景色を見る
- ⑩ 生涯ベストを出して関国で得点を取りチームに貢献する



【現役部員寄稿】

神戸大学体育会水泳部水球面 2回生 木島 涼介

この度、現役部員を代表して寄稿文を書かせていただきます、水球面一回生の木島涼介と申します。私自身、今年度神戸大学水泳部に入部させていただきました身分ですので、部内の様子を伝えさせていただくのにまだまだ未熟な部分があると思いますが、十二分にお伝えできるように精一杯、寄稿文を書かせていただきたいと思います。

本年度は、コロナ禍の影響から少しずつ抜け出しつつあった 2022 年度に引き続き、さらにコロナ禍以前の活動ができるようになりました。まず、本年度は昨年度よりも大々的に新歓祭が行われ、私を含めて七人の新入部員が集まりました。昨年度に引き続き、部員の数が大きく増えたことにより、部内の活気がさらに高くなったのではないのでしょうか。来年度も多くの新入部員が集まるように魅力ある部の活動をしていけるように邁進していかなくてはなりません。

一番、本年度の活動で変化したと思うことは、学生リーグの試合数の増加です。昨年度までは、コロナ禍の影響もあり、予選と決勝を兼ねて試合数が減っていたのですが、今年度からは、従来の形式に戻って、予選、入れ替え戦、決勝戦、の 3 段階行われることになりました。ですので、約 1ヶ月の間、学生リーグ期間となり、多くの試合に臨むことができるようになりました。

今年度、神戸大学はインカレ出場という目標

を掲げて学生リーグに臨みましたが、1 部 4 位という結果になりました。しかしながら、格上相手の大学と点の入れ替わりが激しい接戦となったりなど、神戸大学水球面の力強さを見せつけることができたと思います。学生リーグ最後の試合は、大阪プールで行われ、競泳面の方々も応援に来ていただき、接戦を繰り広げ、白熱した空気の中、4 回生の活躍もあり、ペナルティ合戦で勝利することができました。多くの人に見守られながら、勝利を収めることができたので、4 回生は良い形で引退を迎えることができました。こうした結果は、OB、OG の先輩の方々のご支援あってのものです。本当にありがとうございます。

最後になりますが、新チームとなった今、我々の目標は一部残留です。いつも頼れる存在であった 4 回生が引退を迎えた今、目標を達成するために、新チームとして試行錯誤を行いながら日々の練習をこなしています。この間行われた 100 周年記念大会の際に OB、OG のの方々がおっしゃってくださった、今通っている大学の学部は水泳学部水球学科といえるほどに、今与えられた環境を大事にして日々の練習を一つ一つ大事にして、水球という競技に対して夢中でい続けられるように日々活動を全力で行っていきたいと思いますので、どうぞご支援のほどよろしくお願い致します。

【現役部員寄稿】

神戸大学体育会水泳部競泳面 3回生 北岡 さくら

この度現役部員代表として寄稿文を書かせて頂くこととなりました、2 回生の北岡さくらと申します。拙い文章ではありますがお付き合い頂けますと幸いです。

さて、では振り返りから。渾身のガッツポーズをしよう、大きな水繁吹(しぶき)を全員で上げよう、という意味を込めて、「繁吹」と名付けられた昨シーズン。その名に恥じない、素晴らしいシーズンであったと感じています。

新型コロナウイルスが流行し始めてからの3 年間は、まさに空白と言っても過言ではありませんでした。人生の中で僅かしかない「学生」という時間から繋がりや自由を奪われ、大きな葛藤と至難を強いられました。そして大学水泳においてその影響を最も長く受けたのが、昨シーズンの4 回生だったのではないのでしょうか。

通常の活動が少しずつ認められるようになり、私たちは失われた時間を取り戻すかのように部活動と向き合いました。全員で活動できる喜び、与えられている環境の有難さ、残された時間に対する焦り、部を導く重圧。同じ時間を過ごす中で、特に4 回生からは様々な感情が入り交じっているのをひしひしと感じました。

関国団体2 位、関カレ3 部、チャレンジレース、総力戦で挑んだインカレ標準記録、全国公個人優勝。数えられないほどの沢山のドラマを通じて、私たち部員は多くのもの

を吸収し、大きく成長できたと感じています。

今シーズンのスローガンは「創蓮」です。途切れた歴史を繋いでもう一度創り上げ、個々の努力を大きな波にして全員で成功させる、という意味が込められています。前主任の松島をはじめ、主戦力であった最上回生が抜けた今、部員一人一人の大きな飛躍が必至となりました。上回生はもちろんのこと、頼もしい1 回生が確かな実力を持って部を上向きに引っ張ってくれています。

創蓮シーズンの目標と致しましては、男子:関国2 位獲得、関カレ2 部残留、女子:関国団体優勝、関カレ1 部昇格を掲げております。決して簡単な目標ではありませんが、部員一丸となって精一杯取り組んで参ります。声出し応援をはじめとして、試合形態がコロナ前と同様の形で行えるようになりました。ご都合がよろしければ、是非会場に足をお運びください。現役部員の励みになります。

競技者としてはもちろんのこと、人間としても大きく成長できる部を目指します。そして、目標に対して全力で取り組める環境があることへの感謝を忘れず、誠心誠意活動に取り組んで参ります。最後になりましたが、神戸大学体育会水泳部の活動をご理解下さる関係各位の変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

水球面企画 水泳部流行語大賞
水泳部でキテいる言葉を大調査！まさかあの言葉が...

編集 3 回生 窪田理紗

【流行語 得票数ランキング BEST3(競泳面)】

1位 13 得票 『カート』

メインユーザー:千須和

たからづかカートフィールドに競泳面数名が行き、取り憑かれたかのように『早くカート行きたい』と言い続けた。ゆえに、堂々の第一位で流行語ノミネート。

ある男子マネージャーが先輩に勝てず失った金額は…果たしていくらなのだろうか

2位 6 得票 『チュニチュニ』

メインユーザー:清川、森本、千須和

日本対チュニジア戦(2013.10.17)を競泳面男子数名が現地で観戦しに行ったことがきっかけで大流行したこの言葉。

チュニジアからもじられたチュニチュニというワードを永遠に言い続けた選手もいるとか、いないとか…

3位 4得票 『あいなだよお、あいなですう』

メインユーザー:清川

競泳面 2 回生になった立道愛和を先輩がいじり出したことによる流行語。立道の喋り方を真似し出したのは一体誰が発端なのだろうか。真相はわからないが結構本人は嫌がっている(かもしれない)。

【流行語 得票数ランキング BEST3(水球面)】

1位 6得票 『練習はおにぎりだ!』

メインユーザー:伊藤、川崎

アニメ『イナズマイレブン』が大好きな部員が流行らせたこの言葉。彼らの書くブログにはほとんど、いや全部にこの一言が書かれている。二回生のラインのグループ名であるイナズマセブンも彼らの影響なのは言うまでもない。

2位 5得票 『マンキン、マンキンシュート』

メインユーザー:伊藤、大星、木島

シュート練習の時間になるとプールからこの言葉を聞かない日はない。正確な意味は不詳だが、「全力で」とかいう意味だと勝手に認識している。シュート以外にもマンキンダッシュ、マンキンプレスなど派生語も存在している。

3位 4得票 『ツムツム、ハートちょうだい』

メインユーザー:水球面 MG

部内で LINE ゲームツムツムが大流行。lplay にハートを一つ消費するこのゲームに洗脳された部員がハート欲しさにこの言葉を頻繁に使っていた。この言葉をいわれたらすぐにハートをあげたほうがいい。

競泳面企画 水泳部〇〇ランキング
部員のみんが投票しました！

編集3回生 長光咲良

○運転あらそうな人

- 1位 近藤 真史
- 2位 江口 あすか
- 3位 大星 颯太郎

○3日徹夜してもびんびんしてそうな人

- 1位 千須和 佑飛
- 2位 伊藤 路人
- 3位 野崎 智仁

○集合写真端っこ写りがちな人

- 1位 野崎 智仁
- 2位 角 凜人
- 3位 遠藤 力人

○ランキングで必ず名前が出てきそうなラン
キング

- 1位 近藤 真史
- 2位 窪田 理沙
- 3位 縄田 大翔

○貯金額少なそうな人

- 1位 千須和 佑飛
- 2位 木島 涼介
- 3位 森本 恭輔

○隠れた特技いっぱい持ってそうな人

- 1位 山本 英穂
- 2位 山崎 はる香
- 3位 角 凜人

○メイン後ダウン始めるのが早そうな人

- 1位 太田 浩紀
- 2位 立道 愛和
- 3位 宇津原 旭

○ゴミ拾ってくれそうな人

- 1位 立道 愛和
- 2位 江口 あすか
- 3位 小笹 和真

○学食使わなそうな人

- 1位 細見 隼斗
- 2位 山本 英穂
- 3位 久保田 伊織

○フードファイターの素質ある人

- 1位 知野見 小遥
- 2位 伊藤 路人
- 3位 山崎 はる香

○最も孤独に強そうな人

- 1位 野崎 智仁
- 2位 角 凜人
- 3位 太田 浩紀

○LINEの返事遅い人

- 1位 清川 翔紀
- 2位 木島 涼介
- 3位 小黒 好貴

○私服がおしゃれな人

- 1位 清川 翔紀
- 2位 鶴澤 茜里
- 河内 ひかる

【2023年度 水泳部活動報告書】 年間競技カレンダー

月	日	区分	大会名	会場	備考	
4月	22日(土)		関西学生春季短水路公認記録会	秋葉山公園		
	23日(日)	競泳		県民水泳場		
5月	21日(土)	競泳	関西学生夏季公認記録会	京都アクアリー ナプール		
	27日(土)	競泳	関西学生夏季公認記録会 (タイムトライアル)	京都アクアリー ナプール		
6月	28日(日)	水球	2023年度兵庫県 水球春期選手権大会	尼崎スポーツの 森		
	3日(土), 4日(日)	水球	令和5年度京都選手権 水球競技大会	京都アクアリー ナプール		
	10日(土)	競泳	大阪府選手権水泳競技大会	東和薬品		
	11日(日)		兼国体選考会	RACTABドーム		
	10日(土), 11日(日)	水球	令和5年度関西選手権 水球競技大会	丸善インテック 大阪プール		
	17日(土)	競泳	関西学生チャンピオンシップ	丸善インテック		
	18日(日)		水泳競技大会	大阪プール		
	17日(土)	水球	関西学生選手権	京都大学		
	18日(日)		水球競技大会水球競技			
	24日(土)	水球	関西学生選手権	京都大学		
7月	25日(日)		水球競技大会水球競技			
	1日(土), 2日(日)	水球	関西学生選手権 水球競技大会水球競技			
	1日(土)	競泳	関西国公立大学選手権	京都アクアリー ナプール		
	2日(日)		水泳競技大会			
	8日(土), 9日(日)	水球	関西学生選手権 水球競技大会水球競技	丸善インテック 大阪プール		
	16日(日)	競泳 水球	大阪公立大学・神戸大学定期戦	大阪公立 大学プール		
	28日 (金), 29日(土), 30日(日)	競泳	関西学生選手権水泳競技大会	丸善インテック 大阪プール		
	8月	10日(木), 11日(金), 12日(土)	競泳	全国国公立大学選手権 水泳競技大会	金沢プール	
		15日(火)	競泳水 球	2023年度三商大戦	一橋大学小平 国際キャンパス プール	中止

	20 日(日)	競泳	関西学生夏季長水路公認記録会	ポートアイランド スポーツセンター
	31 日 (木), 9 月 1 日 (金) 2 日(土), 3 日(日)	競泳	2022 年度第 98 回 日本学生選手権水泳競技大会	東京アクアティ クスセンター
9 月	23 日(土), 24 日(日)	水球	2023 年度 京都選手権秋季大会	鳥羽高校
10 月	22 日(土), 23 日(日)	水球	2023 年度 関西学生秋季水球競技大会	びわこ成蹊 スポーツ大学 アクアセンタ ー
	22 日(土)	競泳	関西国公立大学 OB・OG 選手権水泳競技大会	東和薬品 RACTAB ドー ム
11 月	5 日(日)	水球	2023 年度 関西学生秋季水球競技大会	びわこ成蹊 スポーツ大学 アクアセンタ ー
	12 日(日)	水球	2023 年度兵庫県選手権大会	尼崎スポーツの 森
	18 日(土) 19 日(日)	競泳	三重とこわか水泳競技大会	三重交通 G ス ポーツの杜鈴 鹿水泳競技場
	26 日(日)	競泳	兵庫県シニア記録会	尼崎スポーツの 森
12 月	9 日(土) 10 日(日)	水球	2023 年度和歌山県選手権	あきばさんプ ール
	16 日(土), 17 日(日)	競泳	関西学生冬季公認記録会	京都アクアリー ナ
1 月	13 日(土), 14 日(日)	水球	2023 年度なみはやカップ 水球競技大会	東 和 薬 品 RATAB ドーム
	27 日(土), 28 日(日)	競泳	兵庫県短水路選手権 水泳競技大会	尼崎スポーツの 森
2 月	17 日(土), 18 日(日), 19 日(月)	水球	2023 年度 KCSA ウィンターリーグ	びわこ成蹊 スポーツ大学 アクアセンタ ー
3 月	2 日(土), 3 日(日)	競泳	関西学生春季室内選手権水泳 競技大会	秋葉山公園 県民水泳場

主要大会総合成績

■競泳

大会名	男子	女子
第 74 回 関西国公立大学選手権	2 位	2 位
第 97 回 関西学生選手権 水泳競技大会 (女子:第 59 回)	3 部 1 位	2 部 5 位
第 70 回 全国国公立大学選手権	7 位	8 位
第 99 回 日本学生選手権 水泳競技大会	(出場選手) 100m バタフライ 200m 自由形 松島 優太 100m 背泳ぎ 200m 自由形 縄田大翔 4×100mメドレーリレー 森本 清川 松島 縄田	100m 平泳ぎ 200m 平泳ぎ 立道 愛和

■水球

大会名	成績
第 97 回 関西学生選手権水泳競技大会	1 部 4 位
2023 年度 KCSA ウィンターリーグ戦	5 位(参加 8 チーム)

■交流戦

2023年度の、旧三商大戦は台風の影響で中止となりました。

2023年度大阪公立大学・神戸大学定期戦結果

競泳男子・・・大阪公立大学 競泳女子・・・神戸大学 水球・・・大阪公立大学 総合・・・大阪公立大学

表記について

記録会に順位はありません。大会の成績に順位の表記がないものは我校選手の予選時の記録です。

<決>・・・決勝時の記録 <B決>・・・B決勝時の記録

★:ベスト(初泳ぎベストを含み、大学ベストは含めないとします。)

第29回関西学生春季短水路公認記録会

2023年4月22・23日・秋葉山公園県民水泳場(公認25m)

ベストを更新したレースや制限記録を突破したレースが多くあったものの、チームとしての課題が明確となった試合だった。チャレンジレースも開催され、徳山が全国公標準のチャレンジを行った。

■男子1000m平泳ぎ

清川 翔紀 1'05"14

遠藤 力人 1'05"82

■男子500m自由形

山本 征明 25"11

松島 優太 23"31★

■男子200mバタフライ

前野 陸人 2'04"57★

■男子400m個人メドレー

細見 隼斗 4'42"84★

■男子4×100mフリーリレー

神戸大学 3'25"70

岡崎 村尾 縄田 松島

神戸大学 3'40"59

野崎 徳山 前野 遠藤

■女子200m平泳ぎ

立道 愛和 2'40"54

■男子200m平泳ぎ

近藤 真史 2'29"38★

清川 翔紀 2'23"04

遠藤 力人 2'23"81

■男子1000m背泳ぎ

森本 恭輔 58"87

■男子400m自由形

野崎 智仁 4'40"64★

岡崎 圭佑 4'13"60★

■女子500m背泳ぎ

清水 恵那 30"34★

■女子1000mバタフライ

北岡 さくら 1'03"69

■男子1000mバタフライ

前野 陸人 55"61★

松島 優太 53"18

■女子200m個人メドレー

千住 響子 2'25"43

■男子200m個人メドレー

細見 隼斗 2'11"95

太田 浩紀 2'11"58

縄田 大翔 2'05"93★

■女子1000m自由形

矢迫 恋佳 1'06"68

北岡 さくら 58"52

■男子1000m自由形

村尾 侑哉 52"69

徳山 元太 53"36

山本 征明 55"78

■女子500m平泳ぎ

千住 響子 34"58★

■男子500m平泳ぎ

清川 翔紀 29"80★

近藤 真史 32"04

■男子200m背泳ぎ

森本 恭輔 2'09"23

■男子4×200mフリーリレー

神戸大学 7'35"60

岡崎 村尾 縄田 松島

■男子100m自由形(チャレン
ジレース)

徳山 元太 53"57



第22回 関西学生夏季公認記録会 2023年5月21日・京都アクアリーナ(公認25m)

久しぶりに生涯ベストを更新したレースや制限を切ったレースも多くあり、盛り上がりのある試合となった。

■男子1000m自由形
徳山 元太 54“11

■男子1000mバタフライ
松島 優太 51“93★

■男子1000m背泳ぎ
森本 恭輔 59“64

■男子1000m平泳ぎ
近藤 真史 1'07“57
清川 翔紀 1'04“03

遠藤 力人 1'04“85

■女子4×50mフリーリレー
神戸大学 1'52“33
北岡 越智 立道 千住

第22回関西学生夏季公認記録会・タイムトライアル 2023年5月27日・京都アクアリーナ(公認25m)

■男子400m個人メドレー
伊藤 路人 5'00“62★

■女子200m自由形
北岡 さくら 2'08“53

■男子200m自由形
徳山 元太 1'57“70★
松島優太 1'49“87

■女子50m自由形
矢迫 恋佳 30“18★
越智 涼夏 27“66

■男子50m自由形
宇津原 旭 25“95
小笹 和真 26“27
岡崎 圭介 24“56★
遠藤 力人 24“66★
山本 征明 24“58

■男子200mバタフライ
前野 陸人 2'05“80

■男子1500m自由形
南谷 泰志 17'07“27

■女子4×100mメドレーリレー
神戸大学 4'22“07
千住 立道 北岡 越智

■男子4×100mメドレーリレー
神戸大学 3'42“96
縄田 清川 松島 岡崎

■男子200m個人メドレー
伊藤 路人 2'19“00★

■女子400m自由形
山本 英穂 5'28“88

■男子400m自由形
南谷 泰志 4'14“44

■女子100m自由形
矢迫 恋佳 1'06“51★
北岡 さくら 58“67
徳山 元太 53“79

小笹 和真 56“28

■男子200m個人メドレー
宇津原 旭 2'18“79
山本 征明 2'15“97★

■女子100m背泳ぎ
千住 響子 1'09“18

■男子100m背泳ぎ
森本 恭輔 58“90

■男子100mバタフライ
前野陸人 55“88

■女子100m平泳ぎ
立道 愛和 1'11“08

■男子100m平泳ぎ
遠藤 力人 1'04“75
清川 翔紀 1'03“58
近藤 真史 1'07“04★
宇津原 旭 1'09“40

大阪府選手権水泳競技大会兼国体選考会
2023年6月10・11日・東和薬品ラクタドーム(公認50m)

松島のみ出場し、国体出場枠をかけて争った。

■男子100mバタフライ 予選

松島 優太 54"14

■男子100mバタフライ 決勝

松島 優太 53"88

第11回 関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会
2023年6月17・18日・丸善インテック大阪プール(公認50m)

久しぶりの長水路の試合だったこともあり苦戦していた選手が多かった。しかし、その中でも生涯ベストや大学ベストを更新したレースが多くみられ、これからの得点レースに向けて勢いがつくような試合となった。

■女子400m個人メドレー

①津田絵梨那(近畿) 4'55"46

②榊井 萌(大阪体育) 4'55"61

③鍵本 彩夏(近畿) 5'01"92

⑧千住 響子 5'20"92

■男子400m個人メドレー

①木本 憲太(近畿) 4'18"80

②田中 一路(関西学院)
4'27"65

③菅野広大(近畿) 4'30"76

南谷 泰志 4'57"90

細見 隼斗 5'02"20

■女子200m自由形

①難波 実夢(近畿) 1'59"88

②梅木 陽向(近畿) 2'03"96

③横田 涼乃(関西) 2'04"82

■男子200m自由形

①多鹿 正洋(近畿) 1'51"59

②長島 京志郎(同志社)
1'52"13

③今村 圭吾(近畿) 1'52"39

岡崎 圭佑 2'04"03

小笹 和真 2'14"20

野崎 智仁 2'17"62

■女子50m自由形

①星山 茅奈(近畿) 26"85

②諸橋 光咲(立命館) 26"86

③谷口 涼菜(近畿) 26"94

越智 涼夏 28"22

矢迫 恋佳 30"82

■男子50m自由形

①猿山 翔太(同志社) 22"62

②重藤 流世(近畿) 22"92

③久世 航大(関西学院) 23"27

村尾 侑哉 25"81

徳山 元太 25"57

山本 征明 25"31

■女子200mバタフライ

①湯口 百恵(武庫川女子)

2'16"12

②新井 はる佳(大阪体育)

2'16"44

③三原 梨沙(近畿)

2'16"76

■男子200mバタフライ

①十亀 正輝(同志社) 1'59"32

②三浦 圭人(近畿) 2'01"98

③永井 悠介(関西学院)

2'02"47

太田 浩紀 2'13"78

前野 陸人 2'12"45

■女子100m背泳ぎ

①渡会 円香(同志社) 1'02"80

②芝 咲菜(近畿) 1'03"61

③土本 夕愛(びわこ成蹊)
1'04"40

清水 恵那 1'10"21

■男子100m背泳ぎ

①高 大輔(関西学院) 56"49

②辻野 優輝(近畿) 57"14

③辻本 瑞樹(大阪体育) 57"27

⑧縄田 大翔 59"48

宇津原 旭 1'06"73

森本 恭輔 1'02"63

〈予選〉縄田 大翔 59"03★

■女子100m平泳ぎ

①松木 琴美(近畿) 1'10"67

②小阪 愛音(武庫川女子)
1'11"42

③天白 愛菜(関西) 1'12"07

⑦立道 愛和 1'14"46

■男子1000m平泳ぎ

- ①今西 優太 (近畿) 1'01"06
- ②大蔵 礼生 (近畿) 1'01"31
- ③廣本 新 (関西) 1'02"19
- 近藤 真史 1'10"64★
- 遠藤 力人 1'07"28★
- 清川 翔紀 1'06"24★

■女子4×1000mフリーリレー

- ①武庫川女子大学 3'53"44
- ②大阪体育大学 3'55"92
- ③天理大学 3'59"72
- ④神戸大学 4'12"17
- 北岡 越智 千住 立道

■男子4×1000mフリーリレー

- ①関西学院大学 3'24"95
- ②大阪体育大学 3'27"95
- ③立命館大学 3'28"96
- 神戸大学 3'40"49
- 南谷 徳山 岡崎 前野

■女子4×1000mメドレーリレー

- ①武庫川女子大学 4'16"39
- ②武庫川女子大学 4'20"97
- ③関西大学 4'26"06
- ④神戸大学 4'36"60
- 千住 立道 北岡 越智

■男子4×1000mメドレーリレー

- ①同志社大学 3'47"51
- ②関西学院大学 3'43"65
- ③大阪体育大学 3'48"57

■女子2000m個人メドレー

- ①松木 琴美 (近畿) 2'17"48
- ②柘井 萌 (大阪体育) 2'20"95
- ③橋本 結衣 (近畿) 2'21"04

■男子2000m個人メドレー

- ①田中 一路 (関西学院) 2'03"59
- ②山田 海斗 (近畿) 2'04"42
- ③菅野 広大 (近畿) 2'05"99
- 細見 隼斗 2'19"10
- 太田 浩紀 2'14"91★
- 宇津原 旭 2'23"13

■女子4000m自由形

- ①難波 実夢 (近畿) 4'09"85
- ②梶本 一花 (同志社) 4'12"66
- ③横田 涼乃 (関西) 4'23"10
- 山本 英穂 5'28"88

■男子4000m自由形

- ①劉 政頻 (近畿) 3'58"53
- ②久保田 一矢 (近畿) 4'00"11
- ③今村 圭吾 (近畿) 4'00"38
- 野崎 智仁 4'57"62
- 小笹 和真 4'47"12
- 南谷 泰志 4'22"10

■女子1000m自由形

- ①梅木 陽向 (近畿) 57"19
- ②吉田 芽生 (関西) 58"29
- ③諸橋 光咲 (立命館) 58"53
- 矢迫 恋佳 1'08"76
- 北岡 さくら 1'01"06
- 越智 涼夏 1'01"36
- 〈B 決勝〉北岡 さくら 1'00"31

■男子1000m自由形

- ①木本 憲大 (近畿) 49"80
- ②猿山 翔太 (同志社) 49"95
- ③重藤 流世 (近畿) 50"51
- 岡崎 圭佑 56"66
- 村尾 侑哉 55"60
- 縄田 大翔 53"25★

徳山 元太 55"19★

■女子1000mバタフライ

- ①星山 茅奈 (近畿) 1'00"51
- ②木本 緋奈乃 (武庫川女子) 1'02"08
- ③野瀬 理紗 (天理) 1'02"34
- 北岡 さくら 1'06"01

■男子1000mバタフライ

- ①志水 建斗 (近畿) 53"31
- ②三浦 圭人 (近畿) 53"82
- ③松島 優太 (神戸) 53"88
- 山本 征明 59"33
- 前野 陸斗 58"16

■女子2000m背泳ぎ

- ①芝 咲菜 (近畿) 2'15"79
- ②渡会 円香 (同志社) 2'16"40
- ③吉田 亜未 (近畿) 2'18"95
- 清水 恵那 2'35"41

■男子2000m背泳ぎ

- ①高 大輔 (関西学院) 2'02"57
- ②辻野 優輝 (近畿) 2'03"32
- ③安江 有貴 (近畿) 2'04"21
- 森本 恭輔 2'15"99

■女子2000m平泳ぎ

- ①小阪 愛音 (武庫川女子) 2'31"88
- ②鍵本 彩夏 (近畿) 2'32"22
- ③津田 絵梨那 (近畿) 2'32"55
- 立道 愛和 2'42"24

■男子2000m平泳ぎ

- ①今西 優太 (近畿) 2'12"50
- ②岡本 海風 (同志社) 2'14"41
- ③橋本 響 (同志社) 2'15"30
- 近藤 真史 2'38"48
- 遠藤 力人 2'28"93★
- 清川 翔紀 2'26"71

■女子4×50mフリーリレー

- ①武庫川女子大学 1'47"35
- ②大阪国際大学 1'52"05
- ③大阪公立大学 1'56"68

■女子4×200mフリーリレー

- ①大阪体育大学 8'32"90
- ②関西大学 8'37"13
- ③関西学院大学 8'50"32

■男子4×200mフリーリレー

- ①関西学院大学 7'37"30
- ②大阪体育大学 7'41"72
- ③同志社大学 7'42"04
- 神戸大学 8'10"13
- 縄田 前野 南谷 遠藤

第74回 関西国公立大学選手権水泳競技大会
第60回 関西女子国公立大学選手権水泳競技大会
兼 第70回 全国国公立大学選手権水泳競技大会 関西支部予選会
2023年7月1日～2日・京都アクアリーナ(公認50m)

ベストを大きく更新し、決勝に残る選手や表彰台に登った選手もいた一方、予選で9位や10位という結果で惜しくも決勝を逃し、悔しい思いをした選手もおおり、個人としてもチームとしても多くの収穫を得ることができた大会だった。

■女子400m個人メドレー

- ①千住 響子(神戸) 5'27"46
- ②赤沢 萌絵(大阪公立) 5'41"41
- ③富田 綾子(大阪) 5'42"83

■男子400m個人メドレー

- ①小代 憲太(和歌山) 4'42"98
- ②竹田 瞬希(大阪教育) 4'47"29
- ③南谷 泰志(神戸) 4'51"53★
- 細見 隼斗 5'00"51★

■女子200m自由形

- ①久野 日菜乃(大阪公立) 2'02"42
- ②仲村 優月(滋賀県立) 2'20"78
- ③林 華子(京都府立医) 2'24"85

■男子200m自由形

- ①縄田 大翔(神戸) 1'54"87★
- ②生部 悠樹(大阪教育) 1'55"79
- ③悦過 大知(大阪教育) 1'57"19
- 岡崎 圭佑 2'05"98
- 村尾 侑哉 2'04"61

■女子50m自由形

- ①清川 藍(京都) 27"71
- ②名地 奏(大阪教育) 27"86
- ③橋本 萌恵(大阪公立) 27"97
- ⑤北岡 さくら 28"12
- ⑥越智 涼夏 28"21

■男子50m自由形

- ①中堂 陽仁(京都) 24"23
- ②榊原 繁彰(大阪公立) 24"32
- ③大前 翔太朗(大阪) 24"39
- 山本 征明 25"22★
- 徳山 元太 25"43★
- 宇津原 旭 27"29

■女子200mバタフライ

- ①熊川 ひなた(京都) 2'26"12
- ②中西 梨予(大阪公立) 2'27"89
- ③面高 梨緒(大阪) 2'48"29

■男子200mバタフライ

- ①松島 優太(神戸) 2'03"44
- ②堀上 諒馬(大阪教育) 2'09"00
- ③前野 陸斗(神戸) 2'09"55★
- ⑧太田 浩紀 2'18"78

■女子200m背泳ぎ

- ①福井 梨香子(大阪) 2'22"60
- ②福本 陽菜(神戸市立高専) 2'37"39
- ③山本 英穂(神戸) 2'45"68

■男子200m背泳ぎ

- ①福島 悠貴(大阪公立)

2'10"63

②南谷 研志 (大阪公立)

2'11"81

③長友 琉生 (大阪教育)

2'13"05

④森本 恭輔 2'13"32★

小笹 和真 2'32"63

■女子 200m 平泳ぎ

①立道 愛和 (神戸) 2'38"56

②藤澤 依里子 (大阪教育)

2'41"18

③勝野 花菜 (大阪公立)

2'45"95

■男子 200m 平泳ぎ

①木原 陸 (大阪) 2'18"40

②大倉 稜也 (大阪) 2'23"27

③中谷 駿斗 (大阪) 2'23"97

④清川 翔紀 2'25"78

⑤遠藤 力人 2'27"84★

近藤 真史 2'36"89★

■女子 4×50m フリーリレー

①大阪公立大学 1'52"37

②神戸大学 1'53"68

越智 北岡 立道 千住

③大阪大学 1'56"09

■男子 4×100m フリーリレー

①大阪教育大学 3'32"81

②神戸大学 3'33"27

松島 徳山 村尾 縄田

③京都大学 3'33"50

■女子 4×100m メドレーリレー

①神戸大学 4'31"97

千住 立道 北岡 越智

②大阪公立大学 4'35"15

③大阪大学 4'46"09

■男子 4×100m メドレーリレー

①神戸大学 3'53"14

森本 清川 松島 縄田

②大阪大学 3'54"75

③京都大学 3'57"81

■女子 200m 個人メドレー

①名地 奏 (大阪教育) 2'26"19

②千住 響子 (神戸) 2'31"53

③中井 佳奈 (和歌山県医)

2'36"55

■男子 200m 個人メドレー

①長野 冬瑚 (大阪) 2'10"22

②竹田 瞬希 (大阪教育)

2'13"66

③小代 憲太 (和歌山) 2'14"55

★

⑦細見 隼斗 2'17"77

〈予選〉細見 隼斗 2'17"48★

太田 浩紀 2'17"66

宇津原 旭 2'35"19

■女子 400m 自由形

①久野 日菜乃 (大阪公立)

4'16"35

②山本 英穂 (神戸) 5'13"46

③筒井 真見 (大阪) 5'28"57

■男子 400m 自由形

①悦過 大知 (大阪教育)

4'09"17

②堀上 諒馬 (大阪教育)

4'10"36

③山本 裕一朗 (京都) 4'12"23

南谷 泰志 4'19"12

小笹 和真 4'44"21

野崎 智仁 4'54"90

■女子 100m 自由形

①入江 望来 (大阪教育)

1'00"25

②越智 涼夏 (神戸) 1'00"82

③清川 藍 (京都) 1'01"26

■男子 100m 自由形

①岡山 雅 (大阪公立) 52"54

②渡辺 諒聖 (京都) 53"15

③堀 泰地 (京都) 53"43

徳山 元太 55"52

村尾 侑哉 55"52

岡崎 圭介 56"06

■女子 100m バタフライ

①熊川 ひなた (京都) 1'05"16

②北岡 さくら (神戸) 1'05"31

③中西 梨予 (大阪公立)

1'06"76

■男子 100m バタフライ

①松島 優太 (神戸) 54"22

②生部 悠樹 (大阪教育) 55"41

③秋山 拓海 (大阪) 57"53

⑥前野 陸人 (神戸) 58"13★

山本 征明 1'00"15

■女子 100m 背泳ぎ

①福井 梨香子 (大阪) 1'05"02

②橋本 萌恵 (大阪公立)

1'10"96

③中村 優月 (滋賀県立)

1'11"97

■男子 100m 背泳ぎ

①福島 悠貴 (大阪公立) 59"06

②縄田 大翔 (神戸) 59"61

③南谷 研志 (大阪公立)

1'00"00

⑤森本 恭輔 1'01"20★

■女子 100m 平泳ぎ

①藤澤 依里子 (大阪教育)

1'13"98

②立道 愛和 (神戸) 1'14"30

③勝野 花菜 (大阪公立)
1'18"21

■男子 100m 平泳ぎ

①木原 陸 (大阪) 1'04"99

②石井 歩 (大阪) 1'06"01

③中谷 駿斗 (大阪) 1'06"32

⑥清川 翔紀 1'06"49

⑦遠藤 力人 1'07"59

近藤 真史 1'10"44

〈予選〉遠藤 力人 1'06"95★

■女子 4×100m フリーリレー

①大阪公立大学 4'08"48

②神戸大学 4'10"07

越智 北岡 立道 千住

③大阪大学 4'17"40

■男子 4×200m フリーリレー

①大阪教育大学 7'48"94

②神戸大学 7'55"79

南谷 村尾 松島 縄田

③京都大学 8'00"15

■男子総合成績

2位

■女子総合成績

2位



第 97 回関西学生選手権水泳競技大会
第 59 回関西女子学生選手権水泳競技大会
兼第 99 回日本学生選手権水泳競技大会 関西支部予選会
2023 年 7 月 28 日～30 日・秋葉山プール(公認50m)

男子は 2 部昇格、女子は全員ベストが目標の試合であった。夏の連戦が続く中多くの選手の活躍がみられた。結果は男子 3 部、女子 2 部のものを掲載している。

■女子 50m 自由形

①諸橋 光咲 (立命館) 26"99

②天野 百望 (関西学院) 27"16

③梶田 紫夕 (大阪国際) 27"40

⑦越智 涼夏 (神戸) 28"32

矢迫 恋佳

■男子 50m 自由形

①木下 翔真 (大阪医大) 23"50

②森花 太一 (京都工芸繊維)
24"93

③蓬菜 拓海 (神戸学院) 25"21

④山本 征明 (神戸) 25"49

■女子400m自由形

①久野 日菜乃 (大阪公立)
4'18"99

②高嶋 愛菜 (立命館) 4'45"88

③水竹 愛美 (大阪国際)
5'10"95

■男子400m自由形

①南谷 泰志 (神戸) 4'20"34

②木村 樹 (桃山学院) 4'40"71

③池谷 永人 (摂南) 4'43"88

⑤野崎 智仁 (神戸) 4'54"52

■女子200mバタフライ

①大林 向日葵 (立命館)
2'18"94

②廣瀬 美咲 (四天王寺)
2'44"14

■男子200mバタフライ

①松島 優太 (神戸) 2'04"63

②西村 祐里 (龍谷) 2'05"40

③前野 陸斗 (神戸) 2'10"67

④太田 浩紀 2'13"56

■女子200m背泳ぎ

①山城 夢芽 (関西学院)
2'23"90

②清水 恵那 (神戸女子)
2'32"08

■男子200m背泳ぎ

①増森 大介 (龍谷) 2'09"25

②東 真夏斗 (桃山学院)
2'10"87

③片山 明日翔 (龍谷) 2'18"72

④森本 恭輔 2'20"68

■女子100m平泳ぎ

①黒飛 菜里 (立命館) 1'12"88

②庄司 滉 (立命館) 1'13"35

③高石 友梨香 (甲南女子)
1'13"61

■男子100m平泳ぎ

①清川 翔紀 (神戸) 1'07"01

②遠藤 力人 (神戸) 1'07"62

③宮崎 志大 (大阪工業)
1'07"94

⑦近藤 真史 (神戸) 1'10"06★

■女子4×100mフリーリレー

①立命館大学 3'57"44

②関西学院大学 4'01"22

③大阪国際大学 4'05"13

■男子4×100mフリーリレー

①神戸大学 3'33"33

松島 南谷 徳山 縄田

②龍谷大学 3'40"26

③大阪工業大学 3'43"09

■女子200m自由形

①入江 望来 (大阪教育)
2'10"80

②佐野 仁美 (関西学院)
2'16"34

③橋本 萌恵 (大阪公立)
2'22"95

■男子200m自由形

①縄田 大翔 (神戸) 1'57"29

②川合 篤志 (親和) 2'00"05

③森嶋 悠貴 (京都府立医)
2'01"20

⑤徳山 元太 (神戸) 2'03"42

⑥村尾 侑哉 (神戸) 2'03"73

■女子100mバタフライ

①與五澤 美希 (立命館)
1'02"52

②渡瀬 夢花里 (関西学院)
1'02"73

③大林 向日葵 (立命館)
1'03"58

④北岡 さくら (神戸) 1'04"60

★

■男子100mバタフライ

①松島 優太 (神戸) 54"99

②西村 祐里 (龍谷) 55"13

③前野 陸人 (神戸) 57"97★

⑤山本 征明 (神戸) 59"83

■女子200m個人メドレー

①中澤 葵 (立命館) 2'21"92

②濱田 莉子 (関西学院)
2'23"45

③佐藤 紫苑 (立命館) 2'26"24

■男子200m個人メドレー

①山下 晃平 (龍谷) 2'12"34

②妹尾 諒馬 (京都工芸繊維)
2'15"00

③石崎 夏音 (兵庫県立)
2'15"80

④太田 浩紀 (神戸) 2'16"10

⑥細見隼斗 (神戸) 2'17"13

宇津原 旭 2'25"33

■女子800m自由形

①久野 日菜乃 (大阪公立)
8'49"48

②中村 ゆらら (大阪国際)
9'35"89

③水竹 愛美 (大阪国際)
10'31"40

■女子4×100mメドレーリレー

- ①立命館大学 4'20"62
 - ②関西学院大学 4'25"41
 - ③神戸大学 4'29"29
- 千住 立道 北岡 越智

■男子4×100mメドレーリレー

- ①龍谷大学 3'56"65
 - ②神戸大学 4'05"31
- 森本 遠藤 太田 小笹
- ③大阪工業大学

■女子400m個人メドレー

- ①中澤 葵 (立命館) 5'01"93
- ②濱田 莉子 (関西学院) 5'08"00
- ③佐藤 紫苑 (立命館) 5'10"33
- ④千住 響子 (神戸) 5'25"43

■男子400m個人メドレー

- ①細見 隼斗 (神戸) 4'59"05★
- ②中村 栄翔 (摂南) 4'59"42
- ③松本 大輔 (神戸学院) 5'06"38

■女子100m自由形

- ①天野 百望 (関西学院) 58"78
- ②諸橋 光咲 (立命館) 58"81
- ③梶田 紫夕 (大阪国際) 58"86
- ④北岡 さくら (神戸) 1'00"46
- ⑦越智 涼夏 (神戸) 1'00"89

■男子100m自由形

- ①川合 篤志 (親和) 53"37
 - ②妹尾 諒馬 (京都工芸繊維) 54"48
 - ③鎌塚 勇氣 (大阪工業) 54"49
 - ⑥徳山 元太 (神戸) 55"69
- 村尾 侑哉 57"04

■女子100m背泳ぎ

- ①高嶋 愛菜 (立命館) 1'07"60
- ②山城 夢芽 (関西学院) 1'07"60
- ③熊川 ひなた (京都) 1'08"24
- ④清水 恵那 (神戸女子) 1'09"48

■男子100m背泳ぎ

- ①増森 大介 (龍谷) 58"52
- ②縄田 大翔 (神戸) 1'00"05
- ③辻 大輝 (京産) 1'01"23
- ⑦森本 恭輔 (神戸) 1'02"61

■女子200m平泳ぎ

- ①立道 愛和 (神戸) 2'35"82
- ②高石 友梨香 (甲南女子) 2'35"86
- ③庄司 滉 (立命館) 2'36"71

■男子200m平泳ぎ

- ①清川 翔紀 (神戸) 2'26"54
- ②長内 聖弥 (和歌山県医) 2'27"84
- ③遠藤 力人 (神戸) 2'29"96
- ⑧近藤 真史 (神戸) 2'38"57

■女子4×50mフリーリレー

- ①立命館大学 1'48"62
 - ②関西学院大学 1'49"98
 - ③大阪国際大学 1'51"22
 - ④神戸大学 1'53"87
- 越智 北岡 立道 千住

■男子4×200mフリーリレー

- ①神戸大学 7'57"01
- 松島 南谷 前野 縄田
- ②龍谷大学 8'10"81
 - ③大阪工業大学 8'19"49

■男子総合成績

1位

■女子総合成績

5位

第70回全国国公立大学選手権水泳競技大会

2023年8月10日～8月12日・ダイエープロビスフェニックスプール(公認50m)

松島(4年)が100mバタフライにおいて悲願の初優勝を果たすなど、記憶に残るレースが多く生まれた。また、多くの4年生がこの試合をもって引退となった。

■女子400mメドレーリレー

- ①筑波大学 4'11"50
- ②鹿屋体育大学 4'19"99
- ③東京学芸大学 4'41"11

- ⑤神戸大学 4'29"29
- 千住 立道 北岡 越智

■男子400mメドレーリレー

- ①筑波大学 3'40"39
- ②鹿屋体育大学 3'45"20
- ③東京大学 3'48"26
- ⑦神戸大学 3'53"55

森本 清川 松島 縄田

■女子400m個人メドレー

- ①岡 莉子(鹿屋体育) 4'50"58
- ②三浦 理音(筑波) 4'50"79
- ③山下 ひなた(筑波) 4'56"56
- ⑧千住 響子(神戸) 5'25"99

■男子400m個人メドレー

- ①小峯 輝羅(筑波) 4'25"88
- ②杉浦 涼一(筑波) 4'28"14
- ③松本 恭太郎(東京) 4'28"26
- 南谷 泰志 4'52"42
- 細見 隼斗 5'02"39
- 伊藤 路人 5'16"89

■女子200m自由形

- ①久野日菜乃(大阪公立) 2'02"43
- ②中村 実夢(筑波) 2'03"31
- ③津隅 由子(鹿屋体育) 2'04"24
- 北岡 さくら 2'14"07

■男子200m自由形

- ①水上 瑠日(鹿屋体育) 1'50"44
- ②宮本 直輝(筑波) 1'51"62
- ③坂本 春空(鹿屋体育) 1'52"06
- ⑥縄田 大翔(神戸) 1'54"96
- 村尾 侑哉 2'04"95
- 岡崎 圭介 2'09"21

■女子50m自由形

- ①土井 香凛(筑波) 25"89
- ②賀部 寿音(筑波) 25"96
- ③下田 彩葉(岡山) 26"59
- 越智 涼夏 28"11

■男子50m自由形

- ①頓所 拓海(千葉) 23"02

- ②岩崎 世那(筑波) 23"06
- ③市村 優弥(鹿屋体育) 23"20
- 徳山 元太 25"56
- 山本 征明 25"62

■女子200mバタフライ

- ①後野 真衣(鹿屋体育) 2'10"78
- ②瀬津 菜々美(鹿屋体育) 2'13"83
- ③泉 遥叶(筑波) 2'15"20

■男子200mバタフライ

- ①武 快飛(筑波) 2'02"18
- ②毛利 慎之介(筑波) 2'02"48
- ③松島 優太(神戸) 2'03"07
- 前野 陸人 2'10"20
- 太田 浩紀 2'13"53

■女子200m背泳ぎ

- ①井田 真由(筑波) 2'18"43
- ②大鐘 結衣(愛知教育) 2'24"04
- ③福井 梨香子(大阪) 2'24"64

■男子200m背泳ぎ

- ①三浦 玲央(筑波) 2'01"04
- ②中園 剛志(鹿屋体育) 2'05"26
- ③柳 遥貴(岡山) 2'06"23
- 森本 恭輔 2'20"06

■女子200m平泳ぎ

- ①高橋 奈々(筑波) 2'30"14
- ②平林 優花(筑波) 2'33"28
- ③小関 葵(九州) 2'34"08
- ⑤立道 愛和(神戸) 2'38"39

■男子200m平泳ぎ

- ①榎田 大己(鹿屋体育) 2'11"60

- ②直江 篤樹(鹿屋体育) 2'13"00

- ③徳淵 凛(筑波) 2'13"69
- 近藤 真史 2'35"28★
- 遠藤 力人 2'28"44
- 清川 翔紀 2'27"41

■女子4×50mフリーリレー

- ①筑波大学 1'43"89
- ②鹿屋体育大学 1'45"83
- ③愛知教育大学 1'49"16
- 神戸大学 1'54"41
- 越智 北岡 立道 千住

■男子4×100mフリーリレー

- ①筑波大学 3'24"20
- ②鹿屋体育大学 3'25"79
- ③広島大学 3'30"25
- 神戸大学 3'32"71
- 松島 南谷 徳山 縄田

■女子200m個人メドレー

- ①木村 碧海(筑波) 2'17"77
- ②三浦 理音(筑波) 2'20"59
- ③宮崎 菜々子(鹿屋体育) 2'23"24
- 千住 響子 2'32"06

■男子200m個人メドレー

- ①杉浦 涼一(鹿屋体育) 2'04"93
- ②小峯 輝羅(筑波) 2'05"18
- ③松本 恭太郎(東京) 2'05"96
- 太田 浩紀 2'16"96
- 細見 隼斗 2'19"21
- 宇津原 旭 2'23"90

■女子400m自由形

- ①久野 日菜乃(大阪公立) 4'16"76
- ②瀬津 菜々美(鹿屋体育)

4'20"87

③岡 莉子(鹿屋体育) 4'22"51
山本 英穂 5'08"30

■男子400m自由形

①水上 瑠日(鹿屋体育) 3'57"00
②宮本 直輝(筑波) 3'59"67
③續 竜成(筑波) 3'59"94
南谷 泰志 4'19"34
小笹 和真 4'43"49

■女子1000m自由形

①土井 香凛(筑波) 57"10
②武田 とぼり(筑波) 57"79
③伊藤 香乃(鹿屋体育) 58"59
北岡 さくら 1'00"75
越智 涼夏 1'01"96

■男子1000m自由形

①市村 優弥(鹿屋体育) 50"88
②山田 晃司(香川) 51"28
③別所 輝(名古屋工業) 51"49
徳山 元太 55"49
村尾 侑哉 56"42
岡崎 圭佑 56"64

■女子1000mバタフライ

①後野 真衣(鹿屋体育)

1'00"27

②山本 けいと(筑波) 1'01"24
③関根 滯央(愛知教育) 1'02"13

■男子1000mバタフライ

①松島 優太(神戸) 54"17
②頓所 拓海(千葉) 54"23
③武 快飛(筑波) 54"30
前野 陸人 58"16

■女子1000m背泳ぎ

①片桐 珠実(筑波) 1'04"63
②大鐘 結衣(愛知教育) 1'05"03
③下田 彩葉(岡山) 1'05"77

■男子1000m背泳ぎ

①三浦 玲央(筑波) 55"00
②古屋 璃空(筑波) 56"82
③真部 潤(九州) 57"93
森本 恭輔 1'02"72
縄田 大翔 1'07"62

■女子1000m平泳ぎ

①高橋 奈々(筑波) 1'09"89
②小関 葵(九州) 1'11"03
③平林 優花(筑波) 1'12"24

⑦立道 愛和(神戸) 1'14"31

■男子1000m平泳ぎ

①増田 開(筑波) 1'01"87
②直江 篤樹(鹿屋体育) 1'02"14
③後藤 旭登(九州) 1'02"18
遠藤 力人 1'08"23
近藤 真史 1'09"97★
清川 翔紀 1'06"87

■女子4×1000mフリーリレー

①筑波大学 3'48"96
②鹿屋体育大学 3'51"07
③愛知教育大学 4'01"20
⑥神戸大学 4'11"29
越智 北岡 立道 千住

■男子4×2000mフリーリレー

①鹿屋体育大学 7'24"81
②筑波大学 7'37"72
③大阪教育大学 7'42"42
神戸大学 8'06"00
前野 徳山 南谷 松島

■男子総合成績

7位

■女子総合成績

8位

第11回関西学生夏季長水路公認記録会

2023年8月20日・ポートアイランドスポーツセンター(公認50m)

ベスト率が高い試合とは言えなかったが、自己ベストを大きく更新する選手もいて、日々の練習の成果が目に見えた試合であった。

■女子50m自由形

千住 響子 29"88
清水 恵那 28"98

■男子50m自由形

細見 隼斗 26"03
小笹 和真 27"40
南谷 泰志 25"83

山本 征明 25"72

■女子200m個人メドレー

立道 愛和 2'32"27

■男子 200m 個人メドレー

南谷 泰志 2'14"40

■女子 100m バタフライ

越智 涼夏 1'11"03

北岡 さくら 1'04"93

■男子 100m バタフライ

縄田 大翔 1'00"22★

太田 浩紀 57"83★

■女子 100m 背泳ぎ

山本 英穂 1'15"82

清水 恵那 1'09"85

■男子 100m 背泳ぎ

細見 隼斗 1'06"29

森本 恭輔 1'06"72

■男子 100m 平泳ぎ

遠藤 力人 1'07"80

清川 翔紀 1'07"97

宇津原 旭 1'12"14

■女子 100m 自由形

千住 響子 1'04"15

■男子 100m 自由形

小笹 和真 1'01"94

山本 征明 57"34

南谷 泰志 55"62★

■男子 400m 自由形

野崎 智仁 5'00"99

■男子 400m 個人メドレー

遠藤 力人 5'09"74

■女子 200m 自由形

山本 英穂 2'24"59

北岡 さくら 2'14"09

越智 涼夏 2'17"17

■男子 200m 自由形

野崎 智仁 2'21"67

宇津原 旭 2'07"49

■女子 200m 自由形

北岡 さくら 2'14"09

越智 涼夏 2'17"17

山本 英穂 2'24"59

■男子 400m フリーリレー

神戸大学 A 3'45"17

細見 遠藤 山本 太田

神戸大学 B 3'50"97

縄田 宇津原 小笹 清川

第 99 回 日本学生選手権水泳競技大会

2023 年 8 月 31 日～9 月 3 日・(公認 50m)

神戸大学からは、男子 100m バタフライ、男子 100m 背泳ぎ、男子 200m 自由形、男子 400m メドレーリレー、女子 100m 平泳ぎ、女子 200m 平泳ぎに出場した。ベスト記録は生まれなかったものの松島(4 年)が悲願の B 決勝進出を果たした。

■女子 50m 自由形

①今牧 まりあ(早稲田)

25"24

②松本 信歩(早稲田) 25"30

③神野 ゆめ(中京) 25"33

■男子 50m 自由形

①須田 悠介(早稲田) 22"38

②重藤 流世(近畿) 22"46

③松原 光佑(新潟医福)

22"49

■女子 100m 自由形

①池本 凧沙(中央) 54"11

②神野 ゆめ(中京) 55"03

③廣下 菜月(中京) 55"23

■男子 100m 自由形

①田中 大寛(早稲田) 48"84

②柳本 幸之介(日本) 49"05

③原 空輝(早稲田) 49"20

■女子 200m 自由形

①池本 凧沙(中央) 1'58"57

②長尾 佳音(明治) 1'59"85

③澤野 莉子(中央) 2'00"26

■男子 200m 自由形

①柳本 幸之介(日本) 1'47"46

②田中 大寛(早稲田) 1'47"89

③清水 博斗(明治) 1'48"18

縄田 大翔 1'55"56

松島 優太 1'54"33

■女子 400m 自由形

①難波 実夢(近畿) 4'10"33

②長尾 佳音(明治) 4'13"79

③蛭名 愛梨(法政) 4'14"80

■男子 400m 自由形

①黒川 紫唯(近畿) 3'50"00

②井本 一輝(中央) 3'50"24

③清水 博斗 (明治) 3'51"35

■女子 800m 自由形

①難波 実夢 (近畿) 8'32"96

②蛭名 愛梨 (日本体育)

8'35"11

③梶本 一花 (同志社)

8'38"51

■男子 1500m 自由形

①井本 一輝 (中央) 15'13"69

②橋本 和賢 (神奈川)

15'15"47

③宮木 宏悦 (中京) 15'16"12

■女子 100m 背泳ぎ

①秀野 由光 (神奈川)

1'00"40

②竹葉 智子 (早稲田)

1'01"19

③亀井 涼子 (早稲田)

1'01"89

■男子 100m 背泳ぎ

①柳川 大樹 (明治) 53"86

②松山 陸 (明治) 54"23

③三浦 玲央 (筑波) 54"50

縄田 大翔 59"53

■女子 200m 背泳ぎ

①秀野 由光 (神奈川)

2'11"37

②森田 眞子 (法政) 2'12"88

③竹葉 智子 (中京) 2'13"37

■男子 200m 背泳ぎ

①竹原 秀一 (東洋) 1'57"39

②柳川 大樹 (明治) 1'57"58

③西小野 皓大 (中京)

1'58"04

■女子 100m 平泳ぎ

①星 萌々花 (日本) 1'08"06

②吉田 杏子 (中京) 1'08"76

③岡田 侑奈 (中央) 1'08"79

立道 愛和 1'14"07

■男子 100m 平泳ぎ

①谷口 卓 (中京) 59"72

②榎田 大己 (鹿屋体育)

1'00"40

③今西 優太 (近畿) 1'00"64

■女子 200m 平泳ぎ

①石原 愛依 (神奈川)

2'25"15

②黒部 和花 (日本) 2'26"73

③松木 琴美 (近畿) 2'27"18

立道 愛和 2'37"28

■男子 200m 平泳ぎ

①廣島 偉来 (明治) 2'09"40

②山尾 隼人 (法政) 2'10"54

③榎田 大己 (鹿屋体育)

2'10"63

■女子 100m バタフライ

①廣下 菜月 (中京) 57"69

②野田 佑風 (青山学院)

58"71

③長谷川 葉月 (中央) 59"36

■男子 100m バタフライ

①寺門 弦輝 (日本) 51"65

②西田 拓郎 (神奈川) 52"31

③内藤 大翔 (中央) 52"50

<B 決勝> ⑧松島 優太 (神戸)

53"93

<予選> ⑩松島 優太 (神戸)

53"91

■女子 200m バタフライ

①三井 愛梨 (法政) 2'07"92

②水口 知保 (明治) 2'08"9

③藤本 穂 (同志社) 2'10"43

■男子 200m バタフライ

①本田 灯 (日本) 1'53"76

②寺門 弦輝 (日本) 1'54"80

③丹保 陸 (法政) 1'57"09

■女子 200m 個人メドレー

①松本 信歩 (早稲田)

2'10"95

②石原 愛依 (神奈川)

2'14"12

③杉山 樺音 (神奈川)

2'14"38

■男子 200m 個人メドレー

①小方 颯 (日本) 1'57"49

②廣島 偉来 (明治) 1'59"05

③牧野 航介 (東洋) 1'59"51

■女子 400m 個人メドレー

①梶本 一花 (同志社)

4'40"02

②谷川 亜華葉 (近畿)

4'40"29

③杉山 樺音 (神奈川)

4'41"42

■男子 400m 個人メドレー

①小方 颯 (日本) 4'12"50

②本田 灯 (日本) 4'12"58

③上川畑 英 (明治) 4'14"36

■女子 4×100m フリーリレー

①中央大学 3'40"93

②中京大学 3'42"19

③早稲田大学 3'43"55

■男子 4×100m フリーリレー

- ①早稲田大学 3'16"53
- ②日本大学 3'18"06
- ③明治大学 3'18"20

■女子 4×200m フリーリレー

- ①近畿大学 8'03"25
- ②早稲田大学 8'03"47
- ③中京大学 8'07"52

■男子 4×200m フリーリレー

- ①日本大学 7'12"81
- ②早稲田大学 7'14"70
- ③近畿大学 7'17"22

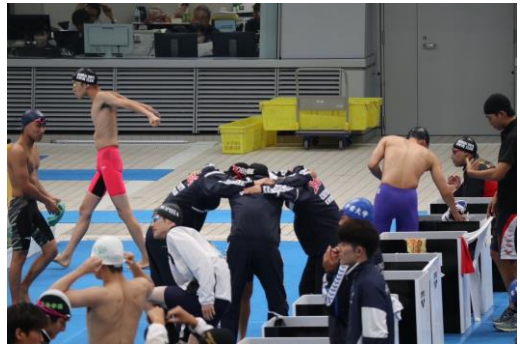
■女子 4×100m メドレーリレー

- ①中京大学 4'01"73
- ②中央大学 4'02"36

③近畿大学 4'06"18

■男子 4×100m メドレーリレー

- ①明治大学 3'35"27
 - ②日本大学 3'35"51
 - ③中京大学 3'35"69
- 神戸大学 3'53"74
森本 清川 松島 縄田



**2023 度大阪公立大学・神戸大学定期戦
2023 年 7 月 16 日(日)大阪公立大学プール(50m)**

■混合 400m メドレーリレー

- ①神戸大学 4'23"22
- 清水 遠藤 北岡 縄田

■男子 400m メドレーリレー

- ①大阪公立大学 A 4'29"71
 - ②神戸大学 A 4'35"55
- 南谷 野崎 太田 清川

③神戸大学 B 4'36"93

宇津原 山本 森本 小笹

■女子 50m 自由形

- ①立道 愛和 (神戸) 29"99
- ②山本 英穂 (神戸) 31"58
- ③上谷 南美 (大阪公立) 33"49

■男子 50m 自由形

- ①槇山 和樹 (大阪公立) 26"18
 - ②石野 優生 (大阪公立) 26"22
 - ③桑原 大河 (大阪公立) 26"37
- 宇津原 旭 27"34
夏目 大暉 29"07

■女子 100m 背泳ぎ

①堀内 咲歩 (大阪公立)
1'22"38

■男子 100m 背泳ぎ

①下里 航生 (大阪公立)

1'06"59

②南谷 泰志 (神戸) 1'08"40

③佐藤 翼 (大阪公立) 1'08"98

清川 翔紀 1'14"98

山本 征明 1'10"22

■女子 200m 個人メドレー

①久野 日菜乃 (大阪公立)

2'27"27

②立道 愛和 (神戸) 2'36"00

③北岡 さくら (神戸) 2'38"38

■男子 200m 個人メドレー

①岡山 雅 (大阪公立) 2'20"32

②藪野 響 (大阪公立) 2'24"14

③平砂 悠太 (大阪公立)

2'43"18

■混合 4×100m フリーリレー

①大阪公立大 4'07"43

②神戸大 4'11"29

太田 山本 越智 南谷

■男子 4×100m フリーリレー

①大阪公立大学 A 3'56"76

②大阪公立大学 B 4'01"07

③神戸大学 B 4'05"45

細見 野崎 森本 小笹

神戸大学 A 4'16"82

山本 近藤 清川 遠藤

■女子 100m 平泳ぎ

①中西 梨予 (大阪公立) 1'26"60

②清水恵那 (神戸大学) 1'26"87

③赤沢 萌絵 (大阪公立)

1'27"60

■男子 100m 平泳ぎ

①太田 浩紀 (神戸) 1'10"17

②大野 耕一郎 (大阪公立)

1'11"84

③福島 悠貴 (大阪公立)

1'12"26

野崎 智仁 (神戸) 1'32"48

森本 恭輔 (神戸) 1'28"35

山本 征明 (神戸) 1'21"23

細見 隼斗 (神戸) 1'14"96

宇津原 旭 (神戸) 1'13"38

南谷 泰志 (神戸) 1'13"28

■女子 100m 自由形

①勝野 花菜 (大阪公立)

1'04"83

②千住 響子 (神戸) 1'07"18

③山本 英穂 (神戸) 1'11"47

■男子 100m 自由形

①石野 優生 (大阪公立) 57"43

②遠藤 力人 (神戸) 57"75

③福本 雄大 (大阪公立) 58"81

■女子 100m バタフライ

①久野 日菜乃 (大阪公立)

1'04"15

②越智 涼夏 (神戸) 1'11"57

③赤沢 萌絵 (大阪公立)
1'14"31

■男子 100m バタフライ

①南谷 研志 (大阪公立)

1'00"02

②縄田 大翔 (神戸) 1'01"78

③早川 祥生 (大阪公立)

1'04"06

遠藤 力人 (神戸) 1'08"56

小笹 和真 (神戸) 1'09"02

■混合 4×50m フリーリレー

①神戸大学 1'50"35

清水 遠藤 縄田 北岡

②大阪公立大 1'56"74

中西 久井 森 西村

■男子 4×50m フリーリレー

①神戸大学 1'47"19

山本 細見 清川 近藤

②大阪公立大学 1'47"25

石野 篠永 伊藤 福島

第 6 回三重とこわか水泳競技大会

2023 年 11 月 18 日～19 日・三重交通 G スポーツの杜鈴鹿水泳場(公認 25m)

任意での試合であったが複数のベスト記録が生まれた。

■女子 50m 自由形

越智 涼夏 26"90★

森本 恭輔 1'00"21

■男子 100m 背泳ぎ

■女子 200m 平泳ぎ 立道 愛和 2'35"02	越智 涼夏 2'09"93	立道 愛和 1'12"83
■男子 200m 平泳ぎ 遠藤 力人 2'19"84★	■男子 200m 背泳ぎ 森本 恭輔 2'16"49	■男子 100m 平泳ぎ 遠藤 力人 1'05"02
■女子 200m 自由形	■女子 100m 平泳ぎ	

第 1 回兵庫県シニア記録会 2023 年 11 月 26 日・尼崎スポーツの森(公認 25m)

任意試合であったが複数のベスト記録が生まれた。

■男子 200m 自由形 南谷 泰志 1'56"73★	■男子 1500m 自由形 南谷 泰志 17'22"76	■男子 100m バタフライ 太田 浩紀 56"79★
■女子 200m バタフライ 北岡 さくら 失格	■女子 100m バタフライ 北岡 さくら 1'02"84	

第 17 回関西学生冬季公認記録会 2023 年 12 月 16 日～17 日・京都アクアリーナ(公認 25m)

新体制後初の試合となり、1 回生を筆頭に多くのベストが生まれた。

■女子 200m 自由形 山本 英穂 2'20"27 越智 涼夏 2'12"80	■男子 50m 自由形 山本 征明 24"91	■女子 200m 背泳ぎ 清水 恵那 2'29"61 山本 英穂 2'35"13
■男子 200m 自由形 小笹 和真 1'57"99 宇津原 旭 1'56"91 縄田 大翔 1'53"09	■女子 100m 平泳ぎ 立道 愛和 1'13"04	■女子 400m フリーリレー 神戸大学 4'04"71 越智 北岡 立道 千住
■女子 50m 背泳ぎ 清水 恵那 31"13	■男子 100m 平泳ぎ 近藤 真史 1'09"44 遠藤 力人 1'04"85 清川 翔紀 1'04"17	■男子 400m フリーリレー 神戸大学 3'30"48 縄田 宇津原 小笹 南谷
■男子 50m 背泳ぎ 森本 恭輔 28"22	■女子 100m バタフライ 北岡 さくら 1'01"94★	■男子 200m 個人メドレー 南谷 泰志 2'07"24★
■男子 400m 個人メドレー 南谷 泰志 4'35"94★	■男子 100m バタフライ 太田 浩紀 57"52 野崎 智仁 1'00"95★ 細見 隼斗 58"52★	■男子 50m 平泳ぎ 近藤 真史 32"05★
■女子 50m 自由形 越智 涼夏 27"42	■男子 400m 自由形 小笹 和真 4'17"54	

■女子 100m 背泳ぎ
清水 恵那 1'07"80
山本 英穂 1'10"77

■男子 100m 背泳ぎ
森本 恭輔 1'00"39

■女子 200m バタフライ
北岡 さくら 2'24"58

■男子 200m バタフライ
野崎 智仁 2'26"11

■女子 100m 自由形

越智 涼夏 58"95

■男子 100m 自由形
宇津原 旭 53"51
細見 隼斗 54"45
縄田 大翔 52"90

■男子 200m 平泳ぎ
近藤 真史 2'28"31
遠藤 力人 2'21"32
清川 翔紀 2'19"09

■男子 50m バタフライ
山本 征明 25"96★

■女子 400m メドレーリレー
神戸大学 4'22"96
山本 立道 北岡 越智

■男子 400m メドレーリレー
神戸大学 3'51"51
縄田 清川 太田 南谷

■男子 800m フリーリレー
神戸大学 7'43"05
小笹 縄田 宇津原 細見

【水球記録】

2023 年度兵庫県水球春季選手大会

2023 年 5 月 28 日・尼崎スポーツの森プール



新入生が加わってからの初の公式試合であった。ペナルティスロー合戦にもつれ込む試合もあったが兵庫県選手権優勝という、うれしい結果を報告できた。決勝では OB さんのチームである全神大と戦い、思い出に残る試合となった。

第一試合 VS 関西学院大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	濱田3 新保2 夏目2 大星1 杉山1 浅井1
神大	1	2	4	3	10		
関学	2	0	0	1	3		

第二試合 VS ヘルメス

	1p	2p	3p	4p	PS	計		新保6 大星3

神大	4	3	4	3	3	17	得点	浅井3 夏目2 濱田2 伊藤1
ヘルメ ス	5	2	3	4	1	15		

第三試合 VS 全神大

	1p	2p	3p	4p	計	得点	新保5 夏目3 濱田1 大星1 伊藤1 浅井1
神大	2	3	4	3	12		
全神大	2	1	1	3	7		

令和5年度京都選手権水球競技大会

2023年6月3日～4日・京都アクアリーナプール



二週連続の試合で広いプールでの試合であった。学生リーグが迫っている中、これから戦うであろう相手と戦い、多くの課題や改善点が見つかった試合となった。

第一試合 VS 乙訓高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	杉山3 新保2 伊藤1 浅井1
神大	2	4	0	1	7		
乙訓	1	0	0	4	5		

第二試合 VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	新保2 夏目1 大星1 川崎1 浅井1
神大	4	0	1	1	6		
びわこ	1	3	1	2	7		

第三試合 VS 京都大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井2 新保1 夏目1
神大	1	3			4		
京大	3	3			6		

第四試合 VS 乙訓高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 新保1 夏目1 濱田1
神大	3	3			6		
乙訓	1	4			5		

令和5年度関西選手権水球競技大会

2023年6月10日～11日大阪プール

普段戦うことはない強豪ばかりが相手で勝ち切ることができなかった。来週に控えた学生リーグで戦うだろう相手と戦う最後の試合もあり、たくさんの反省と改善点が見つかった。シーズン残り僅かな練習にメンタル的にも影響の出る試合であった。

第一試合 VS 三建・30CLUB

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目3 新保1 大星1 伊藤1
神大	3	0	1	2	6		
三建	6	4	5	3	18		

第二試合 V 広島大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	杉山3 新保2 夏目2
神大	4	0	2	1	7		
広大	2	2	3	2	9		

第三試合 VS 滋賀県選抜

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目3 新保1
神大	1	1	1	1	4		
滋賀選 抜	3	0	3	1	7		

第四試合 VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目 2
神大	0	0	2	0	2		
びわこ	2	1	1	3	7		

第五試合 VS 立命館大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星3 杉山2 新保2 夏目 1
神大	1	3	1	2	7		
立命	5	1	1	3	10		

2023 年度関西学生選手権水泳競技大会水球競技

2023 年 6 月 17、18、24、25 日 7 月 1、2、8 日・京都大学、最終日のみ大阪プール



シーズンの集大成となる試合。惜しくもインカレ出場はできなかったが、それぞれの活躍が見られた。これまでの練習の成果を発揮できる試合となった。

第一試合 VS 龍谷大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目6 新保1 大星1 伊藤1 浅井1
神大	3	2	3	2	10		
龍谷	2	5	7	8	22		

第二試合 V 大阪公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	濱田5 大星2 伊藤2 川崎2 夏目1 浅井1
神大	1	5	4	3	13		
公立大	3	1	1	3	8		

第三試合 V びわこ成蹊スポーツ大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	新保3 濱田2 夏目1 伊藤1
神大	1	2	2	2	7		
びわこ	4	2	2	1	9		

第四試合 V 立命館大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目3 濱田2 新保2 大星1 伊藤1
神大	2	1	3	3	9		
立命	3	4	1	2	10		

第五試合 VS 京都大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	濱田3 夏目3 大星1 伊藤1 浅井1
神大	0	3	3	3	9		
京都	5	1	1	3	10		

この試合をもって一部残留が決定した。

第六試合 VS 龍谷大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目3 新保3 伊藤2 浅井2 大星1
神大	0	2	2	7	11		
龍谷	4	4	6	5	19		

第七試合 V 関西学院大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	濱田3 新保2 夏目1 浅井1
神大	3	1	2	1	7		
関学	0	2	2	1	5		

第八試合 VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	夏目1 伊藤1 浅井1
神大	2	0	1	0	3		
びわこ	0	1	2	3	6		

第九試合 VS 立命館大学

	1p	2p	3p	4p	PS	計	得点	新保4 濱田3 夏目2 大星1 川崎1 浅井1
神大	2	1	1	3	5	12		
立命	1	2	0	4	4	11		

今大会をもって学生リーグ 1 部 4 位が決定した。

大阪公立大学・神戸大学定期戦

2023 年 7 月 16 日・大阪湖立大学中百舌鳥キャンパス



今年も去年同様開催され、公立大、競泳などの多くの人との交流の機会となった。

VS 大阪公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 大星2 伊藤1 川崎1
神大	2	1	3	1	7		
立命	4	1	3	2	10		

◆選手・マネージャーのコメント◆

攻撃の終わり方がよくないことが多い(DF の狙っているところにパスを出しカットされ敵ボールになる等)試合だった。これからの大きな課題になり修正していかなければならない。(3 回川崎)

NN カップ・OB 戦

2023 年 8 月 13 日ポートアイランドスポーツセンター



毎年恒例の NN カップで、たくさんの OB の方々と楽しく水球をさせてもらった。
裏企画では退水王、誘発王、得点王、ファンサ王などの景品をかけた勝負も行われた。
普段ない OB さんと集まれる機会を存分に楽しんだ。

第一試合 VS 大阪大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星4
神大	2	2			4		
阪大	6	6			12		

第二試合 VS 大阪国際大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星2 河上1 浅井1
神大	0	5			5		
大国	2	2			4		

第三試合 VS OB

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井4 大星2 杉山1 小黒1
神大	3	5			8		
OB	3	3			6		

第三試合 V 高専

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星8 浅井6 杉山4 河上1
神大	12	7			19		
高専	2	2			4		

◆選手・マネージャーのコメント◆

チーム、個人それぞれでまだまだ沢山課題はあるが、新体制としてのスタートを切れた良い大会だったと思う。自分も一回生も初出場で求められることの具体的な目標が見えたと思う。(3回河上)

優勝できなかったのは残念だったが、新チーム移行後の初の大会で今後の課題を確認することが出来るいい機会になったと思う。(3回杉山)

試合で初めて笛を吹いたのですが、まだまだできない部分も多かったのもっと勉強していきたいと思いました。(2回マネ知野見)

2023 年度京都選手権秋季大会

2023 年9月 23～24日・鳥羽高校



新体制で戦う初めての公式試合だったが、1 回生選手(キーパー)角くん不在のため引退された浅野先輩が代わりに出場してもらった。一回生も得点する機会が増え成長を実感するとともに、反省も多くあった試合となった。

第一試合 VS 大阪公立大付属高専

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井5 伊藤4 大星2 河上1 杉山1 小黒1
神大	7	7			14		
高専	1	0			1		

第二試合 VS 乙訓高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤1 河上1
神大	2	0			2		
乙訓	1	4			5		

第三試合 VS 踏水会

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星2 杉山1 浅井1
神大	1	3			4		
踏水会	3	2			5		

第四試合 VS 長野東高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤4 大星2 浅井2 小黒1
神大	5	4			9		
長野東	0	1			1		

第五試合 VS YMCA

	1p	2p	3p	4p	PS	計	得点	大星 4 浅井 3 伊藤 1 杉山 1 木島 1
神大	1	2	3	2	2	10		
YMCA	1	1	3	3	1	9		

この試合をもってリーグ5位で大会終了。

◆選手・マネージャーのコメント◆

試合後半でパスが繋がらなかつたり、オフェンスが多いことなどうまくいかないことが重なった。ピリ間での意識共有をもっとできるようにしていきたい。(3回伊藤)

2023 年度関西学生秋季水球競技大会
2023 年10月22日、11 月5日・びわこ成蹊スポーツ大学



チームの目標達成のためには勝たなければならない相手に接戦の末負けてしまう悔しい試合となってしまった。

今後のミーティングと練習では、この試合での反省を見つめなおし修正していきたい。

第一試合 VS 大阪大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 大星1 伊藤1 杉山1 小黒1
神大	5	2			7		
阪大	4	5			9		

第二試合 VS 大阪公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤4 浅井3 大星1
神大	4	4			8		
公立大	2	4			6		

第三試合 VS 関西学院大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 大星2 杉山2 伊藤1
神大	2	0	4	2	8		
関学	3	4	2	1	10		

第四試合 VS 大阪大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井5 伊藤2 大星1
神大	3	3	1	1	8		
阪大	3	1	4	1	9		

第五試合 VS 大阪公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤4 浅井3 大星2 河上1 杉山1
神大	5	3	2	1	11		
公立大	3	1	1	3	8		

この試合をもって6位で試合終了となった。

◆選手・マネージャーのコメント◆

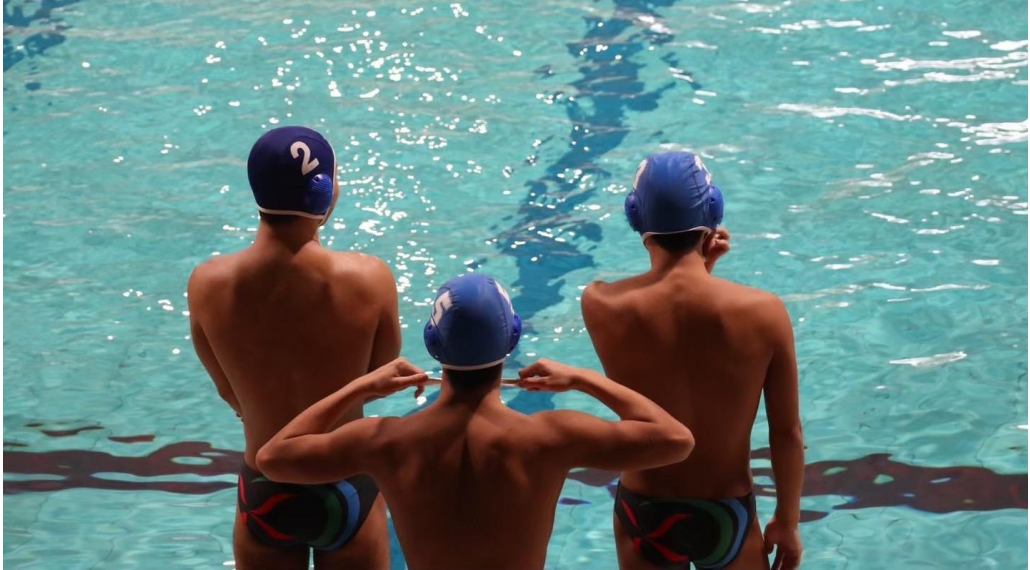
普段の練習では見たことのないプレーが多かったように感じた。試合という特別な空間でいつも通りの

プレーができるようにしたい。しっかり退水を吹きます。(3回マネ久保田)

関学の試合でロングシュートを決められたのが悔しかった(2回角)

兵庫県選手権大会

2023年11月12日・尼崎スポーツの森



今シーズンずっと負け続けであった阪大に勝つことができ嬉しい試合となった。この勝利を境に前進していけるようにしたい。

第一試合 VS トライアックス

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星2 伊藤1
神大	1	2			3		
トライ	4	2			6		

第二試合 VS 大阪大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星1 伊藤1 河上1
神大	3	1			4		

							浅井1
阪大	1	2			3		

第三試合 VS 尼崎高校 B

	1p	2p	3p	4p	計	得点	杉山4 大星1 伊藤1 小黒1 木島1
神大	4	4			8		
尼北	1	0			1		

→コールド

◆選手・マネージャーのコメント◆

状況判断が遅くチャンスを流してしまうことがないようにしたい。ワンプレーの重要性を再認識した。
(2回小黒)

和歌山県選手権

2023年12月09日～10日・あきばさんプール



去年は出場せず、部員全員が初めてとなる試合であった。いろんな地域から参加しており、ここでしか戦えない相手が多かった。惜しくも表彰台は逃したが、個人で反省点成長した点を自覚できる試合となった。

第一試合 VS 向陽高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井4 伊藤3 杉山2
神大	4	5			9		
向陽	1	0			1		

第二試合 VS 関学OB

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井4 大星3 伊藤1
神大	5	3			8		
OB	3	2			5		

第三試合 VS 佐賀東高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星3 浅井2
神大	2	3			5		
佐賀	4	3			7		

第四試合 VS RiegaOB

	1p	2p	3p	4p	計		浅井4 伊藤2

神大	2	2	2	2	8	得点	河上1 小黒1
RiegaOB	1	3	4	2	10		

第五試合 VS 大阪公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 大星1 小黒1
神大	0	2	1	2	5		
公立大	1	3	2	0	6		

この試合をもって第4位決定した。

◆選手・マネージャーのコメント◆

僅差で競った末に負ける試合が多かった。まずはシュートの選択肢を減らしたい。(二回生・角)
チームとして、個人として、成長を感じるとともに課題も多く見つかった。攻めるときのバリエーションを増やし、同じ失敗はしないようにする。(二回生・木島)

なみはやカップ水球競技大会

2024年1月13日～14日・東和薬品 RACTAB ドーム



予選は 4 分×1pという短い戦いで思うようには攻撃しきれない場面の多い試合となった。また、3点差でコールドということもあり、連続失点などでコールドに終わる試合が多かった。

第一試合 VS 神戸水球

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤1 浅井1 小黒1
神大	3				3		

神戸水球	0				0		
------	---	--	--	--	---	--	--

→コートド

第二試合 VS ヘルメス

	1p	2p	3p	4p	計	得点	得点者なし
神大	0				0		
ヘルメス	3				3		

よって予選2位で決勝に進むことが決定。

第三試合 VS YMCA

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星1
神大	1				1		
YMCA	4				4		

第四試合 VS まちかね

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星2 伊藤2 浅井2 杉山1
神大	4	0	1	2	7		
まちかね	2	1	0	1	4		

この試合をもってなみはやカップ総合11位が決定した。

プレスが遅いことが理由で簡単にボールが繋がれ失点につながる場面が多かった。(3回・川崎)

試合の記録でより詳しく書くことを心がけた。選手の意見などを聞いて、より明確で意味のある記録づくりができるようにしていきたい。(3回マネ窪田)

KSCA ウィンターリーグ戦

2023年2月17日～19日・びわこ成蹊スポーツ大学



第一試合 VS 関西学院大学

	1p	2p	3p	4p	PS	計	得点	浅井3 杉山2 大星1
神大	2	4			0	6		
関学	1	5			1	7		

第二試合 VS 佐賀東高校

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井2 伊藤2 大星1 杉山1 小黑1
神大	3	4			7		
名大	2	0			2		

第三試合 VS びわこ成蹊スポーツ大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星3 浅井1 杉山1
神大	4	1			5		
びわこ	8	3			11		

第四試合 VS 大阪大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星4 河上1 杉山1 浅井1
神大	2	1	2	2	7		
阪大	4	2	2	3	11		

第五試合 VS 京都大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	伊藤5 杉山3 大星2 河上2 浅井2 木島1 小黒1
神大	5	6	2	3	16		
京大	1	2	1	3	7		

第六試合 VS 名古屋大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井6 大星4 河上2 伊藤2 小黒2 杉山1
神大	2	5	6	4	17		
名大	2	3	2	1	8		

第七試合 VS 公立大学

	1p	2p	3p	4p	PS	計	得点	伊藤5 浅井5 杉山3 大星3 河上1 川崎1
神大	3	3	3	4	5	18		
公立	2	2	4	5	4	17		

この試合をもって、ウィンターリーグ第5位決定した。

◆選手・マネージャーのコメント◆

実力差や状況など考えることはたくさんあったのに、ワンパターンでしか動けなかったので今後の練習で自分たちのやり方を見つけていきたい。(3回伊藤)

惜しい場面が多く、悔しかった。同級生の成長と活躍が見れて嬉しかった。(2回マネ松尾)

全国国公立水泳競技大会

2024年2月24日～25日・武蔵大学



第一試合 VS 東京都立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星3 浅井2 伊藤1
神大	3	3			6		
都立大	4	6			10		

第二試合 VS 一橋大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井3 大星3
神大	1	5			6		
一橋	5	6			11		

第三試合 VS 公立大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	大星5 浅井3 河上2
神大	1	4	5	0	10		
公立大	2	2	1	3	8		

第四試合 VS 東京工業大学

	1p	2p	3p	4p	計	得点	浅井1 1 伊藤3 大星3 河上1 杉山1
神大	3	5	5	4	17		
東工大	3	2	1	6	12		

◆選手・マネージャーのコメント◆

アイコンタクトや声掛けなどを心がけたら防げた失点もあったはず。(4回マネ鶴澤)

関西と関東で違う笛の基準に対応できない場面が多かったと思う。(3回川崎)

リレーエッセー(第18回)

リレーエッセーは平成19年度号からスタートし、今号で第18回になり、のべ80名の会員にご執筆いただきました。リレー経緯は次の通りです。(敬称略)

平成卒世代男性		
第1回(平成19年度号)		甲野 賢(平2)
第2回(平成20年度号)	森 宣幸(平16)	羽瀬 智文(平2)
第3回(平成21年度号)	信田 泰弘(平17)	↓
第4回(平成22年度号)	↓	↓
第5回(平成23年度号)	岡 一成(平18)	當麻 尚正(平3)
第6回(平成24年度号)	加藤 晃裕(平19)	一越 健治(平4)
第7回(平成25年度号)	宮崎 仁志(平20)	富村 英三(平5)
第8回(平成26年度号)	司馬 竜也(平21)	木村 一也(平6)
第9回(平成27年度号)	↓	高橋 一弘(平7)
第10回(平成28年度号)	中務 晶太(平25)	小柳 勝義(平8)
第11回(平成29年度号)	真志田 仁(平25)	諫山 大介(平9)
第12回(平成30年度号)	新見 卓也(平27)	濱出 憲一郎(平11)
第13回(平成31年度号)	松田 龍介(平27)	井畑 陽平(平12)
第14回(令和2年度号)	河本 昌樹(平28)	青木 浩介(平4)
第15回(令和3年度号)	中野 樹(平29)	中畑 寛之(平5)
第16回(令和4年度号)	李 将太(平29)	松島 英樹(平6)
第17回(令和5年度号)	須波 涼(平31)	
第18回(今号)	島津 大地(令2)	↓

平成卒世代女性		
第1回(平成19年度号)		小笠原 陽子(昭50)
第2回(平成20年度号)	河原 あや(平17)	川本 典子(昭51)
第3回(平成21年度号)	西川 弥穂(平18)	星合 正子(昭53)
第4回(平成22年度号)	濱本 有紀(平19)	桑本 万里(昭55)
第5回(平成23年度号)	砂留 沙季子(平21)	土井 紀子(昭57)
第6回(平成24年度号)	上田 久美子(平19)	中北 路代(昭58)
第7回(平成25年度号)	田染 茉莉子(平20)	山中えみこ(昭60)
第8回(平成26年度号)	↓	↓

第9回(平成27年度号)	加藤 優(平23)	松本 典子(昭61)
第10回(平成28年度号)	末森 香織(平21)	渡辺 久美子(昭61)
第11回(平成29年度号)	福永 真希(平19)	近藤 えり(昭63)
第12回(平成30年度号)	米田 晃士(平17)	岡崎 景子(平元)
第13回(平成31年度号)	松本 章子(平18)	西村 美和(平元) ※多忙のため未掲載
第14回(令和2年度号)	金居 菜緒(平23)	加地 恵(昭63)
第15号(令和3年度号)	渡辺 祥子(平24)	松平(枝澤) 百合子(平3)
第16回(令和4年度号)	平 佳苗	
第17回(令和5年度号)	↓	↓

商船大OB・OG「みずむし会」		
第1回(平成19年度号)	西村 尚 ※多忙のため未掲載	
第2回(平成20年度号)		本間 正信 (海事科学部教員)
第3回(平成21年度号)		沖浦 征治(11N)
第4回(平成22年度号)	恵美 裕(平9)	石田 憲治(昭47)
第5回(平成23年度号)	加藤 亮二 (平20・海事科学部)	※山浦 高幸(昭63) にお願いしておりましたが 出筆いただけませんでした。
第6回(平成24年度号)	※石田 達朗 (平18・海事科学部)	
第7回(平成25年度号)	にお願いしておりましたが事情により 出筆いただけませんでした。	
第8回(平成26年度号)		
第9回(平成27年度号)		格谷 隆(平 3)
第10回(平成28年度号)	↓	
第11回(平成29年度号)	西村 尚(平 6)	※未掲載
第12回(平成30年度号)	柳瀬 啓(平 4)	
第13回(平成31年度号)	中山 勝之(平 5)	
<p>(お知らせ)</p> <p>平成15年に神戸大学と神戸商船大学が統合され、これを機に「みずむし会」の会員も任意で凌泳会に参加していただく運びとなりました。平成19年に始まったこのリレーエッセーでは、みずむし会から凌泳会にご参加くださった会員と積極的に交流を図るために、4レーンあるリレーの1つとして、『商船大OB・OG「みずむし会」』(※海事科学部含む)を設けてまいりましたが、実際にリレーが難しくなったこともあり、13回の回を重ねてその役割を終えたと判断し、第13回をもってリレーを終了することに致しました。悪しからず御了承ください。</p>		

昭和卒世代男性		
第1回(平成19年度号)		石井 義章(昭27)
第2回(平成20年度号)	島崎 昌彦(昭62)	野田 浩志(昭36)
第3回(平成21年度号)	川原田 貢(昭61)	林 荘八郎(昭38)

第4回(平成22年度号)	長崎 真人(昭59)	前田 和秀(昭40)
第5回(平成23年度号)	谷水 利行(昭59)	真喜志 好一(昭41)
第6回(平成24年度号)	吉岡 宏之(昭59)	宮部 高博(昭42)
第7回(平成 25 年度号)	浦野 敏明(昭60)	↓
第8回(平成 26 年度号)	坂田 純孝(昭60)	熊岡 禎二(昭44)
第9回(平成27年度号)	↓	玉置 明(昭45)
第10回(平成 28 年度号)	吉田 不二彦(昭60) ※未掲載	井上 与志男(昭45)
第11回(平成 29 年度号)	↓	以西 吉一(昭45)
第12回(平成 30 年度号)	南谷 昌宏(昭 60)	菱田 徹(昭 45)
第 13 回(平成31年度号)	原田 久富美(昭62)	岩切 博(昭46)
第 14 回(令和2年度号)	後呂 忠詳(昭63) ※未掲載	大橋 進(昭46) ※未掲載
第 15 回(令和3年度号)	↓	↓
第 16 回(令和4年度号)	↓	↓
第 17 回(令和5年度号)	↓	↓

愛されるチームとは

島津 大地・令2

須波先輩よりご指名を賜りました、令和2年卒業の島津です。皆さま、いつもお世話になり、ありがとうございます。簡単に現役から現在を振り返ったあとに、最近、現役と関わりを持つ中で私の考えていることを綴ります。

私は、広島の中学校で水球を始め、大学でも水球を続けようと考えていました。高校3年生の夏、入試説明会に参加するために神戸大学にきました。その日は、水球面の練習をしていたので、メールを送り、練習に参加しました(六甲台プールは緑色になっており、発達プールでスイムとフットワークの練習でした)。練習後、先輩方に入試説明会が開催される百年記念館まで送ってもらい、写真を撮りました。その写真は今でもすぐに思い浮かぶほど、印象に残っています。その説明会後は、大阪へ帰路についていた先輩にわざわざ神戸に戻ってきてもらい、カフェでお話もしました。そのころの水球面は部員も足りず水球面だけではチームが組めませんでした。半日一緒に過ごただけで水球面の雰囲気は惹かれました。それを機に、神戸大学を目指し、塾の帰り道に更新されるブログを読みながら、受験勉強に励みました。しかし、努力は足りず、前期・後期試験ともに神大への入試は落ち、同志社大学に行くことになりました。大学では水球を続けられないと思っていましたが、当時の水球面では他大学でも受け入れ可能とのことでした。入部しました。入部後の正式新歓で競泳面のOGの先輩に編入試験という存在を教えてください、編入試験を受けることを決意しました。無事、その編入試験には合格し、3年生からは正式な部員として公式戦にも出場することができました。その年には、一部昇格(須波先輩のエッセイをお読みください)をしました。私は、大学院(修士課程)に進

学したため、その2年間は監督としても水球面に関わり、インカレの監督としてベンチに座ることができました。現在は、大学院を卒業してから2年が経ちましたが、審判員・学連の事務局員・県水泳連盟として、水泳・水球に関わり続けているため、現役とも近い関係を持つことができます。

そんな8年間で過ごして、私が最近考えていることは「愛されるチームとはどんなチームか」ということです。現役の皆さんは、神戸大学体育会水泳部が「愛されるチーム」になるために何か意識して行動しているのでしょうか。「愛されるチーム」というと抽象的ですが、簡単に言うと応援されるチームということです。この「愛されるチーム」ということを考える上では、誰からという視点から考えるのが分かりやすいのではないのでしょうか。OB・OG、他の大学水泳部、神戸大学、友人、家族、地域の人からなど、様々な人や団体があります。例えば、練習後によく行っている定食屋の店員さんから大会前日に「大会がんばってね」と声かけられるという日常の中でも「愛されているな」と感じることができます。しかし、もし食事中に周りに迷惑になるような大声で会話をしていたら、そんな言葉はかけてもらえないはずです。

「愛されるチーム」になるために、これまでの先輩方も考えて行動してきています。それが伝統や言い伝えとなり、組織の習慣となっているものもありました。しかし、2020年2月ころから猛威を奮った新型コロナウイルスによって、伝承できていないことがあるのではないかと危惧しています。もちろん、惰性で続けていた必要のない伝統もあると思うので、このタイミングで見直す必要はあるはずです。しかし、伝統が何十年と続いていたということは、必要なことであるから続いているということもあります。これからアフターコロナの水泳

部を築いていく幹部の皆さんには、行事などを表面上だけで考えるのではなく、なぜそれをする必要があるのかを考え、部員に伝えてほしいです。

ただ幹部以外の部員の人でも、「愛されるチーム」になるためにできることは大小様々とあるはず。今のチームを外からみるということも一つのヒントになるかもしれません。大学の体育会の会議に積極的に関わってみたり、学連に入ったり、水泳部の先輩たちと話したりすることでも気づくことはあると思います。小さなところでは、いつもの言葉にひとことプラスしたり、ブログを少し意識したり

するだけで、「愛されるチーム」に近づくこともあると思います。現役の皆さんには「愛されるチーム」になるために、明日から少しでも意識をして行動をしてもらえると嬉しいです。

拙い文章でしたが、最後まで読んでくださった方、ありがとうございました。次のリレーエッセイは、私が学連でお世話になっている須関先輩と、水球面の後輩マネージャーである小林さんに繋がります。最後に、100年以上続く、神戸大学体育会水泳部のさらなる発展を祈念しています

前年度レビュー			
テーマ	競泳面の目標		責任者
目標	男子: 全国国公立3位、関西国公立優勝、全員生涯ベスト更新 女子: 関カレ全種目ベスト率 100%		松島優太

実施計画		実際の実施内容	
9月	長期 OFF, 新体制スタート	9月	長期 OFF, 新体制スタート
10月	日本短水路選手権 基礎力養成期, フォーム固め	10月	日本短水路選手権 基礎力養成期, フォーム固め, Swim Camp
11月	セントラル移行, ウェイト開始 量的ハード期, フォーム固め	11月	セントラル移行, ウェイト開始 量的ハード期, フォーム固め
12月	ジャパンオープン 関西学生冬季公認記録会 質的ハード期, テーパー期, 年末強化期間	12月	ジャパンオープン 関西学生冬季公認記録会 質的ハード期, テーパー期, チーム練, 年末強化期間
1月	和歌山県短水路, 兵庫県短水路, 京都短水路(いずれも任意) 基礎持久力期, 量的ハード期	1月	兵庫県短水路(任意) 基礎持久力期, 量的ハード期 チーム練
2月	わかやまオープン, 兵庫県冬季公式(いずれも任意) 量的ハード期	2月	量的ハード期, チーム練
3月	関西学生春季室内選手権 強化合宿(秋葉山) 強化期間	3月	関西学生春季室内選手権 阪大合宿(任意) 強化合宿(秋葉山) 強化期間
4月	関西学生春季短水路選手権 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期	4月	日本選手権 関西学生春季短水路選手権 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期
5月	関西学生夏季公認記録会 GW 強化期間, 質的ハード期, テーパー期	5月	関西学生夏季公認記録会 GW 強化期間, 質的ハード期, テーパー期, Swim Camp
6月	関西学生チャンピオンシップ 質的ハード期, テーパー期	6月	大阪府選手権(任意) 関西学生チャンピオンシップ 質的ハード期, テーパー期
7月	関西国公立大学選手権 関西学生選手権	7月	三重県選手権(任意) 関西国公立大学選手権 関西学生選手権
8月	全国国公立大学選手権 夏季長水路	8月	全国国公立大学選手権 夏季長水路

8月	日本学生選手権	9月	日本学生選手権
9月			
目標の達成 結果(成果)	男子:関西国公立2位, 関西学生3部 1位, 全国国公立 7位 女子:関西国公立2位, 関西学生2部 5位, 全国国公立 8位		
実施しての感想 (発見・反省)	<p><良かった点>他大学と盛んに交流することができた点。コロナ禍で希薄になってしまったつながりをこちらから積極的に呼びかけ関わることで、他大学と広く深い関係を築くことができた。GWの強化期間には全国10大学以上のスイマーと海事で合同練習を行い、ライバル達と切磋琢磨することで普段の練習では味わえない刺激、練習強度を体感することができた。このつながりを一度きりではなく、さらに広げていってほしい。</p> <p><悪かった点>テーパ期メニューが合わず、うまく試合で力を発揮できなかった選手がいた点。部員それぞれ試合前の調整方法は異なっていて、画一的なメニューでは実力を最大限引き出すことはできないということに気づくのに遅れてしまった。気づいてからは調整方法についてヒアリングを行い、数種類のメニューを用意して対応した。今後は普段から練習に対しての考え・意見を聞き、また、意見交換しやすい環境をつくることを心がけたい。後輩たちの活躍を願っている。</p>		
今後の課題	身体作り・本番で実力以上のパフォーマンスを発揮する		

前年度レビュー			
テーマ	チームの連携を高める		責任者 新保 空
	インカレ出場(一部2位以上)		
	実施計画	実際の実施内容	
冬～ 春季	<p>・個人の能力を引き上げ、全員が勝負できるチームになる。</p> <p>・実戦練習の直後にミーティングを開き、映像を確認・修正といったサイクルを繰り返すことでわからないことを共有し、なくすようにする。また、月1回の定例ミーティングではテーマを決めて、担当者1人が講義をするという形で選手、マネージャー全員が知識をつけ、実戦に活かす。</p> <p>泳力強化。陸上のトレーニングでは、腹筋、体幹トレーニングなどの補強に加え、主に筋肥大のトレーニングを行うことで、他大学との体格差を埋める。外部プールの練習では本番の試合を想定し、様々な戦術を試す。</p>	冬季	<p>昨年同様実施すると共に、外部での他チームとの練習量を大幅に増やすことで、冬でも水球ができる環境を確保した。また、週1回程度の頻度でミーティングを開き、練習や試合の映像を確認しながら経験者から初心者へアドバイスをすることで技量の差を埋める時間を設け、チームの戦力アップをおこなった。</p> <p>対面、SNS両方での新歓活動を積極的におこない選手4名、マネージャー2名の計6名の新入生を獲得することができた。うち経験者2名が入部し、チームの即戦力として活躍し、全体のレベルアップにつながった。</p>
夏季	<p>新歓では、経験者初心者問わず、多くの新入部員を獲得し、チームの存続に努める。</p> <p>海事プールの練習では、1vs1や競り合いをすることで個々の能力の底上げを行う。</p> <p>六甲台の練習では、フルコートでの練習に重点を置いた。</p>	春季	<p>また、海事での練習に加え、尼崎北高校での合宿に参加し、実践感覚を身につけることを意識した。</p>
		夏季	<p>六甲台で試合の中の様々な状況を想定したメニューを実施した。</p> <p>数多くの試合に出場し、学生リーグに向けて個人、チームの両方の課題を認識し改善に取り組み繰り返すをおこなった。</p>
目標の達成結果(成果)	1部4位インカレ出場できず(目標達成ならず)		
実施しての感想(発見・反省)	<p><良かった点></p> <p>学生リーグまで、他チームとの練習や試合を通して見つけた課題を自分達の練習で改善し、再び他チームとの試合で試すことの繰り返しを何度も重ねることで、強いチームを作ることができた。後輩たちには、この経験を活かしてさらに強くなることを願っている。</p> <p><悪かった点></p> <p>単純に練習量、ミーティングの回数を増やすだけでは、モチベーションの低下を招いてしまうことも考慮すべきであった。</p>		
今後の課題	部員獲得、戦力強化		

前年度レビュー			
テーマ	競泳 or 水球 面の目標		責任者 野崎智仁
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの状況が改善されたため、以前のように行事等を通常開催すること。 ・凌泳会 100 周年記念大会の盛会。 		
実施計画		実際の実施内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・行事等について 昨年度はコロナウイルスにより、凌泳総会はオンラインでの開催となり、月見の宴などの多くの行事が開催できなかった。今年度は月見の宴の代替として 100 周年記念大会が実施予定である。コロナウイルスの規制が完全に撤廃された今だからこそ、従来の行事を対面で開催し、OBOG の方々と現役部員とが交流できる機会を増やすことができるよう努める。 ・100 周年記念大会について コロナウイルスにより延期されていた 100 周年記念大会を実施し、OBOG の方々には、かつての同期や先輩後輩と顔を合わせ、当時の思い出等を語りあう機会にしていきたい。そして、現役部員には、再度神戸大学水泳部の歴史に目を向け、その一員であることを考える機会にしていく。 ・その他業務について 合宿や他大学との合同練習などの制限が完全に撤廃され、昨年度と比べると可能な活動の幅が広がった。他大学との合同練習をしながら、大学水泳ならではの他大学との交流を進めていきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・行事等について 凌泳総会についてはオンラインと対面のハイブリッドでの開催となった。対面で開催された OBOG の方々は総会に参加するだけでなく、海事プールも訪問され、現在の水泳部の活動を見ることができた。 また、市大戦改め大阪公立大戦を開催することができた。両大学の OBOG の方々も交流戦に拝見され、コンパでは現役部員との交流も行うことができた。 ・100 周年記念大会について 令和 5 年 9 月 17 日に六甲出光講堂にて 100 周年記念大会を開催し、映像やパネルディスカッションを交えながら思い出に浸ることができた。大会後は六甲台食堂さくらにてコンパを開催し、年代問わず OBOG の方々と現役部員が交流し、改めて歴史の長さを実感することができた。 ・その他業務について 自大学の合宿や練習だけでなく、他大学の練習にも参加し、他大学との交流だけでなく各々の競技力の向上のサポートを行うことができた。GW では関西の大学だけでなく普段関わることの少ない関西以外の大学も勧誘し、海事プールにて多くの他大学と合同練習することができた。 	
目標の達成結果(成果)	概ね達成できた。		
実施しての感想(発見・反省)	<p><良かった点> 昨年度までオンラインで開催していた行事を対面で再開するきっかけを作れたこと。</p> <p><悪かった点> 対面開催できる行事の参加を効率よく促すことができなかったこと。</p>		
今後の課題	大会などの現役部員の活動内容を OBOG の方々に発信する方法の模索。		

目標設定と実施計画			
テーマ	競泳面 目標	責任者	森本恭輔
目標	男子: 関西国公立優勝、関カレ2部残留 女子: 関西国公立優勝、関カレ1部昇格、全員ベスト		
実施計画			
2022 年 9 月 長期 OFF, 新体制スタート 10 月 基礎力養成期, フォーム固め 11 月 トライアックス移行, ウェイト開始 量的ハード期, フォーム固め 12 月 ジャパンオープン, 関西学生冬季公認記録会 質的ハード期, テーパー期, 年末強化期間 2023 年 1 月 兵庫県短水路, (任意) 基礎力養成期, 量的ハード期 2 月 わかやまオープン, 兵庫県冬季公式(いずれも任意) 量的ハード期 3 月 関西学生春季室内選手権, 強化合宿(鈴鹿) 強化期間、セントラル移行 4 月 関西学生春季短水路選手権, 海事プール移行 質的ハード期, テーパー期 5 月 関西学生チャンピオンシップ GW 強化期間, 質的ハード期, テーパー期 6 月 関西学生夏季公認記録会、関西国公立大学選手権 質的ハード期, テーパー期 7 月 質的ハード期 8 月 関西学生選手権、全国国公立大学選手権, 夏季長水路 9 月 日本学生選手権			

目標設定と実施計画			
テーマ	水球面 目標	責任者	牛尾 帆花
目標	一部残留		
実施計画			
<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力を引き上げ、全員が勝負できるチームになる。 ・試合後にミーティングを開き、映像を確認することで、課題を発見し、修正するといったサイクルを繰り返す。 ・遠征や練習試合を多く行うことを計画している。 <p>〈冬期〉</p> <p>トライアクシスの朝練では、水球に生きる練習メニューを採用し、基礎泳力を養う。陸上のトレーニングでは、腹筋、体幹トレーニングなどの補強に加え、主に筋肥大のトレーニングを行うことで、他大学との体格差を埋める。外部プールの練習では本番の試合を想定し、様々な戦術を試す。</p> <p>〈春期〉</p> <p>新歓では、実際に水球を体験して面白さを知ってもらい、経験者初心者問わず、多くの新入部員を獲得し、チームの存続に努める。</p> <p>新生に基本的なルールやフットワークなど、基礎を教える。</p> <p>学生リーグに向けて試合経験を積み、チームの完成度を高めていく。</p> <p>〈夏期〉</p> <p>基礎力向上に努める。1対1などの個人技術を高めるとともに、接戦のケースなど、試合のそれぞれの場面を意識した練習を取り入れ、チームの連携力の向上を狙う。また、積極的に他大学との練習を組み、試合の感覚を常に持ち続ける。</p> <p>〈秋期〉</p> <p>基礎的な体力、技術の向上を狙う。</p> <p>積極的に大会に参加することでライバル校の実力を把握すると共に新チームとしての戦い方を模索し、弱点を克服する。</p>			

目標設定と実施計画			
テーマ	コロナ前のものに可能な限り戻す	責任者	千須和佑飛
目標	部の幹部としての自覚を持ち、様々な仕事を遂行する。		
実施計画			
<p>・行事等について 昨年度途中からコロナによる学校の制限がなくなったので、今年度の行事からはコロナ前のものに徐々に戻していきたい。大阪公立大戦、三商大戦は、今年は神戸大が主幹なので、その準備も進める。毎年行われている総会、発送についても準備を進め、また、月見の宴も今年は開催すると考えられるので、引き続き準備を進める。</p> <p>・現役サポートについて 必要次第で学生支援課に申請をする。仕事量が膨大なものになっているため、引き続き副務との連携を図り続ける。</p> <p>・その他業務について プール使用料の高騰により資金繰りが苦しいので、現役の予算に制限を設けた。 また、100周年記念大会でいただいた支援金で何か記念物品を買うにあたっての場所の整備を進める。 任期中に行った仕事はまとめ、後任の現副務にスムーズに引き継ぐ。</p>			

歴代10傑

平成20年号から、神戸商船大学と神戸大学の歴代10傑を統合しました。

神戸商船大学歴代10傑は『凌泳』平成18年度号・平成19年度号に掲載されております。ご了承ください。

なお、統合に際しましては注意をはらっておりますが、間違い等のご指摘がございましたら、ご連絡ください。

【男子】*印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです。

50m自由形

1	倉田和俊	H31	23"83(L)
2	中路尋貴	H26	24"12(L)
3	PavanMattia	H31	24"16(L)
4	中田晃輔	R3	24"18(L)
5	村尾知紀	R4	24"33(L)
6	三宅翔	R4	24"41(L)
7	佐伯義樹	H29	24"59(L)
8	瀬下幸成	H30	24"66(L)
9	門隆一	R3	24"72(L)
10	森圭祐	H30	24"76(L)

6	安倍健登	H25	1'57"45(L)
7	西田和也	H31	1'58"24(L)
8	楠原達樹	H27	1'58"81(L)
9	段野光宏	H21	1'59"22(L)
10	平川 翔	H25	1'59'71(L)

100m自由形

1	松島優太	R3	52"01(L)
2	倉田和俊	H30	52"59(L)
3	中路尋貴	H27	52"79(L)
4	井出健太	H24	52"99(L)
5	中田晃輔	R3	53"33(L)
6	村尾知紀	R4	53"56(L)
7	縄田大翔	R4	53"71(L)
8	PavanMattia	H31	53"74(L)
9	橋本竜馬	H29	53"98(L)
10	矢野尊彦	H24	54"00(L)

400m自由形

1	楠原達樹	H27	4'06"26(L)
2	安倍健登	H24	4'10"24(L)
3	矢野尊彦	H25	4'13"24(L)
4	橋本竜馬	H28	4'15"00(L)
5	恵田寧人	H31	4'18"37(L)
6	橋本昌昂	H27	4'18"46(L)
7	山田凌平	H28	4'18"51(L)
8	阪本清一郎	H24	4'18"65(L)
9	玉川智嗣	H27	4'18"79(L)
10	段野光宏	H21	4'19"11(L)

200m自由形

1	松島優太	R3	1'53"91(L)
2	縄田大翔	R5	1'54"87(L)
3	今出 健太	H26	1'55"65(L)
4	矢野尊彦	H25	1'56"92(L)
5	橋本竜馬	H29	1'57"23(L)

800m自由形

1	高見維吹	H30	8'54"18(L)
2	土方了輝	H19	9'12"06(L)
3	榎尾 晋	H18	9'29"05(L)
4	福岡達信	H8	9'29"12(L)
5	宮岡孝和	H14	9'29"43(L)
6	*松本照生	H1	9'30"01(L)
7	古谷拓裕	S63	9'36"80(L)
8	高橋克哉	H13	9'43"43(L)
9	山田 篤	H7	9'44"40(L)
10	藤本博之	H3	9'45"90(L)

200m蝶泳

1	松島優太	R3	2'02"30(L)
2	西田和也	H31	2'04"46(L)
3	玉川智嗣	H24	2'06"09(L)
4	魚住周平	H29	2'09"33(L)
5	前野陸人	R3	2'09"55(L)
6	小齋一彰	H17	2'10"65(L)
7	太田浩紀	R4	2'10"82(L)
8	榎尾 晋	H20	2'13"42(L)
9	加藤亮二	H19	2'14"78(L)
10	小南裕明	H5	2'14"84(L)

1500m自由形

1	楠原達樹	H27	15'54"26(L)
2	高見維吹	H30	16'55"69(L)
3	橋本昌昂	H28	16'57"64(L)
4	南谷泰志	R5	17'12"86(L)
5	安倍健登	H23	17'23"77(L)
6	矢野尊彦	H22	17'31"54(L)
7	玉川智嗣	H26	17'32"24(L)
8	宮岡孝和	H15	17'40"70(L)
9	田中 光	H25	17'43"60(L)
10	福岡達信	H9	17'49"01(L)

100m背泳

1	森 圭祐	H30	58'00(L)
2	櫻田侑佑	H23	58"40(L)
3	田中 光	H27	58"69(L)
4	縄田大翔	R4	59"03(L)
5	大海陸人	R3	1'00"12(L)
6	森本恭輔	R5	1'01"20(L)
7	平川 翔	H25	1'00"52(L)
8	志賀寛和	R3	1'01"35(L)
9	西田憲史	H11	1'01"90(L)
10	北御門祥平	H24	1'02"61(L)

100m蝶泳

1	松島優太	R3	53"54(L)
2	西田和也	R2	56"12(L)
3	玉川智嗣	H26	56"90(L)
4	太田浩紀	R5	57"83(L)
5	前野陸人	R5	57"96(L)
6	魚住周平	H30	58"11(L)
7	安倍健登	H27	59"16(L)
8	田中 光	H27	59"27(L)
9	山本征明	R5	59"33(L)
10	加藤亮二	H19	59"92(L)

200m背泳

1	櫻田侑佑	H23	2'06"58(L)
2	田中 光	H27	2'06"85(L)
3	大海陸人	R3	2'11"35(L)
4	森 圭祐	H30	2'11"37(L)
5	西田憲史	H11	2'12"86(L)
6	平川 翔	H25	2'12"94(L)
7	森本恭輔	R5	2'13"42(L)
8	北御門祥平	H24	2'15"03(L)
9	櫻田侑佑	H20	2'16"72(L)
10	井阪嘉伸	H27	2'18"97(L)

100m平泳

1	峯浦 楽	R3	1'03"97(L)
2	山田凌平	H29	1'04"71(L)
3	北野 怜	H26	1'05"43(L)
4	清川翔紀	R3	1'06"24(L)
5	三宅翔	R3	1'06"79(L)
6	遠藤力人	R5	1'06"95(L)
7	今瀬将太	H26	1'07"16(L)
8	平松亮祐	H31	1'07"46(L)
9	林 佑樹	H24	1'07"90(L)
10	後藤駿介	H23	1'08"46(L)

200m平泳

1	峯浦 楽	R3	2'17"95(L)
2	山田凌平	H30	2'19"59(L)
3	北野 怜	H26	2'22"26(L)
4	清川翔紀	R4	2'25"23(L)
5	後藤駿介	H23	2'27"82(L)
6	遠藤力人	R5	2'27"82(L)
7	佐藤健太	H27	2'28"09(L)
8	林 佑樹	H24	2'28"85(L)
9	今瀬将太	H25	2'29"14(L)
10	藤尾幸平	H11	2'30"37(L)

200m個人メドレー

1	山田凌平	H30	2'09"13(L)
2	縄田大翔	R4	2'12"67(L)
3	小齋一彰	H17	2'12"78(L)
4	櫻田侑佑	H23	2'12"91(L)
5	高見維吹	H30	2'13"67(L)
6	安倍健登	H25	2'13"75(L)
7	太田浩紀	R4	2'13"96(L)
8	南谷泰志	R5	2'14"40(L)
9	矢野尊彦	H24	2'14"85(L)
10	橋本竜馬	H27	2'15"56(L)

400m個人メドレー

1	小齋一彰	H17	4'43"25(L)
2	山田凌平	H30	4'44"76(L)

3	高見維吹	H29	4'44"92(L)
4	楠原達樹	H26	4'46"71(L)
5	櫻田侑佑	H21	4'50"16(L)
6	南谷泰志	R5	4'51"53(L)
7	安倍健登	H27	4'51"83(L)
8	田中 光	H24	4'53"38(L)
9	玉川智嗣	H27	4'53"79(L)
10	橋本竜馬	H27	4'53"89(L)

400mリレー

1	中田・門 村尾・松島	R3	3'32"13(L)
2	松島・徳山・ 縄田・村尾	R4	3'32"56(L)
3	松島・南谷・ 徳山・縄田	R5	3'32"71(L)
4	松島・縄田・ 三宅・村尾	R4	3'32"96(L)
5	松島・徳山・ 村尾・縄田	R5	3'33"27(L)

800mリレー

1	矢野・楠原 安倍・井出	H24	7'49"93(L)
2	安倍・楠原 平川・矢野	H25	7'51"55(L)
3	井出・安倍 阪本・矢野	H24	7'52"44(L)
4	矢野・平川 玉川・安倍	H25	7'54"19(L)
5	安倍・田中 玉川・楠原	H27	7'54"61(L)

400mメドレーリレー

1	大海・峯浦 松島・中田	R3	3'49"43(L)
2	大海・峯浦 松島・門	R3	3'51"18(L)

3	森・山田 西田・倉田	H30	3'51"82(L)
4	森本・清川・ 松島・縄田	R5	3'53"14(L)
5	縄田・清川 松島・村尾	R4	3'53"19(L)

【女子】 従来5傑までの掲載でしたが、平成20年度以降ランクイン分は、10 傑まで掲載します

50m自由形

1	石田絢子	R4	27"22(L)
2	中山尚美	H27	27"42(L)
3	見浪早紀	H30	27"79(L)
4	北岡さくら	R4	27"97(L)
5	越智涼夏	R5	28"04(L)
6	井ノ本宙	H25	28"37(L)
7	田中理恵	H 8	28"54(L)
8	砂留沙季子	H18	28"65(L)
9	片山南瀬	H28	28"85(L)
10	清水恵那	R5	28"98(L)

4	片山南瀬	H28	10'13"03(L)
5	中川優花	H30	10'21"38(L)
6	大橋愛子	H31	11'12"59(L)
7	増田夢菜	H31	12'31"99(L)

200m自由形

1	石田絢子	R3	2'09"3(L)
2	北岡さくら	R4	2'11"67(L)
3	片山南瀬	H27	2'14"93(L)
4	田中理恵	H10	2'16"82(L)
5	越智涼夏	R5	2'17"17(L)
6	中川優花	H31	2'18"93(L)
7	見浪早紀	H28	2'19"95(L)
8	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
9	河原あや	H15	2'23"42(L)
10	諸岡 舞	H24	2'24"39(L)

100m自由形

1	中山尚美	H28	59"80(L)
2	石田絢子	R4	59"86(L)
3	北岡さくら	R4	1'00"25(L)
4	井ノ本宙	H27	1'00"51(L)
5	越智涼夏	R5	1'00"82(L)
6	見浪早紀	H30	1'00"88(L)
7	砂留沙季子	H18	1'01"69(L)
8	田中理恵	H 8	1'02"18(L)
9	片山南瀬	H27	1'02"55(L)
10	五十嵐野恵	H30	1'02"78(L)

400m自由形

1	石田絢子	H31	4'39"38(L)
2	見浪早紀	H31	4'47"12(L)
3	井ノ本宙	H27	4'47"51(L)
4	片山南瀬	H27	4'50"08(L)
5	五十嵐野恵	H31	4'53"15(L)
6	田中理恵	H10	4'57"16(L)
7	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
8	中川優花	H30	5'03"27(L)
9	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
10	河原あや	H16	5'07"46(L)

800m自由形

1	見浪早紀	H30	9'38"48(L)
2	石田絢子	H31	9'50"28(L)
3	五十嵐野恵	H30	10'01"19(L)

100m背泳

1	見浪早紀	H30	1'06"21(L)
2	清水恵那	R5	1'09"48(L)
3	難波みどり	H24	1'09"67(L)
4	中山尚美	H27	1'10"35(L)
5	井ノ本宙	H27	1'11"11(L)
6	片山南瀬	H27	1'11"12(L)
7	石田絢子	R4	1'11"12(L)
8	千住響子	R5	1'11"44(L)
9	中川優花	H30	1'11"58
10	五十嵐野恵	R3	1'11"90(L)

200m背泳

1	見浪早紀	H30	2'27"10(L)
2	五十嵐野恵	R3	2'31"51(L)
3	清水恵那	R5	2'32"08(L)
4	片山南瀬	H28	2'34"25(L)
5	難波みどり	H24	2'35"07(L)
6	中川優花	H29	2'35"68(L)
7	田中理恵	H10	2'36"51(L)
8	下奥鈴佳	H31	2'39"73(L)
9	渡辺祥子	H23	2'41"69(L)
10	中山美穂	H12	2'43"11(L)

100m蝶泳

1	見浪早紀	H30	1'04"47(L)
2	北岡さくら	R5	1'04"60(L)
3	西原萌笑	H30	1'07"50(L)
4	寺井美穂子	H4	1'08"02(L)
5	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
6	村山依子	H8	1'09"69(L)
7	越智涼夏	R5	1'11"03(L)
8	坂東美枝	S57	1'14"30(L)
9	横野恵理香	H14	1'16"71(L)
10	松田美加	H25	1'21"08(L)

200m蝶泳

1	見浪早紀	H31	2'26"31(L)
2	村山依子	H8	2'30"67(L)
3	寺井美穂子	H3	2'33"05(L)
4	西原萌笑	H30	2'34"73(L)
5	坂東美枝	S57	2'44"77(L)
6	諸岡 舞	H24	2'54"54(L)
7	横野恵理香	H14	2'57"86(L)
8	松田美加	H26	2'58"97(L)
9	川上景子	S60	3'00"02(L)
10	南谷夏未	H24	3'21"45(L)

100m平泳

1	井ノ本宙	H28	1'12"68(L)
2	立道愛和	R5	1'13"07(L)
3	千住響子	R3	1'18"51(L)
4	山本奈穂	H8	1'21"19(L)
5	鳥山比呂子	H27	1'21"65(L)
6	佐藤 文	H24	1'22"54(L)
7	白井景子	H21	1'25"40(L)
8	大橋愛子	R3	1'25"61(L)
9	番場順子	H8	1'26"70(L)
10	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)

200m平泳

1	井ノ本宙	H28	2'35"46(L)
2	立道愛和	R5	2'35"68(L)
3	千住響子	R4	2'47"48(L)
4	佐藤 文	H24	2'58"43(L)
5	山本奈穂	H9	2'59"59(L)
6	鳥山比呂子	H27	3'01"51(L)
7	清水めぐみ	H13	3'01"97(L)
8	番場順子	H8	3'02"17(L)
9	白井景子	H21	3'03"36(L)
10	西原萌笑	H30	3'03"67(L)

200m個人メドレー

1	井ノ本宙	H2 7	2'24"31(L)
2	五十嵐野恵	R3	2'29"58(L)
3	千住響子	R5	2'31"53(L)
4	立道愛和	R5	2'32"27(L)
5	中山尚美	H2 7	2'33"79(L)
6	田中理恵	H1 0	2'34"05(L)
7	中川優花	H2 9	2'36"89(L)
8	西原萌笑	H2 8	2'41"08(L)
9	加島宏子	H8	2'41"73(L)
1 0	寺井美穂子	H3	2'43"40(L)

200mリレー

1	中山・片山 見浪・井ノ本	H28	1'51"15(L)
2	中山・片山 西原・井ノ本	H27	1'52"05(L)
3	見浪・中川 片山・中山	H30	1'52"19(L)
4	石田・北岡	R4	1'53"22(L)

400mリレー

1	五十嵐・片山 見浪・中山	H30	4'04"86(L)
2	中山・片山 見浪・井ノ本	H28	4'06"66(L)
3	石田・中川 五十嵐・見浪	H31	4'09"51(L)
4	五十嵐・中川 見浪・中山	H30	4'09"70(L)
5	越智・北岡 立道・千住	R4	4'10"07(L)

	千住・増田		
5	越智・北岡 立道・千住	R5	1'53"68(L)

400m個人メドレー

1	五十嵐野恵	H31	5'23"43(L)
2	田中理恵	H10	5'32"51(L)
3	西原萌笑	H30	5'43"67(L)
4	加島宏子	H8	5'48"97(L)
5	諸岡 舞	H24	5'50"66(L)
6	川上景子	S62	5'53"00(L)
7	井美穂子	H3	5'54"07(L)
8	番場順子	H7	5'55"99(L)
9	渡辺祥子	H23	6'03"57(L)
1 0	大橋愛子	H31	6'43"99(L)

400mメドレーリレー

1	千住・立道 北岡・越智	R5	4'29"29(L)
2	見浪・井ノ本 西原・中山	H28	4'29"80(L)
3	片山・井ノ本 西原・中山	H27	4'32"36(L)
4	見浪・五十西 原・中山	H30	4'34"81(L)
5	中川・五十嵐 見浪・石田	H31	4'39"72(L)

水球歴代戦績

平成20年度号から、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

(注)・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載を基に、昭和63年度以降を抜粋したものです。

・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。

・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。

・平成22年度以降は関西学生水球春季リーグがなくなったため、得点の集計の対象は関西学生水球選手権の試合のみとしています。

	関西学生 水球リーグ戦	関西学生 水球リーJr 戦	日本学生選手権	チーム得点王
昭和 63 年度	2 位	2 位	初戦敗退 vs 専修大	林 均 20 点
平成元年度	5 位	4 位	—	西島 淳一 21 点
平成 2 年度	2 位	2 位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44 点
平成 3 年度	2 位	優勝	初戦敗退 vs 日体大	木村 一也 54 点
平成 4 年度	不明	不明	不明	不明
平成 5 年度	優勝	5 位	初戦敗退 vs 中央大	木村 一也 43 点

	関西学生 水球リーグ戦	関西学生 水球秋季戦	日本学生選手権	チーム得点王
平成 6 年度	1 部 6 位	8 位	—	大場 理世 13 点
平成 7 年度	2 部優勝	6 位	—	井村 大智 33 点
平成 8 年度	2 部優勝	2 回戦敗退	—	塚本 善隆 59 点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生選手権	チーム得点王
平成9年度	3位	3位	ベスト16 vs 鹿児島経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58点
平成10年度	3位	2位	初戦敗退 vs 中央大	塚本 善隆 37点
平成11年度	1部2位	1部2位	初戦敗退 vs 早稲田	塚本 善隆 37点
平成12年度	1部5位	2部優勝	—	中島 太平 54点
平成13年度	4位	5位	—	中井 秀昭 28点
平成14年度	5位	7位	—	中井 秀昭 28点
平成15年度	2部優勝	6位	—	篠原 康彦 40点
平成16年度	不明	4位	—	井口 靖之 29点
平成17年度	3位	3位	初戦敗退 vs 成蹊大	井口 靖之 31点
平成18年度	2位	2位	ベスト16 vs 大阪大学 vs 立命館	井口 靖之 39点
平成19年度	5位	5位	—	畠山 秀一 20点
平成20年度	6位	7位	—	西澤 翔 22点
平成21年度	8位	8位	—	山崎 友 18点

	関西学生選手権	日本学生選手権	チーム得点王
平成22年度	7位	—	藤丸 晃弘 20点
平成23年度	6位	—	新見 卓也 15点
平成24年度	7位	—	新見 卓也 12点
平成25年度	7位	—	新見 卓也 25点
平成26年度	7位	—	新見 卓也 24点
平成27年度	8位	—	李 将太/河本 昌樹 6点
平成28年度	10位	—	李 将太 21点
平成29年度	10位	—	戀水 修平 34点
平成30年度	5位	—	戀水 修平/ 大杉 玲央 20点
平成31年度	4位	—	島津 大地 40点

令和2年度	4位(関西学生秋季水球競技大会)	1回戦敗退 vs 筑波大	新保 空/ 大杉 玲央 16点
令和3年度	4位	—	大杉 玲央 15点
令和4年度	3位	1回戦敗退 vs 日本体育大学	新保 空 13点

【2023(令和5)年度 凌泳総会 議事録】

令和5年6月

日時:2023(令和5)年5月28日

於:神戸大学深江キャンパス梅木Yホール

1. 黙祷

水泳部並びに凌泳会の発展に寄与された諸先輩方に対し、黙祷を捧げた。

2. 凌泳会会長挨拶

・長谷川会長が欠席のため、酒井副会長より挨拶(以下要約)

対面で会うということはやはり違うものがあると感じています。Zoomでの参加者もおられますが、コロナ禍以前と同様に会場も設定され、そして現役の諸君も今日一緒に一堂に会するということができてというのは非常に嬉しいことと思います。今後も徐々にコロナ禍前のような形で活動ができればと思います。今年は100周年記念行事もありますので、それに向かって現役、OBともに力を合わせていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願い致します。

3. 水泳部長挨拶

・本間部長より挨拶(以下要約)

OBの皆様には大きな援助を毎年して頂いており、誠に感謝しております。対面で総会を行うのは3年ぶりです。コロナの扱いが変わって、以前と変わらない活動ができるようになりました。ぜひ、顔を合わせて支援をして頂けたら幸いです。現役はコロナ禍であっても援助を受けていた中で、どんな援助を受けているか確認し、活動がOBの方々の支援あってこそのものだと再認識するようにしましょう。

4. ご参加いただいたOB・OGの皆様より挨拶

酒井副会長・桑本副会長・上田幹事長・山本様・金監督・谷水様・南谷様・川原田幹事・渡辺様・日比幹事・甲野様・格谷様・諫山会計幹事・濱出様

5. 昨年度(2022年度)活動報告

・酒井副会長より昨年度経過報告

2022(令和4)年度活動報告 資料参照

6. 議事

・第一号議案 審議 資料を参照のこと
決算、監査報告:決算承認

・第二号議案 審議 資料を参照とのこと

凌泳会役員人事案:承認

新任

監事 川原田 貢 様

幹事 日比 勝巳 様

※中国支部長について

木下修一様(昭和 53 年卒)に連絡が付き次第着任していただく予定。

・第三号議案 審議 資料を参照のこと

本年度活動方針案:承認

※過去の凌泳のデジタル化、マスターズの活動もホームページに掲載。

※過去の凌泳誌は制限をつけてデジタル公開予定。

※凌泳会会員名簿のデジタル化について、セキュリティ面については凌泳会 100 周年事業が終わり次第検討予定。

・第四号議案 審議 資料を参照とのこと

本年度予算議案:承認

※資料訂正

<支出の部>月見の宴、対前年実績:-60,000

7. 水泳部 報告

・令和5年度事部自己紹介(主将・主務・競泳主任)

水泳部主将 徳山より挨拶(以下要約)

今年は水泳部競泳面の人数が少ないのですが、メンバーとしてはかなり強いメンバーが揃っており、数で対抗できない分、一人一人強い部分を出して戦っていきたいと思っております。その中で練習も勢いをもって行っておりますので、大学にはもうどなたでも入れるようになっているため、ぜひそういった練習も見に来ていただけたらと思います。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

・令和5年度決算報告 水泳部会計 平野より
令和4年度決算報告、説明:承認(資料を参照のこと)

令和5年度予算案、説明:承認(資料を参照のこと)

※資料訂正

令和5年度予算報告書 <収入の部> 前年度繰越金:¥1,835,773

・令和5年度活動方針 他

競泳男子本年度目標:「関西国公立大学選手権優勝、全国国公立大学選手権3位(シード権獲得)、全員生涯ベスト更新」

競泳女子本年度目標:「関西国公立大学選手権優勝、関西学生選手権全種目ベスト率100%」

水球本年度目標:「インカレ出場」

・令和4年度インカレ競技結果および令和5年度インカレ出場予定者

※資料追加事項

関西学生夏季公認記録会タイムトライアル(5/27)にて

男子400mメドレーリレーで3:42.96を記録。

インカレ標準記録突破、及び歴代1位を更新。

・令和4年度新入部員自己紹介 他

以上
文責:千須和佑飛

第1号議案

2022(令和4)年度 凌泳会決算報告書

2022(令和4).4.1~2023(令和5).3.31

<収入の部>

(単位：円)

科 目	予算額①	実績額②	差額②-①	備 考
会費	1,250,000	1,249,000	-1,000	前年比 -3,000円 (155名) (164名) 新入会員20名/会費納入対象者433名
寄付金	300,000	283,000	-17,000	前年比 -101,000円 (48件)
小計	1,550,000	1,532,000	-18,000	参考：令和3年度 1,636,000
雑収入	10	11	1	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	1,089,899	1,089,899		
合計	2,639,909	2,621,910	-17,999	

【参照】会員総数578名（会費免除者128、夫婦会員17、準会員32）

<支出の部>

總會	60,000	71,197	11,197	總會中止案内
凌泳誌作成発送	300,000	394,099	94,099	凌泳印刷、発送等
月見の宴	60,000	30,000	-30,000	月見の宴中止
会費督促	20,000	18,702	-1,298	督促状作成・発送(12月郵送)
郵便振込手数料負担	20,000	26,347	6,347	支払い手数料等
銀行振替手数料負担	70,000	72,490	2,490	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	1,000,000	982,000	-18,000	7月・年度末に分割して出金。予算実績差額を減算。
その他、事務連絡、雑費	20,000	21,724	1,724	振込手数料、事務連絡通信費、メーリス維持費、交通費等
小計	1,550,000	1,616,559	66,559	
次年度繰越金	1,089,909	1,005,351	-84,558	
合計	2,639,909	2,621,910	-17,999	

※監事による会計監査済みの印

2023(令和5)年4月30日

凌泳会監事 酒井 正人 ㊟

2022(令和4)年度 会費・寄付金 納入結果一覧

昨年も会費・寄付金の納入有難うございました。

本年もよろしくお願ひします。 凌泳会会長 長谷川 健 (昭49)

☆会則11条但し書きによる、会費免除会員(S53年以前卒業)よりいただきました。
金額は全額寄付金として計上いたしました。
2023(令和5)年度は、新たにS54年卒業の方が対象となります。

☆凌泳会会費を超える額につきましては、寄付金として計上いたしました。
☆本年度は納入対象者433名中、164名(納入率37.9%)より、
会費納入いただきました。ありがとうございました。

卒年	ご芳名	銀行	会費	寄付金	合計	R3 会/著	R2 会/著	R1 会/著
特	柳田 泰義			3,000	3,000	-	1	1
昭17	木村 京一郎			0	0	-	-	-
昭18	古川 富貴男※			0	0	-	-	-
昭19	湯山 正三			0	0	-	-	-
昭20	浅野 博嗣			0	0	-	-	-
昭21	山崎 健吉			0	0	-	-	-
昭24	徳園 春※			0	0	-	-	-
昭25	中川 正敏※			0	0	-	-	-
	前原 俊夫			0	0	-	-	-
昭27	石井 義章			0	0	-	1	-
昭28	今枝 一			0	0	-	-	-
昭29	小原 祥男			0	0	-	-	-
	遠山 節朗			0	0	-	-	-
	岡澤 幹夫			0	0	-	-	-
昭30	田河 五郎			0	0	-	-	-
	村田 邦夫			0	0	-	-	-
	橋本 力	9		0	0	1	1	-
昭3	山口 仁郎※			0	0	-	-	-
	前田 弘義			0	0	-	-	-
	岡田 昌三※			0	0	-	-	-
	前田 宗雄			0	0	-	-	-
	下村 健文			0	0	-	-	-
昭33	石本 茂樹			0	0	-	-	-
	細田 忠雄	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	岡見 晴児			0	0	-	-	-
	阿部 雅			0	0	1	-	-
	高橋 靖岡			0	0	-	-	-
昭34	岡村 司			0	0	1	-	-
	栄川 泰介			0	0	-	-	-
	河村 雍彦			0	0	-	-	-
	山本 哲弘			0	0	-	-	-
	前田 修			0	0	-	1	-
昭35	小郷 謙		5,000	5,000	5,000	-	-	-
	原 謙三			0	0	-	-	-
	宇賀 史郎			0	0	-	-	-
	上村 久治			0	0	-	-	-
昭36	酒井 孝栄			0	0	-	1	-
	野田 清志			0	0	1	-	-
昭37	柳本 正雄			0	0	-	-	-
	井上 隆史	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	萩原 武	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	竹元 忠彬			0	0	-	-	-
	岡田 重義			0	0	1	1	-
	高岡 保宏	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	山田 貴彦		5,000	5,000	5,000	1	1	-
	米田 啓祐	0	4,000	4,000	4,000	1	1	-
	染矢 尚武			0	0	-	-	-
	福知 武			0	0	-	-	-
昭38	荒井 康之		8,000	8,000	8,000	1	1	-
	鈴木 剛弘	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	平岡 昭朗			0	0	-	-	-
	窪田 信雄			0	0	-	-	-
	藤岡 治男			0	0	-	-	-
昭39	安茂 弘	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	武政 英幸		8,000	8,000	8,000	1	1	-
	鈴木 正弥	0	8,000	8,000	8,000	1	1	-
	清水 睦夫			0	0	-	-	-
	山本 忠比古			0	0	-	-	-
昭40	滝沢 章三			0	0	-	-	-
	前田 和秀		5,000	5,000	5,000	1	1	-
	石原 純三			0	0	-	-	-
昭41	山口 幸郎			0	0	-	1	-
	真喜志 好一			0	0	-	-	-
	手嶋 忠之		8,000	8,000	8,000	1	1	-
	樋口 周平			0	0	-	-	-
	中畑 勝明			0	0	-	1	-

卒年	ご芳名	銀行	会費	寄付金	合計	R3 会/著	R2 会/著	R1 会/著
昭47	米田 章			0	0	-	-	-
昭48	藤井 元洋			0	0	-	-	-
	岡本 優			0	0	-	-	-
昭49	佐敷 定雄		8,000	8,000	8,000	-	1	1
	長谷川 健		8,000	8,000	8,000	-	1	1
	印南 修三			0	0	-	-	-
	植西 勝			0	0	-	-	1
	正井 康子※			0	0	-	-	-
昭50	瓜生 誠二郎		18,000	18,000	18,000	-	-	-
	藤森 一男			0	0	-	-	-
	小笠原 陽子			0	0	-	-	-
昭51	上田 敏彦※			0	0	-	-	-
	松山 玄彦			0	0	-	-	1
	北川 敏行			0	0	-	1	1
	細谷 明夫※			0	0	-	-	-
	田淵 耕		8,000	8,000	8,000	-	1	1
	野田 淑子			0	0	-	-	-
昭52	丸末 一之		10,000	10,000	10,000	-	1	1
	佐藤 弘之		8,000	8,000	8,000	-	1	1
	小林 正文			0	0	-	-	-
	伊藤 良二			0	0	-	1	1
	浦本 幸二			0	0	-	-	-
	松井 玲子			0	0	-	1	1
	長谷川 美智子			0	0	-	-	-
昭53	平石 康			0	0	1	1	1
	酒井 正人		8,000	8,000	8,000	-	1	1
	塩濱 英二			0	0	-	1	1
	井上 央※			0	0	-	-	-
	阿部 誠次※			0	0	-	-	-
	平野 輝雄			0	0	-	-	-
	木下 修一		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	村田 邦夫			0	0	1	1	1
	大林 良和			0	0	1	1	1
	高木 史子		10,000	10,000	10,000	1	1	1
	梶合 正子		8,000	8,000	8,000	1	1	1
昭54	大野 智恵			0	0	-	-	1
昭55	杉山 和弘		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	鐘谷 彰司	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	藤幸 祐二	0	8,000	10,000	18,000	1	1	1
	土井 祐二		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	紀子			0	0	-	-	-
昭56	桑本 万里	0	8,000	2,000	10,000	1	1	1
	上田 剛弘	9		8,000	8,000	1	1	1
	芝 暢彦		8,000	2,000	10,000	-	1	1
	森島 隆夫			0	0	-	-	-
	土井 和幸		8,000	8,000	8,000	-	-	-
	亀井 尚之			0	0	-	-	-
	山本 隆	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	竹内 啓子※			0	0	-	-	-
昭57	富岡 洋三	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	後藤 芳光	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	白子 靖則		8,000	2,000	10,000	1	1	1
	嶋田 陽子	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
昭58	金 一波	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	太田 雅彦			0	0	-	-	-
	高城 俊介		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	酒井 康司			0	0	1	-	-
	恵			0	0	-	-	-
	田代 正佳			0	0	-	-	-
	長谷川 泰造			0	0	-	-	-
	杉野 馨	0	8,000	8,000	8,000	1	1	1
	美奈			0	0	-	-	-
	田中 俊哉		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	中北 路代			0	0	-	-	-
	武田 温代			0	0	-	-	-
	石本 日和子			0	0	-	1	-
昭59	久保田 勝己		8,000	8,000	8,000	1	1	1
	鈴木 利一			0	0	-	-	-

第1号議案-2

(単位：円)

卒年	ご芳名	寄付金	卒年	ご芳名	寄付金	卒年	ご芳名	寄付金
昭34	岡村 司	10,000	昭57	白子 靖則	10,000	平27	新見 卓也	10,000
昭37	井上 隆史	6,000	昭57	後藤 芳光	5,000	平28	河本 昌樹	10,000
	井上 隆史	10,000	準昭57	藤田 弥門	10,000	平29	李 将大	5,000
昭37	岡田 重義	20,000	昭58	金 一波	10,000	令2	坂田 悠輔	10,000
	岡田 重義	10,000	昭58	田中 俊哉	3,000	令2	井岡 大輔	3,000
昭37	高岡 保宏	10,000	昭59	呉竹 正人	10,000		不明	10,000
昭37	米田 啓祐	5,000		呉竹 正人	5,000		若手OB	7,000
昭38	荒井 康之	5,000	昭60	浦野 敏明	10,000	合 計		637,000
昭38	藤岡 治男	10,000	昭60	山中 えみこ	6,000			
昭39	武政 英幸	3,000		山中 えみこ	10,000			81件
昭39	鈴木 正弥	6,000	昭61	渡辺 久美子	12,000			
	鈴木 正弥	10,000		渡辺 久美子	10,000			
昭40	前田 和秀	5,000	昭62	中川 善雄	6,000			
	前田 和秀	5,000	昭62	原田 久富美	5,000			
昭41	真喜志 好一	5,000	昭62	大島 磨智子	2,000			
昭44	吉江 哲郎	10,000	昭63	中塚 泰弘	10,000			
昭45	玉置 明	10,000	平1	奥村 直樹	3,000			
昭45	以西 吉一	5,000		奥村 直樹	10,000			
	以西 吉一	10,000	平1	守沖 敦	10,000			
昭45	井上 与志男	10,000	平3	格谷 隆	10,000			
昭46	岩切 博	10,000	平6	木村 一也	5,000			
昭49	佐敷 定雄	4,000	平6	上山 敏正	3,000			
	佐敷 定雄	10,000		上山 敏正	5,000			
昭49	長谷川 健	10,000	平8	岡 晶子	2,000			
昭50	瓜生 誠二郎	10,000	平9	諫山 大介	5,000			
昭51	北川 敏行	5,000		諫山 大介	5,000			
昭53	平石 康	10,000	平11	奥野 満	10,000			
昭53	酒井 正人	10,000	平11	成田 康修	10,000			
昭53	大林 良和	20,000	準平11	執行 敦子	6,000			
昭53	高木 史子	10,000	平12	石井 依子	5,000			
昭53	村田 邦夫	5,000	平13	中島 大平	10,000			
	村田 邦夫	5,000	平15	福井 貞夫	5,000			
昭55	慈幸 弘樹	10,000	準平17	中井 真貴子	3,000			
昭55	桑本 万里	10,000	平20	宮崎 仁志	6,000			
	桑本 万里	10,000	平20	松浦 美郁	10,000			
昭56	上田 剛弘	10,000	平21	西澤 翔	5,000			
昭57	嶋田 陽子	6,000	平26	平川 翔	10,000			

第2号議案

2023(令和5)年度 凌泳会役員 (案)

会長	長谷川 健 (昭49経)		
副会長	佐敷 定雄 (昭49農)		
	酒井 正人 (昭53農)		
	桑本 万里 (昭55教)		
監事	川原田 貢 (昭61教)		
幹事長	上田 剛弘 (昭56営)		
幹事	岡村 司 (昭34法)		
	高岡 保宏 (昭37教)		
	金 一波 (昭58経)	現役監督担当	
	呉竹 正人 (昭59法)	凌泳マスターズ担当	
	日比 勝巳 (昭62法)		新規
	羽瀬 智文 (平2法)		
	家門 秀行 (平5理)		
	諫山 大介 (平9発)	会計担当	
	恵美 裕 (平9商船大)		
	西澤 翔 (平21海)	凌泳編集担当	
	林 勇樹 (平25工)	コミュニケーションシステム担当	
	藤田このむ (平30農)		
名誉顧問	石井 義章 (昭27学)		
	野田 浩志 (昭36営)		
顧問	田淵 五郎 (昭30営)		
	酒井 孝栄 (昭36経)		
	得丸 哲士 (昭46農)		
支部幹事			
関東支部長	佐敷 定雄 (昭49農)		
	白子 靖則 (昭57営)		
	徳永 守 (昭63農)		
	成田 康修 (平11営)		
	芝井 隆 (平21農)		
中部支部長	井上 聡 (平4工)		
中国支部長	()		
四国支部長	以西 吉一 (昭45工)		
九州支部長	谷水 利行 (昭59法)		

2023(令和5)年度 活動方針(案)

1. 凌泳会100周年記念事業

(1) 凌泳会100周年記念 第8回全国大会

- 日 時：令和5年9月17日(日) 13:00～17:00
- 場 所：六甲台出光講堂、さくら
- 参加者：130名(OB：80名、現役生：50名)
- 記念品：記念パンフレット、記念Tシャツ
- 参加費：10,000円(記念パンフレット、記念Tシャツを含む。同伴者は6,000円/人)
- 記念Tシャツ：5,000円/着(2着目から3,000円/着)
- 案内文：別紙の通り

(2) 凌泳会100周年記念パンフレット

- 部 数：200部
- 頁 数：約20頁
- 発行時期：全国大会に併せて配布

(3) 凌泳(100周年記念特別号)の発行

- 発行時期：令和6年5月
- 内 容：特別寄稿、100周年記念全国大会の報告 他

(4) 予算

(単位：円)

収 入			支 出				
項 目	単価	数量	金額	項 目	単価	数量	金額
①参加費	10,000	80	800,000	① 第1部		一式	30,000
②凌泳会積立金			200,000	② 第2部		一式	400,000
③Tシャツ売上金	5,000	20	100,000	③ 記念パンフレット	500	200	100,000
④広告料	10,000	10	100,000	④ 記念品「Tシャツ」	2,500	200	500,000
				⑤ HPリニューアル代		一式	50,000
				⑥ 通信費		一式	20,000
				⑦ クリスタル盾	3,000	5	15,000
				⑧ その他			85,000
合 計			1,200,000	合 計			1,200,000

2. 凌泳会のDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進

- 凌泳のデジタル化の導入
- 通信手段のeメール化の強化
- 会員名簿のデジタル化(ホームページにアップ等)の検討

3. 凌泳会ホームページのリニューアル

- 過去の全凌泳会誌(一部落丁あり)の掲載
- 「KUC河童天国 凌泳会マスターズ」を統合

凌泳会のDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進について（案）

	凌泳会のDXの推進	冬場の練習会場
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・凌泳会会則第4条（事業）第2号に基づき、凌泳会の会誌として年1回発行 ・冊数は200冊、経費は309,895円（令和3年度決算、送料込み） ・会員との通信方法は宅急便若しくは郵送（ハガキ・封筒）による 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場の練習会場として「セントラルスポーツ六甲道」をプール清掃を無償で使用する条件で無料で使用できていたが、有料（60万円/年）に変わった。 ・現役部員40名で、一人当たり1.5万円の負担増となる。 ・凌泳会から水泳部への支援金増は財政上困難。（現行：年間100万円支援）
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の凌泳の保存（現在は特定の保存場所はなく、散在状態） ・OBからの寄稿が集まらない ・凌泳は、総会の案内に併せて4月末に発送していたが、水泳のシーズンが終年となり、現役生が3月に原稿の編集・印刷・発送事務に十分な時間が取れず、総会後の発送に変わった。 ・諸物価の上昇に伴う経費負担の増 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディング方式（目標70万円）を検討しているが、いまだ実現には至っていない。
改正案	<ol style="list-style-type: none"> ① 100周年記念事業として、過去の凌泳をすべて「デジタル化」「ホームページに掲載」を契機に、今後の凌泳をデジタル化し、凌泳会のホームページに掲載する。 ② 発送を希望する会員には印刷の上、郵送するが、デジタルで可とする会員には凌泳は発送しない。 ③ 凌泳会の案内手段にeメールを導入し、希望する会員には資料等はメールの添付資料とする。 ④ 凌泳会会員名簿のデジタル化（ホームページへのアップ）を検討する。 ⑤ ①～③により削減された経費を水泳部支援にあてる。 	
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷費・郵送料の軽減 ・凌泳の編集、印刷・発送業務量の軽減 ・発送時期の早期化 	<ul style="list-style-type: none"> ・現役部員の負担の軽減

なお、併せて現役生が若手会員の会費納入（口座振込の勧誘）のお願い活動を行うことで、凌泳会全体の会費収入が増え、さらなる水泳部支援が可能となる。

第4号議案

2023(令和5)年度 凌泳会予算案

2023(令和5).4.1~2024(令和6).3.31

<収入の部>

(単位：円)

科目	予算額	対前年実績	備考
会費	1,250,000	1,000	新入会員16名
	(165名)		会費納入対象者445名
寄付金	300,000	17,000	
小計	1,550,000	18,000	
雑収入	10	-1	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	1,005,351	-84,548	
合計	2,555,361	-66,549	

【参照】会員総数586名（会費免除者123、夫婦会員18、準会員32）

<支出の部>

科目	予算額	対前年実績	備考
総会	60,000	-11,197	連絡用
凌泳誌作成発送	300,000	-94,099	凌泳印刷、発送
月見の宴	0	30,000	月見の宴案内状発送等
会費督促	20,000	1,298	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	20,000	-6,347	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	-2,490	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助※	1,000,000	18,000	6月・年度末に分割して出金
その他、事務連絡、雑費	20,000	-1,724	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費、メーリス維持費、交通費等
小計	1,490,000	-126,559	
次年度繰越金	1,065,361	60,010	
合計	2,555,361	-66,549	

※会費納入目標以上の分は増額し、未達の場合は減額する

・全国大会積立20万円、名簿発行積立費10万円別途あり

令和 4年度 神戸大学体育会水泳部 決算報告書

(R 4.4/1~R5.3/31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	実績額	備考
前年度繰越金		¥2,780,891	¥2,780,891	
現役負担	部費	¥498,000	¥540,000	前期¥6,000*49 後期¥6,000*41
	合宿費	¥1,980,000	¥1,638,848	¥56,512*29人
	施設利用選手負担分	¥498,000	¥990,000	¥24,750*40人
	競泳エントリー選手負担分	¥300,000	¥305,000	
学校助成金	育友会助成金	¥97,000	¥97,000	
	学生活動支援金	¥270,000	¥300,000	
遡泳会	遡泳会現役援助金	¥1,000,000	¥982,000	
雑収入	受け取り利子、行事の部 費振り替え	¥2,000	¥18	
収入合計		¥7,422,891	¥7,633,757	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	実績額	備考
試合出場関係費	日本水泳連盟登録費	¥120,000	¥118,500	
	競泳試合関係費	¥900,000	¥906,204	
	水球試合関係費	¥300,000	¥357,021	
	インカレ補充分	¥0	¥103,705	
合宿費		¥1,980,000	¥1,711,266	
プール使用料		¥1,100,000	¥2,206,475	回数が多かった＝単価が高くなったため
体育会費		¥33,000	¥41,000	¥1,000*41人
新歓費		¥0	¥39,839	
通信費		¥4,000	¥620	
燃料費		¥3,000	¥6,837	六甲台プールのストーブ
交通費		¥5,000	¥255,444	10/22・12/3・4/5 各2人分の交通費＝宿泊費
備品購入費		¥75,000	¥44,461	
消耗品		¥10,000	¥440	
雑費		¥25,000	¥6,172	
全国大会援助金		¥50,000	¥0	
次年度繰越金		¥2,817,891	¥1,835,773	
支出合計		¥7,422,891	¥7,633,757	

※遡泳会監事による監査済みの印

令和 5年 4月 30日

遡泳会監事 酒井正人



令和 5年度 神戸大学体育会水泳部 予算報告書

(R 5.4/1~R6.3/31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	対前年実績	備考	
前年度繰越金		¥1,808,457	¥-972,434		¥2,780,891
視覚負担	部費	¥450,000	¥-90,000	前期¥6,000*45 後期¥6,000*30	¥540,000
	合宿費	¥1,800,000	¥161,152	¥60,000*30	¥1,638,848
	競泳エントリー選手負担	¥300,000	¥-5,000		¥305,000
	施設利用選手負担分	¥800,000	¥-190,000		¥990,000
学校助成金	育友会助成金	¥97,000	¥0		¥97,000
	学生活動支援金	¥300,000	¥0		¥300,000
凌泳会	凌泳会視覚援助金	¥1,000,000	¥18,000		¥982,000
雑収入	受け取り利子、行事の部費振り替え等	¥2,000	¥1,982		¥19
収入合計		¥6,557,457	¥-1,076,300		¥7,633,757

<支出の部>

科目	内訳	予算額	対前年実績	備考	
試合出場関係費	日本水泳連盟登録費	¥120,000	¥1,500		¥118,500
	競泳試合関係費	¥1,000,000	¥93,796		¥906,204
	水球試合関係費	¥300,000	¥-57,021		¥357,021
合宿費		¥1,500,000	¥-211,266	通常通り実施予定¥50,000*30人	¥1,711,266
プール使用料		¥1,500,000	¥-706,475		¥2,206,475
体育会費		¥45,000	¥4,000		¥41,000
新敷費		¥35,000	¥-4,839		¥39,839
通信費		¥4,000	¥3,380		¥620
燃料費		¥5,000	¥-1,837		¥6,837
交通費		¥4,000	¥-251,444		¥255,444
備品購入費		¥55,000	¥10,539		¥44,461
消耗品		¥8,000	¥7,560		¥440
雑費		¥30,000	¥23,828		¥6,172
次年度繰越金		¥1,951,457	¥115,064		¥0
支出合計		¥6,557,457	¥-973,215		¥7,530,672

※凌泳会監事による監査済みの印

令和 5年 4月 30日

凌泳会監事 酒井正人 (印)

第 98回 日本学生選手権水泳競技大会 会計報告

収入	金額	詳細
現役負担	¥0	
チケット販売	¥0	
寄付金	¥637,000	
補助金	¥0	
水泳部援助金	¥103,705	
打ち上げ代	¥0	
合計	¥740,705	

支出	金額	詳細
交通費	¥196,780	
宿泊費、移動費	¥155,925	
チケット購入	¥0	
エントリー代	¥58,000	競泳¥8,000+水球50,000
諸経費	¥330,000	ガウン330000
現役払い戻し	¥0	
合計	¥740,705	競泳、水球ともに出場したため

※凌泳会監事による監査済みの印

令和 5 年 4 月 3 0 日

凌泳会監事 酒井正人



お願いします！

神戸大学体育会水泳部／凌泳会



お引越したら届け出を！

お引越しをなさる場合は、最寄りの郵便局に転出届を出しましょう。また、インターネットでも届け出ができます。

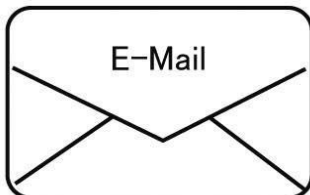
<https://welcometown.post.japanpost.jp/etn/ETN00S10MMC.do>

また、凌泳会では住所を確認するために、年に2回、ハガキで出欠等の返信をお願いしています。転居された場合は必ずハガキに新しい連絡先をご記入の上、ご返送ください。

連絡先調査にご協力を！

現在約70名の連絡先不明会員がいらっしゃいます。また、毎年新たに宛先不明になる会員が発生します。

不明会員本人から連絡がない場合、同期や卒業年が前後の会員にお電話で消息をお聞きする場合がありますので、ご協力ください。



メールアドレスの登録にご協力ください

凌泳会では、インターネットによるコミュニケーションの拡大をすすめています。現在、会員のメールアドレス判明率は40%台。これでは中核となる連絡手段として使えません。

まだメールアドレスをご登録いただいていない方は、是非登録してください。また変更した時もお連絡ください。

kobeswim@gmail.com までご連絡ください。

凌泳会 Facebook のご紹介

神戸大学体育会水泳部(凌泳会)のアカウントでは、試合行事や行事の様子を中心に、様々な情報を掲載しております。また、OB・OGの皆さまからも発信いただけます。ぜひご参加ください。

(<https://www.facebook.com/groups/1668600773460033/>)

凌泳会 LINE オープンチャットのご案内

凌泳会用 LINE オープンチャットを開設しています。

LINEのお名前とは別に、参加するためのニックネームを登録できますので、お名前と卒部年次にて、是非ご参加いただき、交流にご活用ください。

凌泳メーリングリストの転記も行っており、現役活動記録もノートにてご覧いただけます。



水泳部 SNS のご紹介

水泳部では現在競泳面と水球面それぞれ Twitter、Instagram のアカウントがあり、練習日記や部員の様子などを掲載しています。現役の様子をのぞくことができますので、ぜひご覧ください。

・競泳面

Twitter @kobeswim



Instagram @kobeswim_kyoei



KOBESWIM_KYOEI

・水球面

Twitter @kobe_waterpolo



Instagram @kobewaterpolo



KOBEWATERPOLO



編集後記

窪田 理紗・3回生/水球

凌泳詩を無事完成できて嬉しいです。改めて、OB.OG のみなさんの支えあってこそ水泳部だなど実感しました。

至らない部分もあると思いますが、楽しんで読んでいただけたら幸いです。

協力していただいた皆様、ありがとうございました！

遠藤 力人・3回生/競泳

この度凌泳誌作成を担当させていただき、非常に多くの問題がありましたが無事に完成させることができほっとしております。この場を借りてではありますが凌泳の作成に携わっていただいた方すべてに感謝申し上げます。

令和6年6月4日発行

発行所 神戸市灘区六甲台町2

凌泳会

原稿等送付先 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学体育会水泳部 宛

会費等振込先 郵便振替 口座番号 01110-5-11841

加入者名 神戸大学凌泳会

銀行振込 三井住友銀行 三宮支店(店番 410)

普通預金 口座番号 952461

口座名 神戸大学凌泳会

編集責任者 遠藤力人・河上宙氣・窪田理紗・長光咲良

発行責任者 遠藤力人・河上宙氣・窪田理紗・長光咲良

印刷所 〒577-0052 大阪府東大阪市新喜多2丁目2番6号

有限会社 アイエム出版社

TEL:(06)4308-6113